

創造力、実践力。

UNIVERSITY OF
FUKUI

大学案内 2011



理 念

福井大学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、
人々が健やかに暮らせるための
科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、
地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、
独創的であつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、
専門医療を実践することを目的とします。



長期目標

福井大学の12年後

福井大学は、21世紀のグローバル社会において、高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育成します。

福井大学は、教員一人ひとりの創造的な研究を尊重すると共に、本学の地域性等に立脚した研究拠点を育成し、特色ある研究で世界的に優れた成果を発信します。

福井大学は、優れた教育、研究、医療を通して地域発展をリードし、豊かな社会づくりに貢献します。

福井大学は、ここで学び、働く人々が誇りと希望を持って積極的に活動するために必要な組織・体制を構築し、社会から頼りにされる元気な大学になります。



各学部・大学院の構成

教育地域科学部	教育学研究科	医学部	医学系研究科
学校教育課程	修士課程 学校教育専攻	医学科	博士課程 医科学専攻
地域科学課程	教科教育専攻		先端応用医学専攻
	教職大学院の課程 教職開発専攻	看護学科	修士課程 看護学専攻
工学部	工学研究科		
機械工学科	博士前期課程 機械工学専攻	博士後期課程 物質工学専攻	
電気・電子工学科	電気・電子工学専攻	システム設計工学専攻	
情報・メディア工学科	情報・メディア工学専攻	ファイバー・アミニティ工学専攻(独立専攻)	
建築建設工学科	建築建設工学専攻	原子力・エネルギー安全工学専攻(独立専攻)	
材料開発工学科	材料開発工学専攻		
生物応用化学科	生物応用化学専攻		
物理工学科	物理工学専攻		
知能システム工学科	知能システム工学専攻		
	ファイバー・アミニティ工学専攻(独立専攻)		
	原子力・エネルギー安全工学専攻(独立専攻)		

松岡キャンパス



CONTENTS

- 2 理念
- 3 長期目標
- 4 目次／各学部・大学院の構成
- 6 福井大学の実力、知っていますか？
- 10 学長メッセージ

教育地域科学部

- 12 特集「専門性を磨く地域協働プログラム」
- 15 学部の特色
- 16 学校教育課程
- 20 地域科学課程
- 24 附属教育実践総合センター／附属地域共生プロジェクトセンター／
総合自然教育センター／附属幼稚園・小学校・
中学校・特別支援学校／大学院教育学研究科
- 26 教員、在学生、卒業生メッセージ

医学部

- 30 特集「患者さんが笑顔になれる医療を目指す」
- 32 Topics「画像を使った医学教育」
- 33 学部の特色
- 34 医学科
- 36 看護学科
- 38 附属病院／大学院医学系研究科
- 42 教員、在学生、卒業生メッセージ

工学部

- 46 特集「やる気と才能を引き出すGPプログラム」
- 49 学部の特色
- 50 機械工学科
- 51 電気・電子工学科
- 52 情報・メディア工学科
- 53 建築建設工学科
- 54 材料開発工学科
- 55 生物応用化学科
- 56 物理工学科
- 57 知能システム工学科
- 58 先端科学技術育成センター／大学院工学研究科
- 60 教員、在学生、卒業生メッセージ

CAMPUS LIFE

- 64 文京キャンパスマップ／松岡キャンパスマップ
- 68 総合図書館／医学図書館
- 70 イベントカレンダー
- 72 部・サークル紹介
- 74 福大生たちの活躍
- 75 学生生活サポート
- 78 就職サポート
- 81 国際交流
- 82 産学官連携本部／附属施設(全学部共通)
- 84 入試情報
- 86 福井大学をもっと知りたい方へ／福井ってどんなところ？
- 87 ACCESS

文京キャンパス



福井大学の实力 知っていますか？

頼りになる大学、元気な大学を目指して、人材育成や研究の分野で多くの取り組みを行っています。世界をリードする高度な研究、成果を上げた取り組み、注目を集めた取り組みがたくさんあります。頑張っている福井大学、その实力を知ってください。

〔総合評価〕

福井大学の教育、研究、社会連携、国際交流、業務運営に対して、高い評価を獲得しました

全国86国立大学の中で総合7位

国立大学法人評価委員会(文部科学省)が
公表する基準による評価ランキング

順位	大学名
1	奈良先端科学技術大学院大学
2	滋賀医科大学
3	浜松医科大学
4	東京工業大学
5	お茶の水女子大学
6	東京大学
7	福井大学
8	東京医科歯科大学
9	東京外国語大学
10	京都大学

地方総合大学ではNo.1

項目別評価点

	教育	研究	達成状況	業務運営	総合評価
福井大学	8.50	3.00	4.00	6.00	54.50
86大学平均	6.05	2.71	3.44	5.77	44.69

※平成16年度から19年度までの教育研究活動の状況について、文部科学省の国立大学法人評価委員会が公表する評価基準に基づき算出したもの。この結果は、文部科学省が配分する運営費交付金の予算額に反映される。

〔人を育てる〕

社会に貢献できる人を育て、送り出します

1 優れた教育プログラムの提供

■文部科学省が行う大学教育改革支援プログラムにこれまで**18件**採択

■各学部・大学院の教育活動は、国立大学法人評価委員会からも高評価を獲得

○学部・大学院等の現況分析評価結果

教育地域科学部

57機関中 **5位**

医学部

42機関中 **3位**

工学部

50機関中 **4位**

大学院教育学研究科

59機関中 **3位**

大学院医学系研究科

41機関中 **1位**

大学院工学研究科

38機関中 **1位**

※国立大学協会資料「中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果における評定の状況」に基づき福井大学事務局にて算出



学科・学年の枠を越えた少人数グループ
による技術者の育成



子ども主体の学習を学生が支援

2 実践力を重視した教員養成教育

■「福井大学方式」：学校現場が大学院

- 小中学校の現場(拠点校、協力校)を
大学院の教室に
- 米国やフィンランドの教育研究者も注目

■1年間の長期インターンシップ

『実践重視の福井大学方式を高く評価』

鈴木寛文部科学副大臣

学校現場を「講義室」として位置付け、教員が出向いて現職教員の院生と教育研究を行ったり、学部卒の院生に1年間学校でのインターンシップを課す学校拠点方式を高く評価し、「(教師教育)改革のモデルにしたい。」と話した。

平成22年2月28日 福井新聞記事より

3 世界をリードする画像を使った医学教育の構築

詳しくは P32

革新的な医学教育の実施

CT、MR、PET等の画像診断が格段に進展する一方、医学教育での「診断」に関する教育は大きな改革がなされず、求められる知識、経験と教育のギャップが顕在化しました。

この現状打破のために人体解剖画像、病理組織画像に加え、先進臨床画像や分子イメージング画像を統合した双方対話型先進画像システムを導入しました。

現代医学と医学教育とのギャップを一举に解消する世界でも例を見ない革新的な医学教育を実施しています。



臨床現場で蓄積される高精細画像を使った医学教育

4 実践的能力を備えた技術者の養成

■充実した学士力を身につける初年次教育プログラム

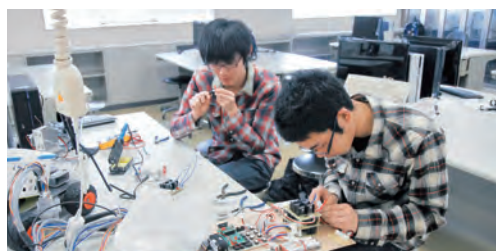
- グループワークでジェネリック・スキル(汎用的能力)向上
- JIBUNポートフォリオで自己教育・就職活動レポート
- 先輩セミナーにより職業観を形成・勉強意欲高揚
- 補習授業により基礎学力を定着
- 複合型高大連携で専門科目へ滑らかに接続

■夢を形にする技術者育成プログラム

- 学科や学年を超えた学生主体の創成活動

〈育成される能力〉

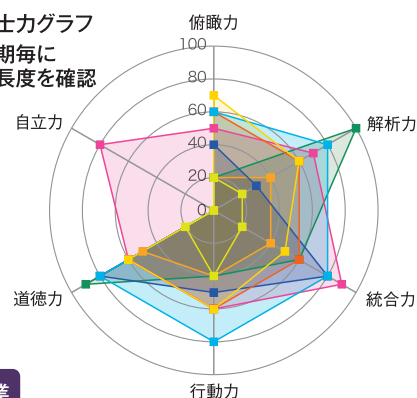
広い視野と創造力
自分で課題を発見・解決する力
企画・提案・説明する力
協調する力



創成活動「河川清掃ロボット製作」

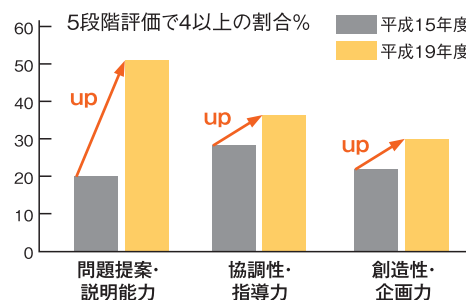
学士力グラフ

半期毎に
成長度を確認



就職先企業
からも
高く評価

就職先企業に対するアンケート調査(78社)



5 就職率は国立大学1位

詳しくは P78

■卒業生が1,000人以上の大学
(平成21年度実績)

就職率 **94.3%** は、

国立大学 **1位**

全ての国公私立大学の中で **2位**

■複数学部を有する国立大学では

3年連続1位 を獲得

平成19年度 **95.3%**

平成20年度 **97.2%**

平成21年度 **94.3%**

■就職委員、就職支援室による
きめ細かな支援

順位	区分	大学(所在地)	卒業生数	就職 決定者数	大学院 進学者数	08 就職率	09 就職率	10 就職率
1	私立	国際医療福祉大学(栃木)	1,120	1,053	25	96.5	93.0	96.2
2	国立	福井大学(福井)	1,228	833	345	95.3	97.2	94.3
3	国立	九州工業大学(福岡)	1,652	905	688	94.6	95.8	93.9
4	国立	東京工業大学(東京)	3,058	1,623	1,281	87.2	90.6	91.3
5	国立	岐阜大学(岐阜)	1,370	804	489	—	94.8	91.3
6	国立	名古屋大学(愛知)	2,204	949	1,151	79.4	90.0	90.1
7	私立	芝浦工業大学(東京)	1,733	1,092	517	93.3	91.3	89.8
8	私立	東京理科大学(東京)	4,149	2,223	1,672	92.6	91.6	89.7
9	私立	愛知工業大学(愛知)	1,112	886	124	97.2	96.7	89.7
10	国立	秋田大学(秋田)	1,000	700	214	91.1	92.1	89.1
11	私立	金沢工業大学(石川)	1,780	1,310	308	96.3	95.6	89.0
12	国立	信州大学(長野)	1,943	1,098	704	83.5	88.4	88.6
13	国立	鳥取大学(鳥取)	1,439	891	431	89.2	—	88.4
14	国立	香川大学(香川)	1,235	862	251	—	84.2	87.6
15	国立	群馬大学(群馬)	1,771	1,143	465	90.8	—	87.5
16	国立	新潟大学(新潟)	3,175	2,138	718	87.7	89.1	87.0
17	私立	北里大学(北海道)	1,305	924	240	93.7	91.3	86.8
18	国立	電気通信大学(東京)	1,319	686	525	96.8	93.0	86.4
19	国立	京都工芸繊維大学(京都)	1,152	571	489	85.2	87.0	86.1
20	国立	宇都宮大学(栃木)	1,414	893	376	89.5	88.5	86.0

※卒業生1,000人以上の大学、「—」はデータがないことや算出できないことを示す。

(出典：サンデー毎日2010年7月25日号「就職特集第1弾 全国230大学 就職率ランキング」より)

「魅力のある研究」

地域とのつながりや環境を活かした研究を行っています

1 地域の特性を活かした世界的水準の研究を展開

■附属国際原子力工学研究所

- 福井県の「もんじゅ」等世界有数の原子力関係施設の活用を目指し研究を開始
- 高速炉その他の分野で世界トップレベルの研究開発と人材育成を担う
- 平成24年1月に敦賀に移転する同研究所は、最先端の原子力研究教育を敦賀地区の研究機関と連携して行うとともに、北陸・中京・関西圏の大学等による広域連携拠点化を目指す



平成24年1月に移転する「福井大学附属国際原子力工学研究所」完成予定図

■高エネルギー医学研究センター

- PETや高磁場MRIなどを用いて「生体画像医学の統合研究プログラム」に取り組み、世界的水準の研究成果を創出

🏆 第1回福井県科学学術大賞受賞(平成18年2月7日)

2 特色ある研究の取り組み

■医学部

- 免疫学・神経科学の論文引用度は、全国の研究機関の中でトップクラス

■遠赤外領域開発研究センター

- 電磁波の中で未開拓領域である“遠赤外領域”の電磁波発生器「ジャイロトロン」を独自開発
- 🏆 第6回福井県科学学術大賞受賞(平成23年2月7日)



「ジャイロトロン」

- 世界最高記録を10年以上維持
世界で唯一の研究・開発を展開

■医工教連携による子どものこころの発達研究

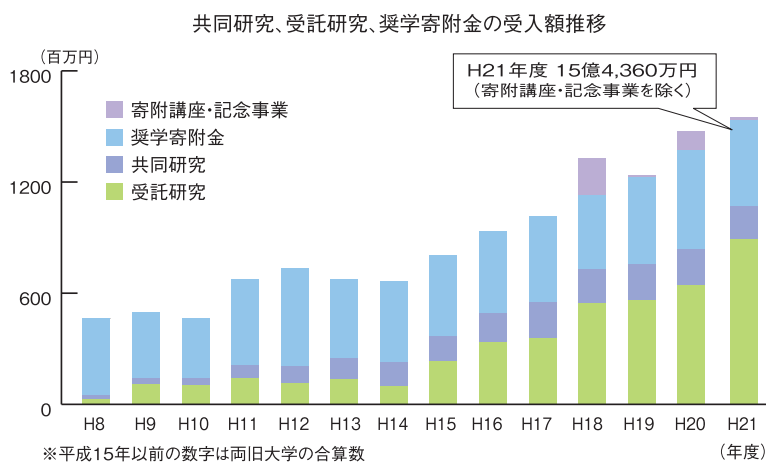
- 大阪大学・浜松医科大学・金沢大学による
連合大学院への参加(予定)

■大学院工学研究科

- 次世代太陽電池の研究開発
- 液体窒素冷却高温超電導モータの開発
🏆 第4回福井県科学学術大賞受賞(平成21年2月7日)
- リチウムイオン電池の開発
🏆 第5回福井県科学学術大賞受賞(平成22年2月7日)
- 宇宙太陽光エネルギー利用レーザの開発
- 未来の新しい電力ネットワーク など

3 「福井方式」による地元産業界との連携

■地元産業界との「福井方式」による産学官連携・共同研究プロジェクトを推進



“福井方式”とは

大学とふくい産業支援センターが緊密に連携し、責任企業を決めて事業化までつなげることをしています。

〔医療問題に挑む〕

患者中心の医療を行います

1 「断らない救急」を実現

■福井県内唯一の医学部として、県内を中心に**162**の医療機関に医師を派遣

■大学病院初の北米型（ER型）救急により、365日24時間の受入体制を確立

○平成21年度 救急患者延べ数 13,698人



医学部附属病院は、“地域医療の最後の砦”として、迅速に全ての患者を受け入れられる環境を整備しています

2 地域医療の担い手とその指導医の育成

■全国でも新しい取り組みである総合診療と救急の統合部門での研修

- 病気からケガまであらゆる症状の患者を診断し、治療する救急外来
- あらゆる疾患を診療できる“総合医”の育成
- 指導医が常駐する地域診療所での研修

■緊急被ばく医療に強い救急総合医の養成

■がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つ医療人の養成

3つのステージを用意しながらそれぞれのチームに壁を作らず日々の診療を行う



全国トップレベルの評価を得て
社会から頼りにされる
“元気な大学”を目指します

学長 福田 優



福井大学は学生と教職員を合わせて約6500人、3学部の小規模な大学ですが、さまざまなランキングでトップレベルの評価をいただいています。文部科学省が教育、研究、社会連携等について大学を総合的に評価するランキングでは、全国86国立大学の中で7位という高い評価を得ました。また、本学が実施する教育は、文部科学省が支援するプログラムにこれまで18件が採択され、トップクラスの採択率を誇っています。国立大学で1位の就職率も教育への取り組みの成果と言えるでしょう。

教育と研究は一体のものと考えます。これまでも地方大学が多くの研究を担ってきました。小さな地方の大学でも研究は行うべきであり、研究を通して深みのある教育を目指さなければなりません。まずは入学時からしっかりと学べるよう、初年次に基礎学力をフォローする支援プログラムを実施。学年が上がるに伴い、学部ごとに特徴のある専門性の高い教育を行い、高度専門職業人の育成を図っています。

本学では学生一人ひとりを大事にするため、奨学金や学費免除なども充実させ、経済的負担を抑えながら高等教育を学べるよう努めています。そして就職支援では、きめ細やかなサポートで学生の将来を応援しています。また環境整備にも力を入れ、図書館や講義室などを整備し、学ぶ意欲が高まる環境づくりに取り組んでいます。世界に通用する人材を育てるため、さらに充実した施設整備も構想中です。

学生の皆さんに入学してよかったと思ってもらえるのが大学スタッフにとって何よりの喜びです。トップレベルの実力を持つ大学ですので誇りを持って入学してください。福井大学で多くを学び、世のため、人のために尽くすリーダーとして活躍してくれることを期待しています。

教育地域科学部

FACULTY OF EDUCATION AND REGIONAL STUDIES

学校教育課程

地域科学課程

地域になくてはならない人を育てる

実践的力量のある学校教員の養成、地域の創造と発展に貢献できる人材の養成を目的とし、教育科学や地域科学の学際的総合的な研究成果によって広く社会の発展に寄与することを使命とします。



〔特集〕

専門性を磨く地域協働プログラム

地域社会や学校教育を支えるための活動を学ぶ3つのプログラム。学生は地域の人々や子どもたちと協働するなかで、社会で求められることを理解し、実践力を身につけます。学生とそれを支える教員がこれまでの活動を振り返ります。

地域の子どもたちの主体的な学習活動を支援する 探求ネットワーク

テーマごとに9つのブロックに分かれ、学生と子どもたちが協働してプロジェクトを練り上げます。子どもたちの興味を引き出しながら、長期にわたる活動を行います。



毛利朋亮さん
学校教育課程
3年次



遠藤貴広 准教授
附属教育実践総合センター

「探求ネットワーク」は長い年月をかけて、規模を膨らませながら続けてきた活動です。評判も良く、多くの学生が参加した後に継続を希望。子どもたちと一緒に活動を振り返り、経験を次年度に繋ぐ取り組みにも力を入れています。

仲間と意見をぶつけ合い、 子どもの気持ちに触れる経験

9つのブロックのひとつ「わくわくキャンプ工房」では、子どもたちと協力して木や竹からおもちゃやゲームを作り、そこからさまざまなことを学びます。ある時、悪ふざけをして話し合いに参加しない子がいて、注意しようか悩んだことがありました。たまたま話す機会があり、その子が学校で居場所がなく、この活動で普段とは違う一面を見せてくれていたことを知りました。探求ネットワークが自分を表現する場所になっていたことがわかって、とても嬉しかったです。子どもの気持ちに触れる貴重な経験だったと思います。

3年次では中心メンバーとして運営に携わり、企画の段階から話し合いを進めています。意見をぶつけ合うことも多く、仲間との絆が深くなっているのを感じます。「探求ネットワークがそのまま大学生活の思い出になる」と話してくれた先輩の言葉を実感しました。



学校に居づらい子どもたちへのサポートを行う ライフパートナー

教員免許資格取得を希望する学生が2年次から4年次で受講。週に1回、授業中に教室を飛び出してしまう子や授業に集中できない子などに、学習支援・心理的支援を行います。



和田阿佐香さん
学校教育課程
3年次



廣澤愛子准教授
附属教育実践総合センター

講義期間中のライフパートナー活動は4～5ヶ月、12回で終了しますが、その後も“このころのパートナー”として継続する学生が多くいます。教員になれば、ひとりの子どもとじっくり向き合うことが難しくなります。子どもの心の声を聴く体験を通して、子どもを理解するとはどういうことなのか、子どもにとって本当に役に立つ支援とは何なのかを、知る貴重な機会だと思います。

子どもたちの変化に接して 自分自身が成長できる

私は3年次で参加し、小学4年生の子どもを担当しました。初めのうちは、授業中に教室以外のところで子どもと話したり勉強以外のことをすることに戸惑いや不安がありました。その子の言葉遣いが乱暴で、冷たい言葉に悩んだこともあります。時間をかけてつき合ううちに、そんな言葉でしかコミュニケーションを取れない子どもがいることがわかり、言葉通りではない子どもの気持ちに気づくことができました。

子どもとの接し方を小学校や大学の先生方に相談したり、学生同士でも話し合って悩みや経験を共有するようにしています。

活動が続ける中で、担当している子どもが泣いている友達に言葉をかけるといった優しい一面を見せるようになったり、いつも一人ぼっちだったのにいつの間にか友達が集まるようになったり、何かをきっかけに、その子だけでなく周りの子どもたちも一緒に変わっていくのを見ると嬉しいですね。子どもたちは周囲のさまざまな変化を感じ取って変わります。その変化に関わる機会はなかなか持てません。子どもの変化と共に、自分自身も成長しているような気がします。



議論を重ね、知識や経験を共有する

地域課題ワークショップ

ワークショップ形式で行われ、入門から基礎、応用、総合までの4段階を4年間で取り組みます。
テーマ決定からプレゼンテーションまで、学生が自分たちで考え、判断し、積極的に活動します。



滝波登紀子さん
地域科学課程
3年次



横井正信 教授
地域政策講座

入門と基礎は地域の諸課題を対象とし、テーマの設定から調査分析をどのように進めるかまでを身につけて応用に進みます。各系に配属された後に履修する応用では、専門分野に関するテーマを掘り下げた形で調査分析し、総合では各自の卒業論文へとつなげます。正しい答えのない問題に取り組むことで、社会に出て役立つ能力を養います。

グループでの話し合いには 意見が飛び交う雰囲気作りが大切

1年次前期の入門は地域科学課程の学生全員で行いますが、1年次後期から2年次前期の基礎では各系で開講されている授業を選択し、数名のグループでさまざまな課題に取り組みます。私のグループは公共政策系で福井市の除雪をテーマに選びました。この授業では情報公開制度を利用するのが目的のひとつでしたが、テーマの絞り方が甘く、調査を進めるうちにすでに公開されていたことがわかり、テーマの選定が重要と再確認する結果に。テーマを選んだ理由やなぜ調べたいのかなど、先生方に問いかけられた意味が理解できました。

今は応用で司法制度改革に焦点を絞って、共同論文の制作に取り組んでいます。授業は週1回ですが、論文は分担して作成しますので、進捗や内容のチェック、中間発表の準備など、授業以外にも頻繁に集まります。グループでの話し合いには、集まった時に意見が飛び交う雰囲気作りが大切です。一人ひとりに声をかけたり、本題に入る前に世間話をしたりといった工夫ができるようになりました。将来は公務員になりたいと思っています。人のあいだに立って、さまざまな意見交換ができる場所を作りたいと思います。



(平成22年11月現在)

〔学部の特徴〕

地域とのつながりから 人に優しい社会を実現

教育地域科学部の大きな特徴として、文部科学省の優れた活動事業に選ばれた「探求ネットワーク」と「ライフパートナー」、さらに「地域課題ワークショップ」があります。一つのテーマを追求する「探求ネットワーク」と不登校の子どもたちに学生が対応する「ライフパートナー」。また、地域の諸問題を調査分析することを通じてプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を養う「地域課題ワークショップ」。このようなプログラムを通して、実践力の育成に力を入れています。

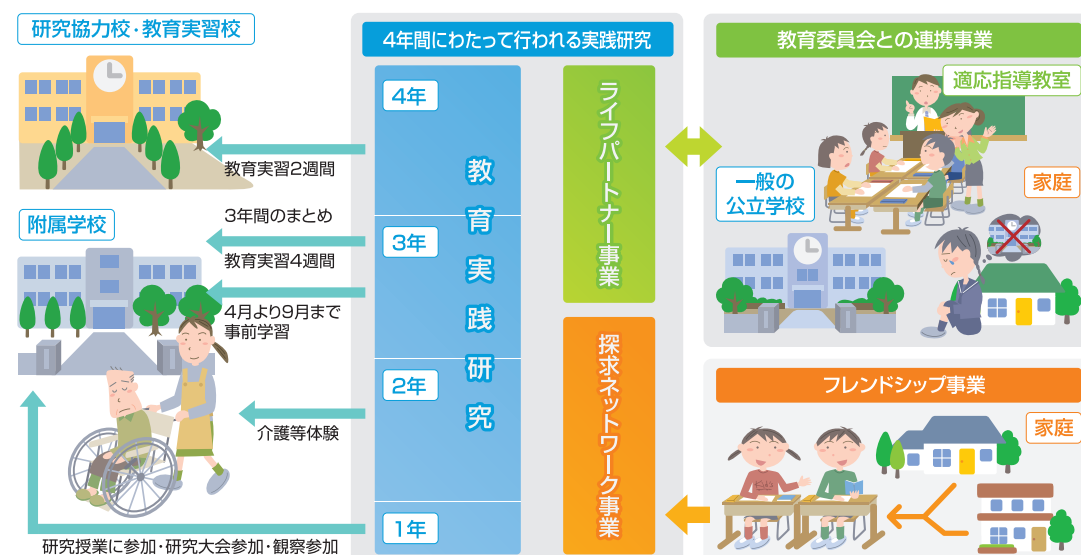
21世紀は知識基盤社会といわれています。この時代を担う子どもたちの教育と地域の創造は、これからの活動にかかっています。教育地域科学部では、人と人とのつながりを大切にし、人に優しい社会を実現できる人材を育てます。「地域コミュニティにでかけ、人々と協働しながら、専門性を培う」ことを第一に考え、地域のさまざまな課題を探求し、学校教育や地域社会を支えます。

2つの課程それぞれのテーマ



地域社会と協働したカリキュラム

■ 学校教育課程の「探求ネットワーク」「ライフパートナー」



■ 地域科学課程の「地域課題ワークショップ」



学校教育課程

地域と連携して教育環境を組織する 新しい教員像を確立

学校教育の課題に 柔軟に対応する能力の習得

学校教育は多くの課題を抱え、そのあり方が問い直されています。本当の学びを欲している子どもたちの期待にいかに応えるか、多様な個性や豊かな創造力を持った子どもたちをどう育むか、また、そのための学校作りや授業作りはいかにあるべきかなど。こうした課題に対処できる教員の養成が目標です。

教科に関わる「言語教育」「理数教育」「芸術・保健体育教育」「生活科学教育」「社会系教育」と、子どもたちの発達と教育に直接関わる「教育実践科学」「臨床教育科学」「障害児教育」の計8コースを設置しています。

また、専門教科の学習に加えて、小中学校9年間を見通したカリキュラムの編成能力を習得し、「いじめ」「不登校」「科学技術離れ」など、今日の学校が直面している問題にも取り



附属小中学校をはじめ県内の約16校が教育実習を受け入れています

組みます。学校教育が抱える課題の社会的背景を理解し、問題解決のための探究を通して、教員に必要な資質を形成します。

地域と連携した実践研究で 子どもとの関わりを考える

教員に求められる基本的なスキルとは、子どもとの関わりを振り返り、最新の情報を参考にしつつ、新たな関わりを創

造していく力です。もちろん専門教科の習得も必要不可欠です。子どもとの関わり合いと学問の体系は、切り離すのではなく並行して探求することが求められています。そこで、「専門性を活かした実践力の養成」を理念に掲げ、カリキュラムには専門的学習に加え、多くの実践研究を設けています。実践研究の重視は大きな特徴の一つです。

また、地域との連携に特化したカリキュラムを実現。平成15年度には文部科学省がサポートする特色GP(特色ある大学教育支援プログラム)に採択されました。教員養成系の学部をもつ全国の大学の中で、教員養成をテーマにしたプログラムでは唯一です。特色GPは、優秀な教育を実践する大学を国が指定し、他校のモデルとして選ばれます。地域と協働した教育内容が全国的に認められた結果といえます。



子どもたちとの関わり合いの中で学生自身が成長することができます

文部科学省に認められた
実践教育プログラム

探求ネットワーク

学生が地域の子どもたちと関わり、子どもたちの主体的な学習活動を支援するプログラムです。学生と子どもたちが、人形劇、料理、歴史などをテーマにプロジェクトを協働して練り上げていきます。各プロジェクトの集大成は、12月の「なかまつり」で保護者や仲間を招いて発表します。参加した子どもたちの中には「大学生になってもう一度体験したい」との感想もあり、実際にスタッフとなった事例もあります。学生は毎週会議を開いて準備やミニコミ誌の発行を行い、他大学を招いた公開討論などで発表しています。活動への参加人数も多く、全国的にも注目されている取り組みです。

教材開発に取り組み
教員養成のあり方を考える

今年で7年目を迎える「教育内容・教材開発研究会」は、教材の考案、開発、提案を目的とした活動です。さまざまな人材に恵まれた学部の特徴を活かし、教育内容・教材開発をキーワードにした取り組みで、教員養成のあり方について検討するユニークな研究会です。

月例のセミナーでは異なる専門研究者が、それぞれの教育や研究における創意工夫を聞き、活発な意見交換を行います。そのほかにも小・中・高等学校の教員、および本学の学生を対象とした年一度のワークショップ(例年2月頃)、講演会なども開催しています。平成22年度のワークショップは、

ライフパートナー

不登校の子どもたちや、一斉授業になじめない子どもたちへのサポートを目的に、行政と本学が協働して始めた取り組みです。実際に学校や家庭に出向き、不登校の子どもたちとともに活動し学習サポートも行います。学生は担当教員と相談しながら、子どもたちとの関係を深めていきます。児童生徒の年齢に近い、学生だからこそできる活動ともいえます。

「ライフパートナー」は、「学校教育相談研究Ⅰ～Ⅳ」の講義内で行われる学生の実践活動です。授業の一部であるため、さまざまな課題への取り組みや自主研究も求められます。



シンポジウムやワークショップには学生や院生も積極的に参加します

「言語活動の充実にとどのように取り組むか」をテーマに開催しました。教材開発を社会に提案する目的も持っており、若い感性を持つ学生や大学院生にも積極的に参加してもらいながら教材の完成度を高めています。

取得できる資格 学校教育課程卒業で教員免許資格が取得可能

学校教育課程で取得可能な教員免許状一覧						
コース名	サブコース名	小学校一種 または二種	中学校一種 または二種	高等学校一種	特別支援学校一種 または二種	幼稚園一種 または二種
言語教育	国語教育	○	○(国語)	△(国語、書道)	△	△
	英語教育	○	○(英語)	△(英語)		
理数教育	数学教育	○	○(数学)	△(数学)	△	△
	理科教育	○	○(理科)	△(理科)		
芸術・保健体育教育	音楽教育	○	○(音楽)	△(音楽)	△	△
	美術教育	○	○(美術)	△(美術、工芸)		
	保健体育	○	○(保健体育、保健)	△(保健体育、保健)		
生活科学教育	家庭科教育	○	○(家庭)	△(家庭)	△	△
	技術科教育	○	○(技術)	△(工業)		
社会系教育		○	○(社会)	△(地理歴史) △(公民)	△	△
教育実践科学		△	※	※	△	△
臨床教育科学		△	※	※	△	△
障害児教育		○	※	※	○	△

○＝卒業要件となっている免許です。
△＝必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。
※＝希望する免許の教科を選択して必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

小中学校の 教員を 包括的に 養成する 8つのコース

関わりの深い複数の教科をまとめたコースでの専門教科の学習に加えて、小中学校9年間を見通したカリキュラムの編成能力のある教員を養成します。

言語教育コース

国語や英語に強い小学校教員、小学校にも詳しい国語科・英語科の中学校および高等学校教員を育成。言語教育に深い理解力のある教員を育てます。国語と英語、2つの領域の知識や方法を共有します。



理数教育コース

自然現象を研究する理科では、数学を基礎とした考え方は不可欠です。そして数学は人間が自然から抽象した形式や概念です。理科や数学の専門的な知識を幅広く持つ教員を育てます。



芸術・保健体育教育コース

音楽科、美術科、保健体育科に強い教員の養成が目標。人間の心と体を使って行われる身体活動や芸術活動に関する実技能力と指導力を持つと共に、それらの活動に関する理論や科学的分析についても深く理解します。



生活科学教育コース

現代の社会生活や家庭生活の課題に目を向け、生活文化やものづくりの技術を実践的かつ体験的に学びながら、生活を科学的に探究できる教員の養成が目標。家庭科教育、技術科教育のいずれかのサブコースを選択します。



社会系教育コース

地理・歴史分野、公民分野および社会科教育学から構成されています。社会のさまざまな問題に対する観察眼と洞察力を養いつつ、幅広い知識と論理的思考力を備えた教員を養成します。



教育実践科学コース

私たちににとっては当たり前の「学校教育」も、そこにたどり着くまでにさまざまな変遷がありました。あらゆる思想も関わり、内容や方法についての議論がありました。学校や授業のあり方を総合的に問い直し、21世紀の方向を探ります。



臨床教育科学コース

不登校、いじめ、発達障害、心身症等、学校生活になじめない子の支援をテーマに、教育相談、心理療法や発達障害児支援等の理論と実践を学び、子どもの多様性を理解できる臨床的視点を持った教員の養成を目指します。



障害児教育コース

さまざまな障害のある子どもの教育と研究がテーマ。障害児(者)がより豊かな生活を送るための教育と指導を学びます。実習やボランティアなどを通して、障害児(者)や現場スタッフと接する経験を重視します。



学校教育課程カリキュラム

区分		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー			
	基礎教育科目	第1外国語科目 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目		
	教養教育・副専攻科目	均等履修、集中履修、自由履修			
課程共通科目					教職実践演習
教職科目	教育実践研究A (教育実習)	教育実践研究A－Ⅰ	教育実践研究A－Ⅱ	教育実践研究A－Ⅲ	教育実践研究A－Ⅳ 教育実践研究A－Ⅴ
	教育実践研究B	学習過程研究Ⅰ 学習過程研究Ⅱ	学習過程研究Ⅲ 学習過程研究Ⅳ		
	教育実践研究C		学校教育相談研究Ⅰ 学校教育相談研究Ⅱ	学校教育相談研究Ⅲ 学校教育相談研究Ⅳ	
	教科の指導法	教科の基礎科目	各教科の教材研究	各教科の教育法	
	その他の教職科目	教育学研究 教育方法研究 教育課程研究 特別支援教育総論	教育制度・経営論 道徳の指導法 教育評価研究	発達心理学 教育情報処理	

言語教育コース

コース共通科目	ことばの獲得 ことばとコミュニケーション			
コース専門科目 (主な科目)	楷書書法 英会話Ⅰ	国文学概論 英米文学講義Ⅱ 文章表現論	英語学講義Ⅲ	卒業研究

理数教育コース

コース共通科目	微分積分学Ⅰ 基礎物理学			
コース専門科目 (主な科目)	線形代数Ⅰ 教科算数基礎 基礎地学	初等幾何学 数学科教育法Ⅰ 基礎生物学 基礎化学	確率・統計講義 数学科教育法特講 理科教育法Ⅱ	卒業研究

芸術・保健体育教育コース

コース共通科目	身体と創作表現A 身体と創作表現B 身体と創作表現C			
コース専門科目 (主な科目)	ソルフェージュⅠ 素描基礎Ⅰ 学校保健学(偶)	和声学Ⅰ 美術史概論 運動生理学(奇)	作曲基礎 彫刻制作C スポーツ原論演習(偶)	ピアノ演習Ⅱ・Ⅲ デザイン制作D 体育学研究法Ⅱ 卒業研究

生活科学教育コース

コース共通科目	情報基礎 栄養学 衣生活論 保育学 住生活論 工学数学			
コース専門科目 (主な科目)	食品学 木材加工法 金属加工法	家庭経営学 機械製図法 生活保健 調理実習 被服管理学	被服製作実習Ⅱ 家族関係 技術科総合研究	保育学実習 知識情報処理 卒業研究

社会系教育コース

コース共通科目	地誌概論 日本史概説			
コース専門科目 (主な科目)	西洋史概説 人文地理学概説 哲学概論	労働法 地域社会学	経済学演習 法律学演習 地域生活研究	地理学総合演習 卒業研究

教育実践科学コース

コース共通科目		発達科学総合文献研究 心理学実験・検査実習 心理統計・調査法		
コース専門科目 (主な科目)	生涯学習総論	教育学特講	教育方法学特講 教育学特講 教育経営学特講	教育学演習 教育方法学演習 教育経営学演習 卒業研究

臨床教育科学コース

コース共通科目		発達科学総合文献研究 心理学実験・検査実習 心理統計・調査法		
コース専門科目 (主な科目)	臨床心理学 発達障害教育総論	臨床発達心理学特講 教育相談特講	学校ボランティア 精神医学	臨床心理学演習 教育相談演習 卒業研究

障害児教育コース

コース共通科目		発達科学総合文献研究 心理学実験・検査実習 心理統計・調査法		
コース専門科目 (主な科目)	知的障害者の心理・生理・病理 発達障害教育総論 障害者教育総論	病弱者の心理・生理・病理 肢体不自由教育 障害の判別・診断とアセスメント	視覚障害者の心理・生理・病理 聴覚・言語障害教育	知的障害者教育課程演習 重複障害者教育課程演習 卒業研究

- シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/
- 主な科目のみ掲載
- (偶)(奇)は隔年偶数年度、奇数年度において開講されるもの

地域科学課程

専門知識+実践力で 「魅力ある地域づくり」をリード

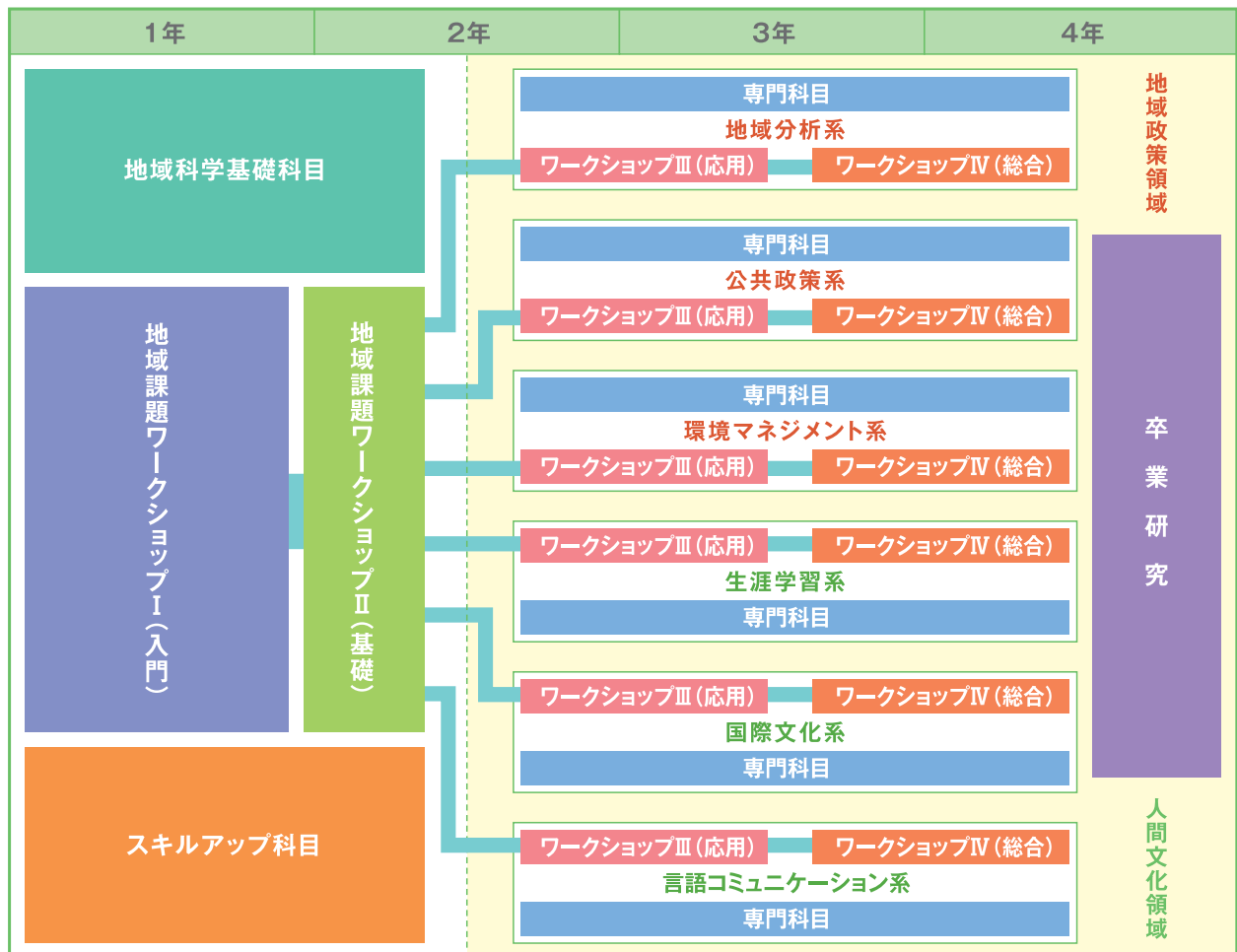
6つの“系”が大きな特徴 系をまたいだ履修も可能

快適な生活環境の形成や地域文化の創造、多様な人々の共生、産業の活性化など、これからの地域社会には多くの課題が山積しています。本課程が目指すのは、これらを的確に分析して解決の方向を見出すことのできる実践的な能力、さらには地域をより深く理解するために必要とされるさまざまな専門知識を培い、職種や年齢、性別、人種などを異にする人たちと力を合わせて「魅力ある地域づくり」に寄与できる人材を養成することです。本課程には次のような特色があります。



学生によるプレゼンテーション

カリキュラムの流れ



「地域課題ワークショップ科目」

ワークショップとは、一般に、特定の課題について参加者が議論や作業を重ねることで知識や経験を共有する方式の研修会・講習会を意味します。「地域課題ワークショップ」は地域の諸課題をめぐってワークショップ形式で行われる授業で、入門、基礎、応用、総合が1年次から4年次にかけて段階的に開講されます。この授業の主たる目的は、課題に関する情報収集力や分析力、そしてそこから得られたものをわかり易く表現して他人に伝える力（プレゼンテーション能力）を育てることにありますが、ワークショップはチーム・ワーキングの形をとるため、コミュニケーション能力も同時に養われます。こうした授業は、平成21年度に文部科学省から就業力を育成する優れた取り組みに選ばれています。



課題を決めてアプローチの方法を考える

「スキルアップ科目」と「地域科学基礎科目」

「スキルアップ科目」（英語コミュニケーション科目、調査・データ分析科目、行政運営基礎科目）のうちから2種を、1、2年次に選択履修します。それにより高学年次における専門的な課題探究に欠かせないツールを身につけるとともに、卒業後にさまざまな職場で必要とされる基礎的なスキルを習得することができます。

2年次後期以降に履修する各系の「専門科目」では、それぞれの専門分野に関する考究を深めることとなりますが、その際に役立つ基礎的な知識が、同じく1、2年次に開講される「地域科学基礎科目」の履修を通して蓄えられます。



実践的な英語を学ぶ「実用英語」の授業

系への所属と「専門科目」

入学後1年半の間に「地域課題ワークショップ科目」のⅠ（入門）、Ⅱ（基礎）や「スキルアップ科目」、「地域科学基礎科目」などの履修を通じて、自分の関心に合った専門分野、あるいは取り組むべき探求課題がきっと見つかるはずです。それを踏まえて、地域科学課程の学生は2年次後期以降、6つの“系”（専門分

野）のいずれかに所属します。所属する系の「専門科目」を中心に履修することで、地域の特性と諸課題に関する専門的な知識と能力を、それぞれの分野において身につけることができ、同時に、他の系の専門科目をも幅広く履修することで、分野の壁を越えた多面的な学習が可能となります。そうして得られた成果は、卒業研究を経て卒業論文へと結実します。

期待される成果

- ・ ワークショップ等で自ら課題に取り組む経験を通じて、さまざまな問題への関心が喚起され、その上で専門的な学習に取り組むことができます。
- ・ 企業、行政、NPO等各種団体のスタッフやそのリーダーとして、また地域社会の諸課題の解決に積極的に取り組む市民として、卒業後に活躍するための多様な能力を身につけることができます。
- ・ 「スキルアップ科目」の選択履修や系をまたいだ横断的な科目履修を通じて、専門性を活かせる就職先の選択肢を広げることができます。

取得できる資格

【博物館学芸員】

博物館に関する所定の科目を履修し、博物館実習を受講することにより、資格が取得できます。

【社会教育主事】

社会教育主事は都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員。生涯学習系専門科目などから所定の科目を履修することで、資格が取得できます。

【社会調査士】

日本社会学会などの3学会が作る社団法人「社会調査協会」が認定する資格。地域科学課程のスキルアップ科目（調査・データ分析科目群）や地域分析系専門科目などから所定の科目を履修することで、資格が取得できます。

個々の関心に即した専門科目を履修

2年次後期以降、「地域課題ワークショップ科目」のⅢ(応用)、Ⅳ(総合)、そしてそれぞれの系で開講される「専門科目」(専門分野の授業)を中心に履修します。

《地域政策領域》

地域分析系

地理学、社会学、生活経営学、統計学、情報処理などの専門分野について学びます。社会調査、情報処理、統計分析などの調査研究法を活用して、学生自身が実地での調査研究やデータ分析を行い、その結果を取りまとめます。こうした作業を通じて、地域社会や地域の住民生活の諸課題の詳細を明らかにし、その解決策を提言できる力を養成します。



公共政策系

今日の地域社会では、地域の公共的な課題をめぐる政策立案・遂行能力と地域社会や企業組織等の合理的で効果的な運営能力が必要とされています。この系では、法律学、政治学、経済学、経営学を中心とする専門科目と演習型、ワークショップ型の実践的な科目から成るカリキュラムにより、こうした能力を備えた人材を育成します。



環境マネジメント系

農村環境の保全や希少生物の保護といった、環境に関する問題を幅広く扱います。市街地や郊外の里地、また人里離れた山地帯など、さまざまな場所でのフィールドワークをカリキュラムに取り入れています。人々の社会生活と調和した環境保全のあり方を探求します。



《人間文化領域》

生涯学習系

生涯学習について専門的理解を深めると同時に、健康分野では体の健康(生理学)、心の健康(心理学)、健康エクササイズ(スポーツ科学)について、文化芸術分野では芸術学、博物館学について専門的に探求し、地域の生涯学習環境の整備、それに行事やイベント等の企画・運営ができる人材を育成します。



国際文化系

グローバル化が進行する一方で、文化の多様性を尊重する必要にも迫られている今日、このような複雑な時代の要請は地域にも向けられています。この系では、英米の文化、ドイツやフランスの文化、そして中国の文化に関する理解を深めることで、複眼的な視座から地域の文化的発展に貢献できる人材を育成します。



言語コミュニケーション系

言語とコミュニケーションに関する専門分野について学びます。英語と中国語を主に、言語とコミュニケーションについて専門的な知識を身に付けると同時に、その実践的運用能力の向上を図ります。英語や中国語を通じて外国人とコミュニケーションができる多文化共生社会のリーダー的人材を育成します。



地域科学課程カリキュラム

区 分		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー			
	基礎教育科目	第 1 外国語科目 第 2 外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第 1 外国語科目		
	教養教育・副専攻科目	均等履修、集中履修、自由履修			
専門教育科目	課程共通科目	地域科学基礎科目	中央・地方の行財政 生活保障論 地域と環境 地域における生涯学習 国際文化交流論 福井地域の歴史 言語コミュニケーション論 情報技術基礎		
		地域課題ワークショップ科目	地域課題ワークショップⅠ(入門) 地域課題ワークショップⅡ(基礎)	地域課題ワークショップⅢ(応用A) 地域課題ワークショップⅢ(応用B) 地域課題ワークショップⅣ(総合A) 地域課題ワークショップⅣ(総合B)	地域課題ワークショップⅣ(総合A) 地域課題ワークショップⅣ(総合B)
		スキルアップ科目	実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 社会調査入門 統計入門 データと情報処理 地理情報分析 地方自治法 民法Ⅰ 民法Ⅱ 民法Ⅲ 刑法 簿記論 経済理論基礎Ⅰ(ミクロ経済学) 経済理論基礎Ⅱ(マクロ経済学)	実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ データ分析入門	
	地域政策領域専門教育科目	地域分析系科目群		社会学概論 家族社会学 地域社会学 地域と福祉 環境社会学 地域分析演習Ⅰ 地図と地域調査 環境と行動 統計基礎 情報処理システム データベース	地域生活研究 都市と村落 地域情報システム 多変量解析 共生社会論 地域分析演習Ⅱ
		公共政策系科目群		法学概論 行政法Ⅰ(総論) 労働法 社会保障法 会社法 政治学概論 国際政治学 政治行動論 行政学 地域経済論 会計学Ⅰ 会計学Ⅱ 経営情報処理論Ⅰ 経営管理論 マーケティング論 公共政策演習Ⅰ	行政法Ⅱ(行政救済法) 国際法 公共政策論 経済政策論 国際経済論 金融論 経営情報処理論Ⅱ 公共政策演習Ⅱ 公共政策演習Ⅲ
		環境マネジメント系科目群	地球環境概論	地域環境マネジメント 地域環境概論Ⅰ 地域環境概論Ⅱ 自然環境学実験 生物環境論 地域と生態系 環境実践業務研修Ⅰ 地域環境野外実習	生物野外実習法 多様性生物学 保全生物学実習 環境生物学演習 環境実践業務研修Ⅱ 環境マネジメント実習Ⅰ 環境マネジメント実習Ⅱ
	人間文化領域専門教育科目	生涯学習系科目群	ライフスタイルと健康	生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 社会教育計画Ⅰ 学びの認知科学 社会教育活動論 市民の学習と社会 生涯学習とメディア 生涯発達心理学 博物館概論 博物館資料論 音楽史概論 音楽理解の視点 美術史概論 美術理解の視点 スポーツ文化論 健康心理学 健康カウンセリング 公衆衛生学	社会教育計画Ⅱ 社会教育演習 生涯スポーツ論 博物館情報・経営論 博物館実習 芸術創作演習(音楽) 音楽文化論演習 世界音楽概論 芸術創作演習(美術) 人間健康科学研究法 地域スポーツ論 人間健康科学研究Ⅰ 人間健康科学研究Ⅱ 健康心理学特講 臨床心理検査 健康の生理学 地域予防医学
		国際文化系科目群		英米文化論 イギリス言語文化論Ⅰ アメリカ言語文化論Ⅰ 英米言語文化論 ドイツの文芸Ⅰ ドイツの歴史と民俗Ⅰ ドイツ現代事情Ⅰ フランス言語文化講読Ⅰ フランス言語文化講読Ⅱ 日仏文化交流論 ヨーロッパ文化理解 ヨーロッパ文化特論Ⅰ ヨーロッパ文化特論Ⅱ 中国文化論 中国の文学 中国の歴史	イギリス言語文化論Ⅱ アメリカ言語文化論Ⅱ ドイツの文芸Ⅱ ドイツの歴史と民俗Ⅱ ドイツ現代事情Ⅱ フランスの文芸 フランスの現代事情 フランス文学講読 現代中国語講読Ⅰ 現代中国語講読Ⅱ 古典中国語講読Ⅰ 古典中国語講読Ⅱ 中国文化演習 中国文化特殊講義
		言語コミュニケーション系科目群		日英対照言語学 ドイツの言語Ⅰ 中国の言語 中国語音声理解 中国語音声表現Ⅰ 中国語文章表現Ⅰ 中国語文章表現Ⅱ 日本語音声学 日本語文法論	英語圏の言語と文化 現代英文法論 英語ライティング 英語オーラルコミュニケーション 英語コミュニケーション総合Ⅰ 英語コミュニケーション総合Ⅱ ドイツの言語Ⅱ 中国語音声表現Ⅱ 中国語文章表現Ⅲ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ 中国語文法研究
	関連専門科目	西洋近代史 西洋現代史 自然地理学概説 基礎地学 現代生物学特講 日本建築史 キャンブ	基礎生物学 環境化学 都市計画 認知心理学特講 教育心理学 心理学コンピューター演習	第四紀学 絵画制作基礎Ⅰ 精神医学 心理統計・調査法	庭園学
	卒業研究				卒業研究

●シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/

附属教育実践総合センター

教育研究活動を支援し、発表の場を提供

附属学校園、学部教員、公立学校の教員等を対象にセンター研究員および特別研究員を募集し、地域に根ざした教育研究活動の支援と成果公表の場を提供しています。

また、地域に開かれた教育地域科学部の主要な窓口の1つ

として特に教育研究を中心にした各種事業を行います。成果と活動は、センター研究紀要、各種テクニカル・レポート、ニューズレター、公開講座、シンポジウム等で公表。教育工学研究会や大学院生の研究発表の場も提供しています。

附属地域共生プロジェクトセンター

大学の教育・研究活動と地域との橋渡し

教育地域科学部の特徴の一つは、学生や教員が地域参画型教育や地域研究活動を通して、地域の子どもたちや人々とともにさまざまな地域課題の解決に取り組むところにあります。

センターは、こうした教育・研究活動をプロジェクトとして

まとめあげ、必要な支援を行います。また、地域で活動する団体などの活動に便宜を図ったり交流を促進することを通して教育地域科学部の教育・研究活動と地域との橋渡しの役割を担います。

総合自然教育センター

子どもたちの自然観を育成し、栽培体験学習の場を提供

教育地域科学部学生及び附属学校、幼稚園の子どもたち、さらには地域の子どもたちを対象に、米やトマトなどの野菜の栽培、果樹の栽培体験を通して、食物の知識や大切さを身に

つけ、実感してもらっています。また、豊かな自然観を育成するための樹木や草花、水辺の観察を行うことができる場を提供し、花壇製作や作物育成実験も行っています。

附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校

子どもたちと共に活動することで たくさんのことを学び、成長する

教育地域科学部の附属学校園には、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校があります。幼稚園では、幼児教育と子育て支援の中核として協同的な遊びを中心とした総合的な保育活動を展開。小学校では、自主的で自立的な児童の育成に努め、異学年のつながりを大切にした活動や専門性を活かす教科担任制を一部実施。中学校では、探究型学習を全教科で展開。特別支援学校には、小学部、中学部、高等部があり、知的発達障害児(知的障害児)が、その障害に応じた生活上の困難を改善・克服し、可能なかぎり社会参加することを目指して、12年間一貫の総合的教育を行っています。

それぞれの学校園で、役割に応じた特徴のあるカリキュラムを実施しています。子どもたちと創造的な活動を共にすることで、教育実習生は多くのことを学び、人間として大きく成長します。



附属小学校の多目的ホール



特別支援学校のシンボル大壁画

大学院 教育学研究科

現代社会の変化のスピードに対応できる、 教員の力量形成と質の向上を目指す

21世紀の知識基盤社会で生きる力を、学校教育でいかに身につけさせるのか。教員の力量形成や質の向上が議論され、学校改革と教育改革が求められています。この要求に応えるために、学校教育専攻、教科教育専攻、教職開発専攻（教職大学院）の3つの専攻を設置。実践と研究を融合させた「協働実践研究プロジェクト」などの方法を共有し、各専攻のテーマを追究します。

■ 学校教育専攻

学校教育が直面する課題は、学校の努力だけで解決できるものではありません。学校を支える地域との協働により解決の糸口を探ることが求められています。地域に支えられた学校のあり方を実践的に学び、新しい地域・学校間のモデルとなる関係を創生します。

「新たな学校教育の課題にかなう教職専門の資質と能力」「これまでの障害児教育専攻で培ってきた、多様なニーズに応える学習支援を行う資質と能力」「学校とそれを支える地域コミュニティの協働」という三つの柱で構成。

「学校心理士」や「臨床発達心理士」等の資格取得が可能です。

教育課程（計30単位以上）

協働実践研究プロジェクト
教育を支えるコミュニティ形成
コミュニティ学習支援
特別支援教育コーディネータ (8単位)
専門科目
コミュニティと人間
学校コミュニティ
コミュニティ学習支援 (計18単位以上)
課題研究(4単位)・修士論文

■ 教科教育専攻

PISA(OECD生徒の学習到達度調査)のリテラシーに象徴されるような実践的、探求的な学力は、21世紀の知的基盤社会に生きる力と考えられます。教科専門の力を伸ばすとともに、リテラシーと人間力を育むためのカリキュラム開発を通じて、児童生徒の真の学力向上を支援できる教員の養成が目標。

8つの領域別専門科目と課題研究の履修および修士論文作成を通じて、教師に求められる高度な教科専門性と指導力を身につけます。教育現場での授業開発や共同研究において、中心的な役割を果たし得る教員を養成します。

教育課程（計30単位以上）

協働実践研究プロジェクト
知的基盤社会に生きる リテラシーを育てるカリキュラム開発
PISA型
探究と体験型 (8単位)
領域別専門科目
教科教育研究
教科に関する科目 (計18単位以上)
課題研究(4単位)・修士論文

■ 教職開発専攻（教職大学院）

教職開発専攻（教職大学院）は、教員養成のモデルとなるカリキュラムを作ることを任務とし、次のことを目的としています。

21世紀の知識基盤社会で生きる力を培うためには、子どもたちが自主的に学び合い、成長することのできる学校教育が求められています。その実現は教員の専門的力と協働の努力にかかっています。学校教育を担うスクールリーダー、中核教員の専門的力の開発を目的として、教員の専門性、協働実践力、組織マネジメント能力を培います。この目的を実現するために、大学ではなく、学校を拠点にした力量形成を図るユニークな方式をとっています。

教育課程（計45単位以上）

学校における実習
学校の1年間のサイクルに沿って 1年間にわたって行います(10単位)
共通科目
5つの領域について、 実践的なカンファレンスや事例研究を 中心に学びます(20単位以上)
コース別選択科目
カリキュラムと授業
子どもの成長発達支援
コミュニティとしての学校 (15単位)
長期実践報告

教員メッセージ

自らの取り組みを振り返り、 その意味を問い直せる教員を育てたい

遠藤 貴広 准教授／附属教育実践総合センター

学校教育課程では、1年次から4年次の学生を縦割りでグループ分けし、活動する時間があります。学年やコースの違う学生が集まることで、同じテーマに対してさまざまなアプローチが生まれ、互いに高め合う環境を作っています。教師は教えるプロである前に、学ぶことのプロでなくてはなりません。生涯にわたって、みんなで学び合えるコミュニティをどのように培っていくのか、また、教師という専門職として学び続ける場をどのようにデザインするのか、学生自身が実践しながら考えます。

私が担当する教育方法学では、自分たちがどのような教育を受けてきたかを掘り下げながら、学習の仕方を拘束しているものを探っていきます。そして同時に、実践上のさまざまな課題を明らかにしていきます。困難な課題が持ち上がった時でも真面目に取り組んでくれる学生ばかりなので、学生が課題にうまく取り組めなかった時は、状況設定がまずかったのかなと。学生のせいにはできませんね。学生には自分の実践的な取り組みを振り返り、その意味を深く、誠実に問い直せる教員になってほしいと思います。



調べて、見て、触れて、 国際感覚を身につけてほしい

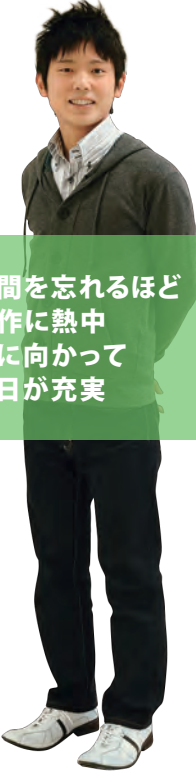
田村 容子 准教授／人間文化講座



講義では日本と中国の伝統演劇を比較し、同じアジア圏の文化ということから共通点を見つけ、また両者の違いに注目してその背景を探ります。比較から自国の伝統文化の魅力を知るきっかけが生まれることもありますし、自分の価値観を相対的に眺める視点を身につけてほしいと思っています。多くの学生が持っている外国に対する印象は、ほとんどがマスメディアからの情報によるもの。与えられた情報だけでは視野が狭くなります。自分で調べ、実際に見て、触れてわかることがたくさんあります。日本とは違う文化を面白がり、尊重する感覚を養ってほしいですね。

大学の魅力の一つは、バックグラウンドが全く違う人たちと出会えることです。高校までは、周りに合わせて一緒に勉強していれば良かったかもしれませんが、大学では違います。たくさんの人から影響を受けて、すぐに役立つことではなくても、学生時代にしかできないことを見つけて感性を磨いてほしいと思います。福井県は環境も、地域の人たちの人柄も良く、私自身がここに来て、こんなに住みやすい場所があるのかと驚きました。この恵まれた環境で勉強し、他では得られない経験をしてください。同時に、時には県外や海外に出て、外から自分を見つめるのも大切なことです。大学の留学や海外研修制度も、ぜひ活用してください。

在学生メッセージ



時間を忘れるほど
創作に熱中
夢に向かって
毎日が充実


高田慎也さん

学校教育課程芸術・保健体育教育コース

美術教育サブコースは絵画をはじめ、彫刻、デザインなど、あらゆる分野を学べます。先生方は作家としても活動しており、学生は先生方のクリエイターとしての意識に触れることもでき、良い刺激を受けています。

このコースは人数が少ないため、同学年はもちろん、先輩たちとのつながりも強く、いろいろなアドバイスがもらえます。大学では高校の時のようなクラスがないので、人とのつながりが希薄になるのかなと思っていましたが、意外と強い絆があって驚いています。時間を忘れて徹夜で制作をしたり、泊まり込みで取り組んでいる時には先生が差し入れをしてくれたり、温かい人間関係がありますし、毎日が充実しています。

学校教育課程には、子どもたちと触れ合う「探求ネットワーク」という授業があります。子どもと同じ目線で課題に取り組むことを通して、子どもの感性や創造性、独創性に触れる貴重な経験をしています。子どもの気持ちや感覚を理解できる美術教員になりたいと思います。



その子の障害は
その子の個性
もっと子どもを
理解したい

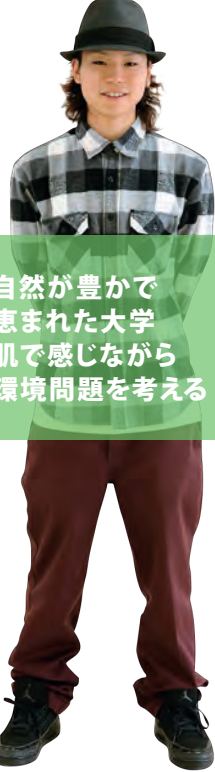
北風裕子さん

学校教育課程障害児教育コース

小学生の時、障害児教育に携わっている先生の姿に憧れました。高校生の時に初めて障害を持った子どもと関わるボランティアに参加しました。そこで出会った子はどこにでもいる普通の子。良く知り合ってみると、その子が持っている障害はその子の個性だと気づきました。

探求ネットワークの一環で、障害を持っている子どもと一緒に活動する「ふれあいフレンドクラブ」では、子どもたちが楽しめる遊びを企画して、隔週土曜日の午後に特別支援学校で活動します。音楽遊びや電車ごっこなど、学生が話し合って考えてきた遊びを子どもたちと一緒に楽しみます。設定を細かくし過ぎたためにわかりにくい内容になってしまったりと反省することもあります。子どもたちが楽しんでくれる姿を見ると本当に嬉しいです。一緒に遊んだり、一緒に笑ったり、子どもたちの素直な反応に温かい気持ちになります。

勉強して知識を増やして、どうすれば良い支援ができるかを考えていきたいと思っています。



自然が豊かで
恵まれた大学
肌で感じながら
環境問題を考える

天谷豪志さん

地域科学課程環境マネジメント系

自然が好きなので、環境問題について勉強したいと思いました。環境を勉強するなら、自然が豊かな福井が合っていると思ったので福井大学に決めました。

実際に入学してみると、福井の自然は環境問題を勉強するのに非常に適していると思います。美山町の河原で石を拾ったり、大学の畑のそばにどんな虫が棲息しているか昆虫図鑑を使って調べたりと、外に出ればすぐに自然があるのでフィールドワークもたくさん行えます。学生が積極的に働きかければ、先生方も野外でのイベントに連れ出してくれるので、いろんなことを肌で感じながら学ぶことができます。

環境問題の中でも興味があるのは生物です。外来種の問題には関心が強く、フリーテーマの議題で取り上げたり、ブラックバスの駆除イベントに参加したり、いろいろな方面から関わって見識を深めたいと思っています。卒業してからどんな職業に就くか、まだ模索中ですが、環境について学んだことはどんな業種でも活かせると思います。

卒業生メッセージ

英語が使えると視野が広がる 楽しく英語を身につけてほしい

益永真由美さん

学校教育課程言語教育コース 2007年卒業
高浜町立高浜中学校

昨年の3学期からクラスを任され、現在は2年生の担任をしています。副担任だった頃とは違って、生徒から相談を受けることが多くなりました。学級で何かを決める時、リーダーとなった生徒をどうやって引っ張っていけば良いのか、悩むこともあります。担任になってからは難しいと思うことの連続です。

教員になろうと思った理由のひとつに、小中高から大学まで、私自身が良い先生に恵まれていたことがあります。もともと好きだったので大学では英語を専攻しましたが、在学中に留学した先で自分の英語が通じなかったことに愕然。どんなに勉強しても使えなければ意味がありません。子どもたちには使える英語を身につけてほしい、英語が使えると視野が広がることを知ってほしいと強く思いました。

振り返ってみると、大学で学んだことは活かしています。



不登校など問題を抱えた子どもを支援する「ライフパートナー」に参加した時、席に座らない子どもに対して子どもが座りたくなるように導いた先生がいました。こちらの要望を子どもに聞かせるだけではダメ、一歩引くことも大切なのだと思います。子どもたちが楽しく授業を受けて、使える英語を身につけて卒業してくれることを目標に頑張っています。

人と交流する面白さを発見 これまで支えてくれた人への恩返し

平山丈貴さん

地域文化課程異文化交流コース 2009年卒業
福井市役所市民課

大学では、英語を中心に英米の文化を学びました。英語でスピーチをしたり、留学生も参加する授業を受けたりと、語学はもちろん異文化を学ぶ機会がたくさんありました。公務員志望者へのバックアップもあり、県外から講師を招いた公務員講座などのサポートも充実していました。

現在は福井市役所の市民課に勤務しています。主な仕事は戸籍や住民票などの郵送請求への対応です。遠方の方とのやり取りでは顔が見えない電話対応が中心になりますが、「丁寧に教えてくれてありがとう」とお手紙を添えてくださった方もいて、嬉しかったですね。英語で書かれた書類が送られてくることもあるので、その時には大学で身につけた語学力が役に立ちます。市役所には、国籍や民族の違うさまざまな人たちが訪れます。大学で異文化を専攻し、異なる文化を持つ、考え方の違う人々が



いることを学びました。それが今の仕事で活かしています。

福井大学では良い先生、良い先輩、良い友達に恵まれました。福井市役所にも教育地域科学部(旧:教育学部)OBの会「福応会」があり、先輩が多いので心強いです。目標は、今以上に仕事のスキルを高めること。小さい頃からたくさんの人に支えてもらってきたので、今後、市役所の仕事を通して恩返しができればと思っています。

※地域文化課程、地域社会課程は、2008年4月に地域科学課程になりました。 ※所属等は取材時のものです。

医学部

FACULTY OF MEDICAL SCIENCES

医 学 科

看護学科

生命の尊厳、医の倫理を学び 社会に貢献する医療人を育てる

学術の中心として、高度に発展した医学および看護学の知識を修得させ、生命尊重を第一義とし、医および看護の倫理に徹した、人格高潔な、信頼し得る臨床医、医学研究者、看護職および看護学研究者を育成することを目的とし、もって、医学および看護学の進展、国民の健康増進および社会の福祉に貢献することを使命とします。

医学部

工学部

CAMPUS LIFE



卒業生 X 在学生

〔特集〕

患者さんが笑顔になれる医療を目指す

医学部を卒業し、附属病院で医師や看護師として働く先輩たち。大学で学んだこと、身につけたこと、医療現場で感じることを、医師や看護師を目指す学生とともに振り返りました。学科の垣根を越えて、医療に携わるために必要な能力や心構えをそれぞれの立場から考え、将来なりたい姿を語り合います。

熱心な指導と充実した教育環境が 興味の幅を広げる

山内 学生の頃、研究室に引きこもって電子顕微鏡をのぞき、基礎研究に打ち込んだ時期が最も印象に残っています。研究を通して先生方との距離が近くなりましたし、学会に連れて行ってもらったり、発表する機会をいただいたり、医師の世界を垣間見ることができました。臨床の現場でも基礎研究でやったことを勉強し直すことがありますし、研究に集中していた時期を振り返ると充実していたなと思います。

福井 私も3年次の基礎研究で教授に声をかけていただき、学会に連れて行ってもらいました。学生のうちに、学会に参加できたのは貴重な経験で新鮮でした。医学科では膨大

な量の知識を身につけなければなりません。初めは愕然としましたが、学生を飽きさせないようにと先生が工夫を凝らした熱心な指導をしてくださるので、なんとか乗り越えることができました。5年次の臨床実習は、ローテーションで診療科をまわります。寝る間も惜しんで患者さんのために働く医師の姿に感動する毎日。患者さんのためにがんばりたいという想いが強くなります。

酒井 第一線で活躍する先生方の中には、災害看護を専門とする先生方がいらっしゃいます。救急隊員の方による実演や災害時の映像を見せていただき、災害時の看護活動を学びました。災害看護では、発生時の対応だけではなくその後の心のケアも重要です。被災者に話しかけたり、被災者同士が集まって話し合う場を作ったり、看護にもさまざまな活動があることを知りました。卒業論文では、被災者が受ける精神面での影響を研究。大学時代において視野がぐんと広がりました。

井上 入学した年の夏休み、3日間の病院での実習がありました。ほとんど知識のないまま看護師の仕事の間近で見て、その歩く早さと機

〔左から〕

医師

山内貴寛さん

医学科2008年卒業

福井大学医学部附属病院
脳脊髄神経外科

学生

福井玲予さん

医学科5年次

学生

井上いぶきさん

看護学科2年次

看護師

酒井彰久さん

看護学科2010年卒業

福井大学医学部附属病院

(平成22年11月現在)



敏な仕事ぶりに驚きました。同時にたくさんの依頼があっても、決められた順序を守り、次々とこなしている先輩看護師の姿を見て、将来はこうなりたいと思いました。その頃から、附属病院で看護のお手伝いをするアルバイトをさせてもらっています。医療現場の雰囲気慣れ、患者さんと接する貴重な機会をいただいています。

患者さんから教えていただく 患者さんから元気をもらう

山内 福井大学医学部附属病院には、地域の基幹病院ならではの特徴があります。救急には症状の軽い患者さんが運ばれてくるともありますし、意識不明で症状の重い患者さんが運ばれてくるともあります。幅広くさまざまな症例を診ながら、一人の患者さんに十分な時間をかけることができる環境です。患者さんの数が多すぎる臨床現場ではこのようにはいきません。

福井 実習でも先生方が忙しすぎて質問ができないということはありませんでしたし、むしろ時間を割いて丁寧に教えてくださり、山内先生にもとても良くしていただきました。

山内 机上の勉強はいつでもできますが、患者さんと接する機会は臨床実習の時にしかありません。医師になったら、1年目も5年目も関係なく患者さんからは「医師」として頼りにされます。貴重な実習ですから、患者さんに接する機会をどんどん作ってほしいと思いますし、そのために職員みんながサポートしてくれます。



酒井 看護師の仕事でも患者さんとの会話がとても重要です。世間話をしながら患者さんの状態を観察して、今日の体調はどうか、気持ちはイライラしていないかと情報を集めています。実際はなかなか上手くいきませんが。

井上 病院でのアルバイトを経験して、耳の聞こえにくい高齢者との接し方が分かるようになりました。また、認知症も患者さんによってさまざまな症状がありますし、実践する中で、どうすれば良いのかが身につくのだと思います。

酒井 臨床では患者さんから学ぶことがたくさんあります。教えていただくだけでなく、患者さんがかけてくださる言葉に救われることもあります。患者さんのためにと働いていますが、実は患者さんから元気をもらっているのかもしれない。

身近な先輩がロールモデル 患者さんを笑顔にする医療人に

山内 脳脊髄神経外科の教授は、病棟にも頻繁に足を運び、患者さんはもちろん、医局員にもよく声をかけてくださる気さくな方です。診療科を選ぶ時、関心のある分野だったこともあります。熱心に教えてくださる先生方の人柄に惹かれたのも理由のひとつです。目指したいと思う先生が身近にいるというのは大きな励みになります。

酒井 1年目の看護師は診療科をローテーションでまわります。大学では災害看護師になりたいと思い、救急部の配属が希望でしたが、ローテーションで



脳脊髄神経外科を経験してからは脳疾患にも関心があります。いずれ救急部で活躍したいという夢は変わりませんが、今は脳脊髄神経外科への配属を希望しています。ローテーション制度で視野も、可能性も広がりました。

福井 医学科では5年次の臨床実習がローテーションです。大学に入る前までは、漠然と外科に憧れていましたが、今は病理学に興味があります。人との出会いや経験は、自分の興味や進路を大きく変えます。誰かのやる気や元気を引き出せる医師になりたいと思いますし、患者さんに感謝してもらえる働きができればと思います。

井上 アルバイトで病院にいと、患者さんから「看護師さん」と呼ばれることがあります。まだまだ機会は少ないのですが、患者さんと接する時は、態度や発言に責任を持たなければと身が引き締まります。

どんなに忙しい時にも丁寧に対応している病院スタッフの姿を見習い、笑顔忘れず、患者さんを笑顔にできる看護師になりたいと思います。



画像を使った医学教育

—— イメージングシステムによる革新的な医学教育の実施

医学生に求められる知識は膨大な量。ただ覚えるだけでは、知識が平面的になってしまいます。

福井大学が取り組む「画像を使った医学教育」は、論理的な思考を育み、臨床診断能力を効率的に

引き上げるプログラム。世界レベルの医学教育への試みです。

病気の診断に 必要となるのは 形態学

病気の原因を調べ、**診断していく分野を病理学**といいます。診断の手がかりとするのは、

人体解剖やX線写真など。これらを目で見て、**病気を形で捉えるのが形態学**です。

医療の現場では、常に病気に対して的確な診断を行わなければなりません。そのために形態学が必要となります。

画像から異常を見つけ、必要に応じた検査をすることで病気の**早期発見、早期治療**につなげます。

福井大学では、病気を形から見極める**形態学教育**に力を入れています。

臨床で役立つ知識を 効率的に身につける

福井大学の形態学教育の一つに、**統合的先進イメージングシステム**があります。

CT画像や超音波画像、MRI画像、組織・病理画像、分子画像など、

臨床現場で蓄積された数多くの**臨床画像をデータベース化**。

学生と教員がモニター上で討論できる、双方向対話型画像システムを導入。

臨床現場で使われている、さまざまな種類の高精細画像を使い授業を行うことで、

学生の**知識を補い、意欲の向上**を図ります。

プロセスを重視、 臨床診断能力を養う

亡くなった患者さんの死因を特定するため、オートプシーイメージングシステム（画像解析システム）を導入。

解剖をしなくてもCT画像によって、死因のみならず**死に至ったプロセス**までも解明することができます。

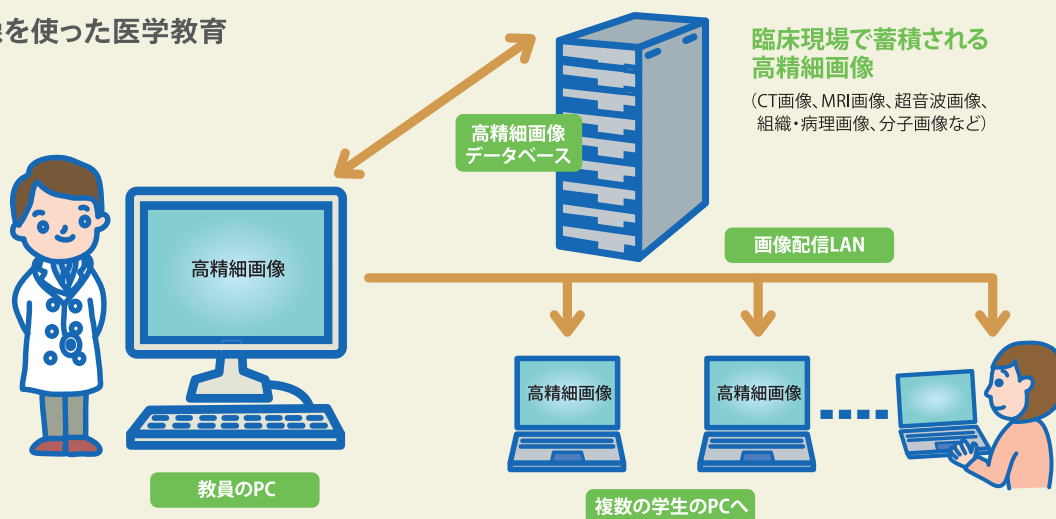
臨床現場では、診療科の違う複数の医師が診断に携わります。

授業でも、専門分野の違う医師（臨床医、放射線科医、病理医）が連携して

診断に至るまでのプロセスを解説し、

プロセスに重点を置きながら実践的に**臨床診断能力**を育成します。

画像を使った医学教育



〔学部の特徴〕

幅広い知識と高度な臨床能力 患者中心の医療が実践できる人材を育てる

臨床の第一線で活躍する優れた医師や看護師等を養成し、医学の進歩に貢献できる研究者を育てます。高度で先進的な医療を提供し、地域に貢献するとともに、世界レベルでの医学、医療の進歩に貢献。附属病院や地域の病院と密接に連携するなど、確かなバックアップ体制で支えます。

また、英語が使える医療人の育成を目指した「医学英語と医学・看護学の統合的一貫教育」は、文部科学省の現代GP(現代的教育ニーズ取組支援プログラム)に採択され、その取り組みが認められています。

医学部のこれまでの教育活動や成果等は、大学評価・学位授与機構によって、全国の国立大学法人医学部42機関の中で第3位と高い評価を受けています。

医学科

医師に求められるものは、安心と信頼の下で最高の医療を提供すること。この要望に応えるため、“医の倫理に徹した、人格高潔な、信頼し得る臨床医・医学研究者の育成”を開学以来の目的としています。そのために医学準備教育、臨床前医学教育、臨床教育が一連のものとして習得できる6年一貫教育を実施し、コアカリキュラム、テュートリアル教育などで自ら学び、考え、理解することを重視。臨床実習ではクリニカル・クラークシップ(診療参加型臨床実習)を導入し、学外実習も多く取り入れています。

看護学科

人間理解を深め、多様化する社会のニーズに応えることのできる専門的な看護力を養成します。また、将来にわたり自らの資質向上を目指すための基礎的能力を養成。将来の幅広い職業選択(看護師・保健師・助産師)が出来るよう、選択科目を多くし、学生の希望に沿った履修を可能にしています。学業面や生活面については、学年主任をはじめ、多くの教員がきめ細かくサポート。また、実践能力の高い医療人を育成すべく、個別相談も含めた実習指導体制になっており、附属病院での臨地実習では、臨床教員の指導を受けながら最新の医療を体験できます。

〔本学が育成する医療人〕

1. 幅広い医学や看護学の知識、高度な臨床能力、優れたコミュニケーション能力と高い倫理観を持つ医療人
2. 日々進歩する医学や看護学の知識、医療技術を生涯にわたって学ぶ習慣を身につけた医療人
3. 患者中心の科学的根拠に立脚した医療が実践できる医療人
4. 地域や国際社会の健康増進と疾病の予防、根絶に寄与できる医療人

〔資格〕

学科名	取得できる受験資格
医学科	医師国家試験
看護学科	看護師国家試験、保健師国家試験、助産師国家試験※ (※所定の単位取得が必要です)

医学科

高度な臨床能力、研究能力を身につけた 人間性豊かな医師を育成する

臨床を見据えた効果的な学習で 医師としての基盤を形成

医学に関わる学問領域は急速に発展し、その知識量は膨大になり、求められることも多様化しています。社会のニーズに対応するために、医学準備教育、臨床前医学教育、臨床教育を一連のものとして習得する6年一貫教育を実施。1年次に医学準備教育、2年次から3年次前期には臨床前医学教育「生命科学の基本的知識・疾患の原因・機序／人体の構造・機能」、3年次後期から4年次には「人体の生理的变化・病態・診断／症状から診断する基本的診療知識・技能・態度」を学びます。コアカリキュラムに準拠した統合型カリキュラムを取り入れ、チュートリアル教育などにより、自ら問題を提起し、探究、解決する能力を身につけます。5年次から6年次前期に行う臨床実習(クリニカル・クラークシップ)では、学外での臨床実習も数多く取り入れています。

それぞれの領域を有機的に連携させるために、全教員参加の授業配置や病棟看護体験実習(1年次)、最新の医療(医学)を学ぶアドバンスコースなどを設定。効率的かつ効果的に学習ができるカリキュラムとなっています。



病理組織実習の様子



シミュレーターでの実習

生命を学ぶ覚悟と 社会に貢献する熱意

医学科を卒業し、医師免許を取得した後は、臨床医や医学研究者をはじめ、医療行政職、法医・監察医務官、国際医療保健担当医務官など、卒業生が進む道はさまざまです。しかし、医学部は「人の生命」を学ぶ学部。高い学力以上に求められるのは人間性です。

周囲との協調性と奉仕の精神、幅広い基礎学力と応用能力、社会に貢献しようとする熱意、生命科学への強い関心、地域医療に従事する覚悟が必要。生命を尊ぶ謙虚な心と豊かな人間性を育み、社会に貢献できる医師を育成します。

テュートリアル教育

自ら問題を提起し、探究、解決する能力を身につけるための学習方法です。1年次に入門を履修し、3年次から4年次にかけて、基礎医学、循環器系、消化器系、神経系を扱い、繰り返し学びます。疾患を見つける力、さまざまな状況を知識と合わせて診断する力、治療方法を考える力を養います。

コア・カリキュラム

質の高い医師を育成するために、また、社会のニーズの変化に対応するために、従来の記憶中心、詰め込み型の教育内容から脱し、医学生が基本的な内容を実践に身につけられるようにと、文部科学省が掲げたガイドライン。医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠した統合型カリキュラムを取り入れています。

CBT・OSCE

4年次に行われる共用試験。5年次から始まる臨床実習で必要となる知識、技能、態度が身についているかを評価します。CBTは医学知識の習得を確認する多肢選択型の試験。OSCEは臨床技能が試される実技試験。共用試験に合格した学生だけが臨床実習に参加できます。

医学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
総合教育科目等	総合教育科目 総合教養ゼミナール 倫理の基礎から応用へ 生命倫理学入門など					
	基礎教育科目 医学のための物理学入門 医学のための生物学入門 語学(英語・ドイツ語・フランス語・中国語)など					
専門教育科目	医学準備教育 医学概論 医学入門 人の行動と心理など	医科学基礎実習				
	医学外国語	医学英語1、2	医学英語3、4	医学英語5 実用医学英語		
	医学基本事項 コミュニケーションとチーム医療 入門テュートリアル		コミュニケーションとチーム医療	医の原則 医療における安全性への 配慮と危機管理 コミュニケーションとチーム医療		
	基礎医学科学	細胞の基本構造と機能 組織・各臓器の構成、機能と 位置関係 個体の調節機構と ホメオスタシス 個体の発生 生体物質の代謝 遺伝と遺伝子 生体と微生物 免疫と生体防御 人体解剖学1、2	生体と医動物 生体と放射線・電磁波・超音波 生体と薬物 原因と病態 テュートリアル1			
	基礎臨床医学1		血液・造血器・リンパ系 循環器系 呼吸器系 消化器系 腎臓内科 泌尿器系 女性生殖機能・乳房 内分泌・栄養・代謝系	神経系 皮膚系 眼・視覚系 運動器(筋骨格)系 耳鼻咽喉・口腔系 精神系		
	基礎臨床医学2			感染症 免疫・アレルギー疾患 物理・化学的因子による疾患 成長と発達 加齢と老化 死と法		
	診療の基本			症候・病態からのアプローチ 基本的診療知識 基本的診療技能		
	社会医学	地域医療学		医学・医療と社会1、2 地域医療学		医学・医療と社会3
	臨床研修		地域医療学実習		臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)	
	その他		アドバンストコース1～5 研究室配属	アドバンストコース6～10	実践臨床病態学	

●シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。<http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/>

医学英語

英語が使える医療人(medical professionals)の育成を目指し、医学英語教育に力を入れています。コミュニケーションセンター「イークリニック」では、病院内を模した設備を利用し、最新の視聴覚教材や外国人模擬患者などによる授業を行います。英語論文の読解力やプレゼンテーション力も習得できます。

アドバンストコース

医学生が習得すべき基本となるコアカリキュラム(必須科目)に加えて、最新で高度な医学、医療知識の習得を目的としたアドバンストコース(選択科目)があります。3年次から4年次にかけて履修することができます。

クリニカル・クラークシップ

クリニカル・クラークシップ(臨床実習)では、学生が医療チームの一員として診療に参加します。指導医の指示のもとで実際に患者さんの診療に携わることで、医療現場での臨床を経験し、医師に不可欠なコミュニケーション力や連携する力といったさまざまな素養を身につけます。

看護学科

職業選択の幅がぐんと広がる 多彩な講師陣と多様なカリキュラム

看護学の基礎を学び 看護師としての一步を

基礎看護学では、看護の基本となる考え方や知識、技術を身につけます。看護技術の演習は、学生が看護師役、患者役となり、患者さんに適切な技術が提供できるよう、血圧や脈拍の測り方、洗髪や着替えなどを学びます。また、臨床実習では、聞いて、見て、触れることのほとんどが学生にとって初めての体験。さまざまなことを感じ、考えながら、看護師となるための第一歩を踏み出します。



演習や実習で使用する聴診器を購入します

多様な健康問題と看護ケアを 実践的に学ぶ

臨床看護学では、青年期・壮年期・老年期にある人や家族、周産母子や新生児期(胎児期)にある人や家族を対象とした健康問題と看護を学びます。特に患者さんの生活に着目し、腎臓病の方には塩分を抑えた食事の指導をするなど自己管理やセルフケア能力を高めるための援助について学びます。また、救命救急士を招きAEDの使い方を学んだり、マタニティ教室を開催するなど、臨場感のある講義や演習、多様な場での臨床実習で高い実践能力を身につけるとともに、災害看護やがん看護など社会のニーズに即したカリキュラムで学生の意欲を高めます。



身体の流し方など、慢性呼吸不全患者さんの生活を支える看護について学びます

社会から期待される 看護職を育成

地域看護学では、役所や企業の健康管理センターなどで働く保健師の資格取得にむけたプログラムや、子どもや高齢者の看護を家庭訪問で提供する在宅看護を学びます。

また、保健所や市町村保健センターなど「病院の外」で働くスペシャリストのための臨地実習や演習もあります。ある地域に暮らす人々の健康を分析する演習や、保育園や公民館で子どもや高齢者に健康に関するミニ講座を開催することを通して、実践能力を養います。



保育園では、手の洗い方やバイ菌のことを子どもに分かりやすく説明します

初年次生学習グループ

話し合い、共有することで、悩みや不安を拭い去る

新入生4～6人で1つのグループを作り、話し合います。部活やアルバイト、人間関係などで楽しかったことや困ったことなど、近況を話し合い、共有するとともに、1人では学べないことをみんなで学んでいきます。また、担当教員が入り、普段は聞けない素朴な疑問に答えます。



どんな話題でもOK。一緒に頑張る仲間と何でも話し合います

看護学入門

大学での学び方を考え、大学で身につけることを理解

高校までの受け身で「覚える」学習から、自ら学ぶ意欲や疑問を持つ「考える」学習への転換を目的に、初年次教育の取り組みとして「看護学入門」を行っています。講義やワークショップ、演習、グループワークなどを行い、大学で何を学ぶのかを理解し、大学における具体的な学び方を知り、看護学生としての基本的マナーを身につけます。授業を通して、看護職になることへの心構えを持ち、目標を持って自ら学習に取り組むことを目指します。



話し合った内容を発表して、他のグループとも考えを共有

看護学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目	人間理解	哲学 法学 心理学	教育学	哲学Ⅱ
	情報処理	情報科学	統計学	
	語学	語学(英語・ドイツ語・フランス語・中国語)	英語Ⅲ 英語Ⅳ	英語Ⅴ
	体育	健康・スポーツ科学		英語Ⅵ
専門基礎科目	生命基礎科学	生命基礎科学(化学、生命科学、物理学) 生命基礎科学実験(化学、生命科学、物理学)		
	健康科学	健康科学論 形態機能論・実習 生体反応論・実習	薬理作用論 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 健康管理論 成長発達論 人間行動論	心理測定論
	環境科学	生活科学論 環境科学論	疫学 保健統計論	保健医療福祉論Ⅰ 保健医療福祉論Ⅱ
	基礎看護	看護学入門 看護学概論 日常生活援助論	看護過程論 看護コミュニケーション論など	看護倫理 リスクマネジメント論 看護管理
専門科目	健康時の看護		地域看護学概論 地域看護活動論Ⅰ	地域看護活動論Ⅱ ケア提供システム論など
	健康障害時の看護		急性期看護活動論 慢性期看護活動論 リハビリテーション看護活動論 老年看護活動論 母子看護学概論 精神看護学概論	災害看護論 がん看護論 ターミナル看護論 小児看護活動論 母性看護活動論 精神看護活動論 在宅看護活動論
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	実習(地域看護学、成人看護学、 老年看護学、小児看護学、母性看護学、 精神看護学)
	卒業研究			助産学実習 卒業研究

●シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/

看護キャリアアップセンターの取り組み

医療人は、国家資格を得た後も専門知識を深め技術を高めるため、継続的に学ぶ必要があります。看護キャリアアップセンターでは、このような看護継続教育を看護の基礎教育(大学や専門学校など)を終えた看護師に対してさまざまなレベルで提供します。

活動内容

1. キャリアアップ教育(呼吸ケア認定看護師養成)
2. 生涯学習支援(社会人学び直し教育)
3. 看護実践能力開発(継続教育)
4. 情報発信(セミナー開催)
5. 研究支援(看護研究教育・支援)
6. 国際的・学術的な交流(国際交流、国際看護学セミナー開催)



注射の演習

附属病院



高度な先進医療を提供し、地域医療を支える基幹病院

附属病院は600床を有する県内唯一の特定機能病院であり、25の診療科、4つの中央診療施設、12の特殊診療施設からなる病院です。一般の医療機関では実施することが難しい専門的な診療や高度な先進医療を推進し、特に高エネルギー医学研究センターとともに、全国的にも特色のある高度先進医療を研究・実践しています。

「最高・最新の医療を安心と信頼の下で」を基本理念に、専門的で高度な医療を提供し、基幹病院として地域医療に貢献するとともに、優秀な医療人の育成に努めます。

〔附属病院の特色〕

高度な医療技術を提供

血液疾患の化学療法、小児がんの治療、未熟児診療、循環器関係手術、消化器関係手術等治療、脊椎・腰椎関係手術、前立腺がん治療、口腔外科手術など、大学病院だからできる高度な医療技術を提供しています。

エイズ治療の中核拠点病院

エイズ診療の充実と、地域内および地域間の連携を充実させることを目的とした中核拠点病院に厚生労働省から認定。進歩する治療や診療方法の情報を収集し、地域の医療機関へ情報を提供しています。

ISO9001（病院を評価する国際規格）認証

病院の総合的レベルを評価する国際規格ISO9001を2003年9月に取得。透明性、立証性、公平性、信頼性に対する積極的な取り組みを継続的にを行い、質の高い医療を提供しています。

地域がん診療連携拠点病院

質の高いがん医療の提供、県民のみなさんへのがん医療の情報提供を行っています。がん看護の相談や支援を行う看護師が常駐し、緩和ケアチームと連携し、地域におけるがん医療の向上に取り組んでいます。

医療環境制御センター

「医療安全管理部」と「感染制御部」からなる「医療環境制御センター」。医療の安全管理と院内感染の対策を一元化するために設立。医療スタッフと事務局が一体となって事故をゼロにするための活動を行っています。

地域医療連携部

高度な医療を担う大学病院と地域医療機関が連携し、患者さんの紹介や受け入れをスムーズに行うために設置された医療サービス部門です。入院・転院患者の手続きや受け入れ施設との連絡調整などを行います。

〔附属病院の取り組み〕

医療チームの技術向上のために

①シミュレーション研修「院内メディカルラリー」

メディカルラリーは医療チームが特殊メーキャップを施した模擬患者を診察して、限られた時間内にどれくらい的確に治療することができるかを競い合う技能コンテストです。模擬患者はあらかじめ決められたシナリオに沿って演技をします。模擬患者に対して診察し、実技修練のための器具やシミュレーターを使って心肺蘇生や薬剤投与などの処置や看護を行い、その結果を点数で評価。4つのシナリオに対する処置の

総合得点で順位を競います。今回のシナリオは低血糖発作で意識がなくなった患者さん、胃潰瘍による出血性ショックの患者さん、ACLS(二次救命処置)、BLS(一次救命処置)指導です。医師と看護師が連携し、院内患者の急変時における対応能力の向上を目指して取り組みました。医療スタッフのチームワークを育むための良い機会でもあり、参加者が意欲的に学ぶことができる研修となっています。



ACLS(二次救命処置)



低血糖発作で意識消失した患者さんの対応

次代を担う医療人を育成するために

②新しい技術が習得できる臨床教育研修センター

臨床研修医をはじめ、新人看護師の研修や薬剤実習、学生の実技練習や診断学実習、また地域の医療関係者の研究会、講習会に利用するなど、日進月歩の医療において新しい技術や知識が得られる施設です。

センター内の「スキルラボ」には、コンピュータ内臓の人形

(シミュレーター)が置かれ、医学生、看護学生、研修医、新人看護師たちがいつでも実技練習ができるように24時間利用が可能となっており、医療現場で必要となる技能の向上に役立っています。電子カルテ端末機や仮眠室を備えた研修医室など、次代を担う医療人をサポートします。



臨床教育研修センター



約130名が利用できるメインホールでのセミナーの様子

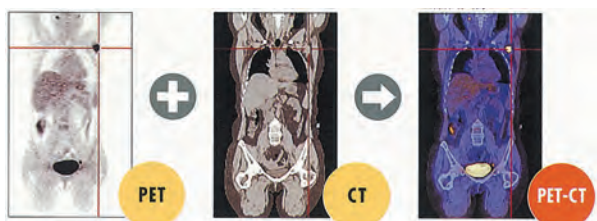
医療研究の成果を地域の人たちのために

③最先端画像装置の導入による2つの専門ドック

先端医療画像センターでは最新鋭の画像診断装置PET-CTと3T-MRを利用し、PET-CT腫瘍ドックと3T-MR脳ドックを開設しました。臨床の各領域でなくてはならない技術となった

PET-CT腫瘍ドック

わずか数ミリのがんを発見するPET検査は、従来のCTやMRIとは違い、細胞の活動状態を画像で見ることができます。さらにPET-CTは、機能画像(PET)と形態画像(CT)を一度に撮影し全身を見ることができます。検診者の負担が少ないことも特徴です。PET-CT腫瘍ドックでは、全身のがん細胞の増殖を早期にとらえることができ、腫瘍マーカーや超音波等の検査データによって、専門医が治療や予防のためのアドバイスをします。

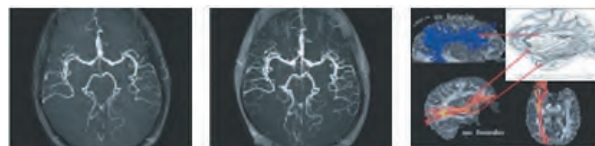


PET（左：機能画像）とCT（中央：形態画像）を融合させて、鮮明に見えるPET-CT（右：融合画像）

た画像による診断。放射線の医学への応用は福井大学が得意とし、取り組んできた分野です。世界にも認められた研究成果を地域の医療に役立てています。

3T-MR脳ドック

3T-MRの特徴は、造影剤を使用しなくても血管を画像化できること。そして、X線被ばくがないので検診者の負担が少なく、検査前の食事制限もありません。同一断面で多彩なコントラスト画像が得られるため、鮮明な画像により血管の病気の診断にも適しており、正確な診断を得ることができます。3T-MR脳ドックでは、脳梗塞や脳内出血、クモ膜下出血、脳腫瘍、痴呆などの疾患を早期に発見し、専門医が治療や予防のためにアドバイスをします。



従来の1.5T-MR装置（左）より、血管が鮮明に見える3T-MR装置（中央）。右は機能を示したものの

医療職を目指す高校生のために

④「外科手術体験キッズセミナー」

キッズセミナーは、高校生が最新の外科医療を体験し、医療への関心や理解を深めるための試みです。最新の内視鏡外科手術シミュレーター操作による胆嚢摘出の模擬手術体験や超音波凝固切開装置（超音波メス）による鶏肉の切開体験、手術用縫合糸による縫合体験、自動縫合器（瞬時に縫い

合わせが行える器具）の操作体験、トレーニングボックスを使用した鉗子操作体験といった5種類のプログラムを用意。高校生には外科医師の仕事を体験する機会となり、参加した医療従事者には、初心にかえり、知識や技術を体系的に教えることの大切さを再確認する貴重な場となっています。



内視鏡外科手術シミュレーター



超音波メスによる鳥肉の切開

大学院 医学系研究科

基礎医学、臨床医学、看護学のさまざまな領域で 世界レベルの研究を実施し、優れた成果を発信

医学・生命科学領域を対象とした博士課程と看護学領域を対象とした修士課程で構成する大学院医学系研究科。その教育活動や成果等は、大学評価・学位授与機構によって、全国の国立大学法人大学院医学系研究科41機関の中で第1位と高い評価を受けています。

博士課程（医科学専攻、先端応用医学専攻）

対象者……医学科卒業者及び修士課程修了者

先進的医科学、高度先端医療のリーダーを育成する博士課程では、国際的に活躍できる研究者や優れた医療技能を備えた人材の育成に力を入れています。転写因子の働きや脳、免疫、生殖医学に関する研究では世界的に高い評価を受けており、独創的な数多くの研究を展開しています。特に、生体画像医学研究は得意とする分野でもあり、「21世紀COEプログラム」（日本の大学に世界最高水準の研究教育拠点を形成することを目的とした文部科学省の補助金事業）に選ばれました。

医科学専攻では優れた創造性と研究能力、開発能力を有した研究者を育て、先端応用医学専攻では地域社会や国際的レベルで臨床研究を遂行できる高度医療職能を有した人材を育成します。



博士課程の講義の様子

修士課程（看護学専攻）

対象者……看護大学卒業者及び看護師・保健師・助産師として3年以上の経験者

専任教員の講義や演習に加え、外部の専門家による講義で最新の看護、医療を履修できます。実践的な課題に関する実験や調査などを行い、ゼミや個別指導形式によって修士論文を作成。基礎・地域看護学では多様な生活の場での看護援助、成人・老人看護学では高齢者の援助や慢性疾患、がん患者、家族の援助、災害看護など、母子看護学では母子を取り巻く健康問題について実践的に研究します。

高度な理論と技術を持ち、専門的看護ケアの実践能力を備えた看護専門職と指導的役割を担う教育・研究者を育成。看護学の基盤となる幅広い領域の習得と実践、研究能力の向上を目指します。



看護学専攻での実験の様子

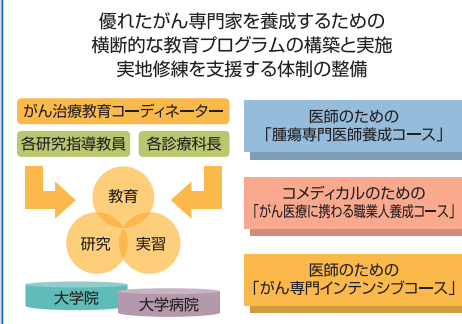
北陸がんプロフェッショナル養成プログラム

高い臨床能力と研究能力を併せ持ったがん専門医師及びコメディカルを養成するためのプログラム。北陸地域の5大学（金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、石川県立看護大学）が共同で取り組み、ICT (information & communication technology) による融合型教育システムと「がんプロネット」を構築。北陸地域内外で、がん情報の発信や交換をすることができます。

参加する大学病院及びがん診療連携拠点病院は、北陸地域のがん患者の70%以上を診療しています。参加する全病院に各種がん診療の標準化を求め、地域のがん診療の質的向上、均てん化を図ります。また、集積されたがん診療のデータベースを用いて、アウトカムの検証を行い、診療向上のためにフィードバックするとともに、臨床共同研究に発展する予定です。

チームワークを重視した医師及びコメディカルの融合型教育システムは、日本のがんプロフェッショナル養成システムのモデルとして期待されています。

「北陸がんプロフェッショナル養成プログラム」の概略図



求められるのは膨大な知識量 医師を志した最初の想いを大切に

木村浩彦 教授／医学科放射線医学

4年次の学生を中心に放射線診断学を教えています。放射線科では、放射線で撮像した何百枚もの画像から、異常のあるたった1枚の画像を見つけ出すことが日常的に求められます。その能力は他の診療科でも必要とされます。今は、卒業後に即戦力となることを求められる時代です。以前なら卒業してから身につければ良かったことも、学生のうちからトレーニングしなければなりません。それは他の科目や診療科においても同じです。医学で必要とされる知識は次々に増え、学生が学ばなければならない内容が膨大な量になっています。

医学は数多くの学問の上に成り立っています。その分野は広く、とてもひとりの人間では抱えきれません。だからこそ、医学を志した最初の頃の想いを大切にしてほしいと思います。講義の多い2、3年次に、あまりにも多い知識量、求められることの膨大さに、何のために勉強をしているのかわからなくなる時期があります。ひとりの人間が全てに精通することなどありえない。けれども、医学が膨大な知識の上に成り立っていることは理解してください。

患者さんの治療は、それだけでも大変なこと。しかし、新しい医療に挑戦していかなければ医学は発展しません。医学そのものの発展に貢献できる医師を目指してほしいと思います。



“地域看護”の視点を身につけ 看護師としての可能性を広げてほしい

長谷川美香 教授／看護学科地域看護学


病院で患者さんに接するだけが看護職ではありません。看護職の一つである保健師は、地域全体をフォローする“地域看護”を担う仕事。赤ちゃんからお年寄りまで、地域で生活している人々のご家庭を訪問し、健康をサポートしていきます。家庭内での虐待やDVなどの問題に目を配るのも地域看護の役割。教育や介護など他職種と連携を図り、広い視野から地域のすこやかな生活環境づくりをお手伝いします。地域に根ざした保健師の視点は、病院で看護を行う上でも大切です。入院患者さんには退院後の生活があり、地域の文化に合わせた看護は患者さんの立場にたったケアにつながります。

地域看護学実習は、3年次後期から4年次前期に各論実習の一環として実施します。県健康福祉センターや各市町村など行政の場で行われます。保健師の国家試験対策講座も実施しており、2008年度は合格率100%の成果を上げました。

医療の現場は刻々と変化し、医療職だけでは解決できない問題も増えていきます。そのような中で看護職の果たす役割は年々拡大し、働く場所も病院だけでなく地域、学校、介護、産業医療、海外と選択肢が広がっています。大学で看護の基礎をしっかりと学び、地域看護といった視点を身につけることが、医療業界で働く大きな力になるでしょう。可能性を広げるためにも、たくさんのことを学んでください。



在学生メッセージ



医師に必要な
コミュニケーション力
大学生活を充実させて
身につけたい

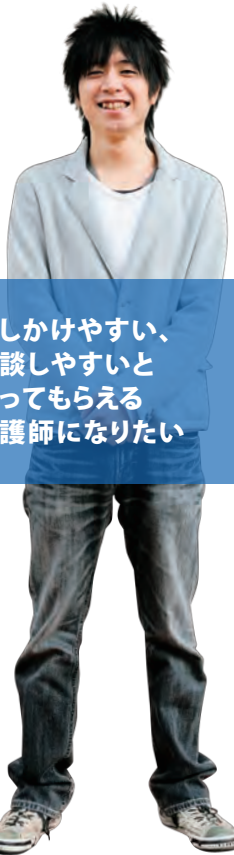
高橋芳徳さん

医学科

医学部は生真面目な人が多いのかなと思っていましたが、みんな明るく活発で、楽しい学生ばかりです。もちろん医学は難しくその学習量も膨大なため、一日中勉強機に向かっていても多くあります。始めは部活やサークル活動に参加できないと思っていましたが、慣れると自分のペースで進められるようになり、時間を確保して充実した大学生活を送っています。

部活はバドミントン部に所属しています。部活には週3回参加し、その他の日に飲食店や家庭教師などのアルバイトをします。勉強と部活、そして遊びを、それぞれバランス良く行いたいと思っています。勉強や部活で課題に直面したら、その度の一つずつ解決するための努力をする。遊ぶ時には、思いっきり遊ぶ。貴重な大学での時間を無駄にしないようにしています。

将来医師になった時に、重要になるのはやはりコミュニケーション力だと思います。患者さんとの間ではもちろん、医療スタッフとのやりとりもなくてはならないものです。これは勉強だけで身につくのではなく、部活や遊び、バイトでの人との会話を通して初めて身につくものだと思います。今後はボランティア活動にも取り組み、多くの人と関わることでコミュニケーション力を身につけて将来に活かしたいと思っています。



話しかけやすい、
相談しやすいと
言ってもらえる
看護師になりたい

石本龍太郎さん

看護学科

看護学科では半数以上の学生が、1年次の夏から3年次まで附属病院でアルバイトをしています。医療現場で看護のお手伝いをさせてもらえるので、現場の雰囲気や病院で使われている言葉に触れることができますし、患者さんと話す機会もありますので、年配の方への言葉使いや接し方が身につきます。月8〜10回ほどで続けていて、2年次にはバイト長として病院側と学生側の調整役を務めました。人のあいだに立って、情報の橋渡しをする良い経験になったと思います。

幼い頃、身体が弱く、夜中に救急病院に運ばれることが何度もありました。母が看護師ということもありますが、看護師は身近な憧れの職業で自然と目指すようになりました。看護学の勉強は大変ですが、看護師は患者さんと接する職業ですのでも人間的な大切だと思います。ベッドから起き上がるのをためらう患者さんには、リフレッシュできるように身体や髪を洗うことを勧めて、無理せずに身体を動かせるような提案をするなど、患者さん一人ひとりに合わせた接し方を考えます。医療知識を患者さんにわかりやすく伝え、患者さんから話しかけやすい、相談しやすいと言ってもらえる看護師になりたいと思います。

卒業生メッセージ

患者さんからの素敵なひと言 医師として働けることがうれしい

市川麻衣さん

医学科 2009年卒業
福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター

研修医の仕事は、まず第一に患者さんと話すことだと思います。患者さんと向き合い、傾聴することで、問題点が明らかになります。医師になってもうすぐ1年。さまざまな患者さんに会いました。一番印象に残っているのは、担当する患者さんと同じ病室にいた方とのやりとりです。担当する患者さんの病室を毎日訪れていると、同じ病室の患者さんとも仲良くなることがあります。私が研修している診療科とは違う科で入院していた患者さんでしたが、気になっている体調のことを相談してくれました。私は自分がわかる範囲で答えて、検査を勧めました。研修する診療科が変わり、その患者さんと会う機会もなくなってしまいましたが、その後しばらくして病院の廊下で偶然お会いした時には、私が検査を勧めたことがきっかけで検査入院をされていました。相談した



ことを感謝してくださり、別れ際に「あなたの笑顔を見ているととても元気になるからまた今度見せてください」という素敵なひと言をくださいました。患者さんの話を聞き、アドバイスすることでこんなにも感謝されるなんて、医師が素晴らしい職業だと改めて実感。医師として働けることをとてもありがたかったです。

同僚たちとともに悩んだり、喜んだり、時にはつまづいたりしながら、たくさんの患者さんから頼ってもらえる医師になれるよう日々努力したいと思います。

経験を積み重ねることが大切 男性看護師にできることを考える

大杉拓矢さん

看護学科 2009年卒業
福井大学医学部附属病院整形外科・脊椎外科

附属病院に勤めてもうすぐ1年になります。体温や血圧を測ったり、患者さんのベッドまわりの環境整備、介助が主な仕事です。整形外科は手術の多い診療科ですから、患者さんに術衣に着替えてもらったり、手術の後に点滴を変えたりすることも重要な仕事です。術後の患者さんは状態が変化しやすいので、その時々でどのように対応するか、わからないことがたくさんあります。経験を積むことが大切だと感じています。

入院した時に男性看護師がいて驚いたことがあります。それが、看護という仕事に関心を持ったきっかけでした。忙しくて大変な仕事だと聞いていましたが、人との関わり合いの深い仕事がしたいと思っていました。大学の実習で、手術を受ける患者さんを担当させてもらったことがあります。初めて手術を受ける患者さんだったので、不安を少しでもやわらげ



たいと思い、手術室にも一緒に入ってずっと手をにぎっていました。手術の後、患者さんから「麻酔をしていたけど手をにぎってくれているのがわかった。ありがとう」と言っていたので、本当にうれしかったです。

看護師は男性の数が少ない職業ですが、力仕事や男性の患者さんのお世話など、男性だからできることもたくさんあります。頼りにしてもらえる看護師を目指します。

※所属等は取材時のものです。

工学部

FACULTY OF ENGINEERING

機械工学科

電気・電子工学科

情報・メディア工学科

建築建設工学科

材料開発工学科

生物応用化学科

物理工学科

知能システム工学科

夢を描き、それをかたちにする IMAGINEERを育てる

基礎的な知識・教養と高度な専門能力に加え、創造力、評価力、自己学習力およびコミュニケーション能力を併せた総合能力を持つ技術者・研究者を養成します。また、地域社会と国際社会の豊かな発展に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。

教員 × 在学生

【特集】

やる気と才能を引き出すGPプログラム

文部科学省の教育GPに採択された「夢を形にする技術者育成プログラム」。学部の共通科目「学際実験・実習」と全工学部生が共通の時間枠で自由度の高い活動をする「創成活動」を2本柱に、学生のやる気と自信を引き出す取り組み。意欲的に取り組む学生とそれを支える教員がこれまでの活動を振り返ります。

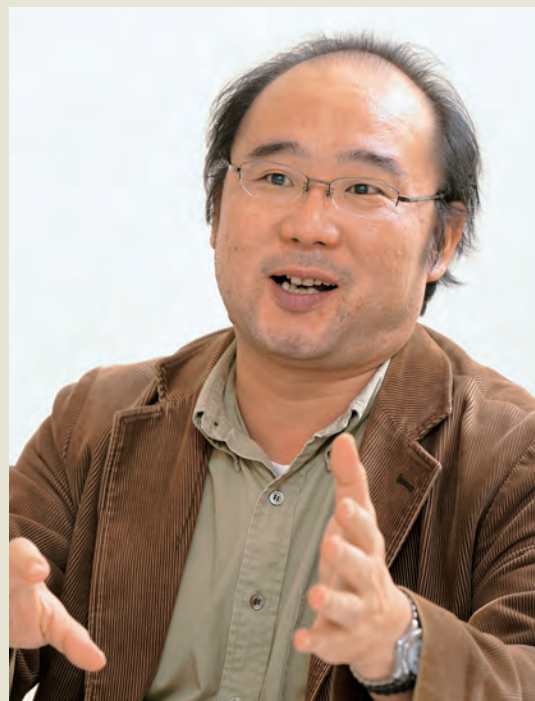
学生の興味に問いかけ

さまざまな創成活動が生まれた

鈴木 「学際実験・実習」の中のエコロジー&アメニティプロジェクト(エコアメ)では、教員がやってほしいテーマを提案して、学生がその中から選んだり、教員の提案をもとに学生自身が新たなテーマを作ったりして活動します。私は、エコアメの一環として、今年は自転車とパソコンの再利用(REUSE)を提案しました。パソコンREUSEでは森山さんたちが活動してくれました。

光藤 創成活動の物理博物館や雑木林を楽しむ会の活動に関わっていますが、どちらも長い活動歴があり学生が積極的に進めていますから、私から提案することはほとんどありません。大学の南側を流れる底喰川の清掃を田原町商店街の人たちと企画した時は、雑木林を楽しむ会の学生数名に声をかけて快く手伝ってもらいました。「ちょっと手伝ってよ」という軽い投げかけから始められるのが「学際実験・実習」や「創成活動」の良いところですね。

森山 パソコンのREUSEは、大学内で不要になったパソコン類を部品の交換といった修理をして再利用する活動です。直ったパソコンは地域の方に差し上げたり、本当に使えないものは子どもたちの“解体イベント”に利用したり。毎



年、大学で大量に廃棄されるものを再利用することで、地域の人たちに喜んでもらえるのが嬉しいですね。

石川 物理博物館や雑木林を楽しむ会、他にもいろいろな活動に参加しています。雑木林を楽しむ会には大学院に入ってから参加しているので、清掃活動については知りませんでした。でも、底喰川はこの数年できれいになってきてい

【左から】

鈴木 清 講師
材料開発工学専攻

石川裕也さん
理工工学専攻1年次
物理博物館(「創成活動」)、
雑木林を楽しむ会(「創成活動」)
写真同人ふぉん!(「創成活動」)

柴田叔之さん
建築建設工学科4年次
FukuiPlay-Studio遊房
(「学際実験・実習」)、
雑木林を楽しむ会(「創成活動」)

森山聖子さん
生物応用化学科3年次
パソコンのREUSE
(「学際実験・実習」)

光藤誠太郎 教授
理工工学専攻
(平成22年11月現在)





るなと思ってました。

光藤 雑木林での活動が始まったのは、底喰川の河川改修工事で木が伐採されることを聞いて、雑木林を残したいと考えたことがきっかけです。大学が活用すれば、ただの荒地ではなく、伐採され、駐車場などに整備されることもないだろうと。身近な出来事を教員が投げかけて、それを受けて学生が行動し、現在のように広がったのです。

柴田 雑木林の活動は河川改修工事の関係で中だるみして、2007年からしばらく休止していました。工事がいつになるのか分からない状況でモチベーションを保つのが難しかったのでしょう。学生が動かなければ雑木林の存在が忘れ去られてしまうという危機感から、2010年2月に先輩方の声かけで再開しました。活動の土台があったので、すぐに再開できたのだと思います。

リーダーシップを育む土壌が 学生の成長したい思いを膨らませる

森山 エコアメは授業としてやるだけなので、次年度は全員が入れ替わってしまい、活動がどう引き継がれているのか知りません。後輩につないでいくことを考えると、部室のような場所があればいいのかなと思ったことも。雑木林を楽しむ会のように、いろいろな学科の人が集まって意見を出し合って、次の年の学生に伝えているのはすごいことだと思います。

光藤 パソコンを一生懸命作って、動くように

なったらそれで終わりではなく、部品をより高い性能のものに切り替えるとか、常に新しい課題を作って活動すれば、次の人たちに継続していきけるのかもしれない。ただ、リーダーの想いが強すぎるとメンバーが消化しきれずに活動が停滞してしまうことも多いので、みんなの意見を聞いて決めていくほうが良いでしょう。

石川 物理博物館でリーダーを務めたことがあります。企業訪問や研究室ツアー、物理道場など、新入生も一緒に参加できる内容を企画しました。みんなが楽しめて参加しやすい内容にしようと、ずいぶん悩んで考えました。次にリーダーとなる後輩にも、引き継ぐより新しいことを考えてほしいと思っています。大学は4年間で学生が卒業してしまう、入れ替わりの激しい場所です。継続するための方法を考えるより、その時々学生が自分たちで活動したい内容を考え、そのための空間をそれぞれが作っていく形が良いのかなと思います。

柴田 雑木林の活動に参加したばかりの頃は、これまでの経緯を全く知らないで参加していました。なにか面白そうなことをやっているから入ったという学生が多かったようです。雑木林の現状も知らなかったので、まず調べることから始めました。創設当初の先輩方の気持ちに近づきたいと思い、それじゃあ雑木林を使ってみようとバーベキューをやってみたり、光藤先生に声をかけてもらって底喰川の清掃活動を試みたり。そうしているうちに愛着がわきました。古い家は住む人が住みやすくするためにリフォーム



をしますが、雑木林もその時に利用する人がどのように使いたいかを考えて、使いやすいように変えて行けば良いのかなと思います。

鈴木 雑木林を楽しむ会は、2007年でひと段落ついて活動が休止したんでしょうね。活動が盛り上がって「次に何をしようか」となった時に、冷却期間を置いて、新しい学生が入ってくるのを待っていて、それでも雑木林を守りたいという想いをつないでいる。とても良い活動の形になっていると思います。継続するのは大変なこと。活動の中心に立っている学生は好奇心が旺盛で、他の活動にも参加するから時間がなくなってしまう。でも、そうしていろいろな場所に顔を出すと、興味の幅がどんどん広がっていく。難しいけど、継続することで得るものはたくさんあると思います。

森山 私は前に出るタイプではありませんが、リーダーシップを取って活動できる土壌が大学のあちこちにあって、主体的に活動している人たちを見ていると、「私も参加したい、成長したい」という気持ちになります。

活動を通して交流が広がり 地域との関係が深くなる

鈴木 みんなが楽しく取り組むためには雰囲気作りが大切です。活動が義務になってしまうとそっぽを向かれてしまう。ある程度の枠組みの上に、みんなが発言できて、みんなに何かできるかと思える自由があればみんなが主体的に動き始めるのでしょう。



石川 私は話し合いの時、種を蒔きます。それで誰か引つかからないかなと。引つかからなかったら、波を起こして盛り上がったところで、出てきた一人にお任せします。誰か一人が動けばみんなが動き出すと思うんです。

柴田 そういうことができるってすごいですね。でも難しいんじゃないですか。

石川 蒔いた種を誰がどのタイミングで拾うかわからないから、とにかく蒔き続けるしかない。それにはすごい労力が必要で、講義を行う先生方の苦勞がわかったような気がします。蒔いた種のうち、どれかわからないけど、自分が言ったことを後輩が覚えていてくれるとすごく嬉しいですし、それが自分の向上心につながっていると思います。

柴田 石川さんとは下宿が近くて顔見知りだったんですが、雑木林の活動で初めて話したんです。光藤先生も学食ではよくお見かけしていて、雑木林の活動で「あっ、あの先生がいる」と（笑）。活動を通して知り合いが増えて、大学ではもちろん大学の外でも声をかけてもらうことが多くなりました。

光藤 大学の中に森があって子どもたちと一緒に遊んだり、地域の方から「最近どうしている？」と声をかけてもらえたり。昔なら見かけた光景も、現在では珍しいのではないのでしょうか。このような環境で大学時代を過ごした学生が、福井を第二のふるさとのように感じてくれていると嬉しいですね。

〔学部の特徴〕

夢をカタチにする技術者 IMAGINEERを目指して

私たちの暮らしを支える、最も身近な学問のひとつに工学があります。身の回りの豊かな生活や社会を支えているのが科学技術、それらはすべて工学に基づいています。工学とは、人類の叡智を、人類のためにカタチにする学問です。

工学部は、8学科で構成。工学分野のほとんどを網羅した、日本有数の大規模な工学教育研究機関です。また、全国的に高い評価を得ている教育プログラムは、文部科学省からも特色のある優れた大学教育として多数採択されており、その成果は高い就職率となって表れています。

夢を描き(IMAGINE)、それをカタチにする高度専門技術者(IMAGINEER)を育成することが本学部の教育目標です。高度専門技術者は、最先端の専門的知識や技術を習得することに加え、広い教養と自らを省みる批判的精神をもち、常に創造力を高めることが必要とされています。科学技術で世界をリードすることが期待される日本。その将来を担い、牽引者となる人材を育成します。

〔資格〕

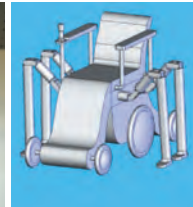
学科	資格		備考
機械工学科	エネルギー管理士(熱管理士、電気管理士) 第一種・第二種 ボイラー・タービン主任技術者 特級・一級・二級 ボイラー技士 第一種冷凍空調技士、第一種冷凍機械責任者 一級・二級・三級 自動車整備士 一級・二級 建設機械施工技士 自動車整備管理者 建築設備士 工業標準化品質管理推進責任者		受験資格の取得に実務経験要
電気・電子工学科	電気主任技術者		所定の授業科目を取得し、実務経験を積むことで資格を得ることが可能
	無線従事者		所定の授業科目を取得すれば、無線従事者国家試験の第一級・第二級陸上無線技術士の科目「無線工学の基礎」が免除
	電気通信主任技術者		所定の授業科目を取得すれば、電気通信主任技術者国家試験科目「電気通信システム」が免除
	第一級陸上特殊無線技士、第二級海上特殊無線技士、第三級海上特殊無線技士		所定の授業科目を取得すれば、資格を得ることが可能
情報・メディア工学科	基本情報技術者 応用情報技術者		受験により取得可能
建築建設工学科	一級建築士	建築学コース	2年の実務経験により受験資格
		建設工学コース	所定の単位を取得することにより、2年の実務経験を経て受験資格
	二級建築士、木造建築士	建築学コース	卒業と同時に受験資格
		建設工学コース	所定の単位を取得することにより、卒業と同時に受験資格
	測量士	建設工学コース	正味1年間の測量実務経験の後、申請により資格取得
	測量士補	建設工学コース	申請により資格取得
	技術士		第一次試験免除
材料開発工学科	危険物取扱者(甲種)		受験資格
生物応用化学科	危険物取扱者(甲種)		受験資格
物理工学科	第1種、第2種 放射線取扱主任者 高圧ガス製造保安責任者		受験により取得可能
知能システム工学科	基本情報技術者 応用情報技術者		受験により取得可能
学科共通	国家公務員Ⅰ種、Ⅱ種、地方公務員上級 消防設備者甲種		受験により取得可能
	一級技術士、一級技能士		受験資格の取得に実務経験要
	技術士補		試験の一部免除
	公害防止主任管理者、公害防止管理者 第一種・第二種 作業環境測定士 労働安全・労働衛生コンサルタント 第一種・第二種 衛生管理者 廃棄物処理施設技術管理者 建築施工管理技士、管工事施工管理技士 造園施工管理技士、電気施工管理技士、土木施工管理士 1級・2級 建築機械施工管理技士		受験資格の取得に実務経験要
	FE Fundamentals of Engineering		受験により取得可能
	PE Professional Engineer		受験資格の取得に実務経験要

機械工学科

環境と調和したモノづくりに 貢献できる人材を育てる

機械工学は、ハードとソフトの両面から、環境と調和した快適な社会生活を過ごすためのモノづくりを進める分野です。モノづくりに貢献し、国際社会で倫理観を持って活躍できる機械技術者を育成することを教育目標としています。

カリキュラムは「材料技術」「設計加工技術」「熱・流体システム技術」「計測制御技術」といった、機械工学に含まれる幅広い基礎学習から始まります。基礎学力を身につけた上で「創成科目」へと進み、モノづくりを通して未知の問題を解決する能力を育みます。仕上げである卒業研究では問題解決能力にさらに磨きをかけ、国際的に活躍できる機械技術者



〔上〕 創成科目「機械創造演習」の授業風景
〔左下〕 演習で超精密加工機を用いて製作した車いす
〔右下〕 CADによる車いすの製作図

として送り出します。

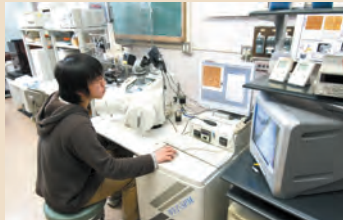
創設から80余年。機械工学科には、長い年月をかけて連綿と培ってきた実績があります。

専門分野での連携教育で幅広い知識を習得

3つの講座を設置。各講座が連携して専門分野を指導します。

■機能創成工学講座

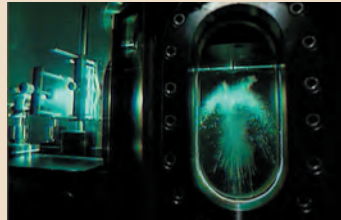
機械の設計や生産に必要な材料設計、加工技術の研究と、それらに関する研究を行っています。



原子間力顕微鏡を使ってナノスケール(10⁻⁹m)での表面解析を行っている様子

■熱流体システム講座

熱システム、流体システム、および環境エネルギーに関する研究を行っています。



新しい燃料に支えられた新方式の自動車エンジン燃焼研究(噴霧の微細構造の研究風景)

■システム制御工学講座

機械システムの動的挙動の解析・モデル化・同定・設計・計測・制御、メカトロニクスに関する研究を行っています。



カモ型ロボットによるアイガモ農法支援システム

機械工学科 カリキュラム

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー		
	基礎教育科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)	
	教養教育・副専攻科目	均等履修、集中履修、自由履修		
専門教育科目	専門基礎科目	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ 運動力学 物理学Ⅱ 物理学実験 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	微分方程式 確率統計基礎 応用数学Ⅱ 応用数学Ⅲ 物理学Ⅲ 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・実習Ⅰ	応用数学Ⅳ 統計学 学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ
	専門科目	図学及び製図基礎 機械工作実習 機械リサーチⅠ 機械技術と社会 機械材料基礎 材料力学 材料力学演習 機械加工学 機械運動学	機械製図及びCAD基礎 機械設計製図 プログラミング及び演習 機械リサーチⅡ 機械英語 機械材料 構造設計工学 固体力学 機械要素設計Ⅰ 成形加工学 基礎熱力学 応用熱力学 流れ学 流体システム 熱流体力学演習Ⅰ 熱流体力学演習Ⅱ 基礎振動工学 システム制御演習 基礎計測制御 電気工学概論	機械工学実験 数値解析 機械創造演習Ⅰ 機械創造演習Ⅱ 機械技術者の倫理 環境材料学 機械要素設計Ⅱ トライボロジー 加工解析 伝熱学 エネルギー変換工学 エネルギー機械 内燃機関工学 流体力学 機械力学 制御システム 計算機制御 メカトロニクス 生産システム工学
	卒業論文			卒業論文

電気・電子工学科

地球的視点で物事を捉える “実行力のある技術者”を育成

産業構造が高度化し複雑化する中で、電気・電子工学の重要性はますます高まり、大学での研究と教育の充実が強く求められています。

近年の電気・電子工学の発展はめざましいものです。情報ネットワークを、ハードウェア・ソフトウェア両面から引っばる中核技術として成長し、また一方で、計測・制御・管理システムの軸となる技術としても進展しています。いまや産業構造の神経系統といえる位置づけです。

近未来の知的基盤社会は、「先端的な電子・光デバイスとソフトウェアの開発」「新しい設計思想に基づく高度なシス



AVR (自動電圧調整装置) を用いたプログラムの検証 (システム工学講座)

テム化」「高効率・安定・クリーンなエネルギー供給」があって初めて実現されるもの。これらの要素をふまえ、“地球的視点”に立った研究を行っています。

電気・電子工学科は「次世代を担う新しい産業創生への挑戦者の養成」を目指し、各分野における専門知識・応用能力を習得し、広範囲なニーズに柔軟に対応できる“実行力のある技術者”を育成します。



社会のニーズに対応した充実の3講座9分野

3つの講座を設置。次世代技術者の育成に取り組めます。

■ 電子物性講座

電子材料分野

半導体光物性及びテラヘルツ領域物性

電子デバイス分野

電子輸送・界面物性と電子デバイス応用

量子エレクトロニクス分野

レーザ装置の開発とレーザ分光研究

光エレクトロニクス分野

光デバイス研究とレーザ応用・環境センシング

[上] デバイス特性評価装置 窒化物半導体を用いた新構造トランジスタの基本特性を測定 (電子物性講座)
[下] 電力システムシミュレータ 電力システムの安定性や自然エネルギー利用の分散型電源の系統連係に伴う、さまざまな課題を解析 (エネルギー工学講座)

■ エネルギー工学講座

電気エネルギー分野

エネルギー変換に関する新材料・デバイスの研究

電力システム分野

電力系統運用の高効率化と高機能化

■ システム工学講座

システム工学基礎分野

回路・システム理論とシステム技法・ソフトウェア技術

計測制御分野

情報の画像化と画像処理の研究

情報通信システム分野

通信方式と符号化問題の研究

電気・電子工学科 カリキュラム

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー		
	基礎教育科目	第1外国語科目 (英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目 (英語)	
	教養教育・副専攻科目	均等履修、集中履修、自由履修		
専門教育科目	専門基礎科目	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 確率・統計Ⅰ 確率・統計Ⅱ 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 計算機基礎 ベクトル解析 力学 力学演習 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 物理学Ⅲ 電磁気学Ⅰ 電磁気学Ⅱ 電磁気学演習Ⅰ 電磁気学演習Ⅱ 電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ 電気回路演習Ⅰ 電気回路演習Ⅱ 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・実習Ⅰ	応用数学Ⅳ 学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ
	専門科目	電気・電子数学演習Ⅰ 電気・電子数学演習Ⅱ 線形回路入門演習 半導体デバイス概論 システム情報数学	アナログ電子回路 デジタル電子回路 数値解析 量子力学 固体電子論 計測工学 エネルギー工学 信号処理工学 技術英語 技術史 電気・電子工学実験Ⅰ	光エレクトロニクス 量子統計力学 量子エレクトロニクス 電磁波工学 半導体工学 電子デバイス 回路理論Ⅲ 制御理論基礎 パワーエレクトロニクス 電気エネルギー発生 エネルギー変換工学 制御理論 電気機器学 電気エネルギー伝送 プラズマ工学 情報理論 ソフトウェア工学 情報ネットワーク基礎 システム工学 情報通信工学 電気・電子工学実験Ⅱ 電気・電子工学実験Ⅲ
	卒業論文			卒業論文

情報・メディア工学科

これからの高度情報化社会に 貢献する技術者を育成

インターネットや携帯電話の急速な普及は、社会に大きな変化をもたらしています。20年ほど前に計算機室を占有していた大型コンピュータも、半導体の技術進歩により手のひらに載るほど小型化し、高性能化しました。さらには分散処理技術で高速大容量化が進展。人びとの活動の維持と改善のためには、優れた情報技術の確立が必要不可欠となっています。

「情報工学」と「メディア工学」の二つの分野で成り立っている情報・メディア工学科。「情報工学」は、大量の情報を効率よく正確かつ安全に伝達、蓄積、処理する技術。「メディア工学」は、人間の五感に訴える形で情報を表現、交換、処理



計算機室での実験の様子

する技術。いずれも変わりつつある現代社会を、豊かな高度情報化社会へと結びつける基礎となる専門分野です。

これからの「情報工学」と「メディア工学」を健全に発展させることが、安心して安全な“高度情報化社会”を作ることにつながります。情報・メディア工学科は、情報・メディア工学をハードウェア・ソフトウェア両面から捉え、新時代に適した教育と研究により、高度な技術者を育成します。



[上] 情報工学実験の様子
[下] 計算機実習風景

系統的、段階的に学ぶ情報通信システム

2つの講座を設置。ハードとソフト、双方の分野の理解を深めます。

■ 計算機・通信講座

計算機ハードウェア(コンピュータ通信を含む)に関する計算機構成・情報通信がテーマです。「トランジスタ」「超微細・超高速電子デバイス」「高性能コンピュータの先進的アーキテクチャ」「コンピュータ通信とコンピュータネットワーク」「システムLSIと設計法」に関する研究・教育を行います。

■ メディア・情報処理講座

計算機システムを効果的・効率的に活用するソフトウェアとマルチメディア情報処理がテーマです。「コンピュータ本体やデータベース」「通信システム・数値計算・グラフィック処理などのアルゴリズム」「ソフトウェアアーキテクチャ」「ソフトウェア開発技術」「マルチメディア情報処理(画像・音声などの認識、合成、情報交換など)」に関する研究・教育を行います。

情報・メディア工学科 カリキュラム

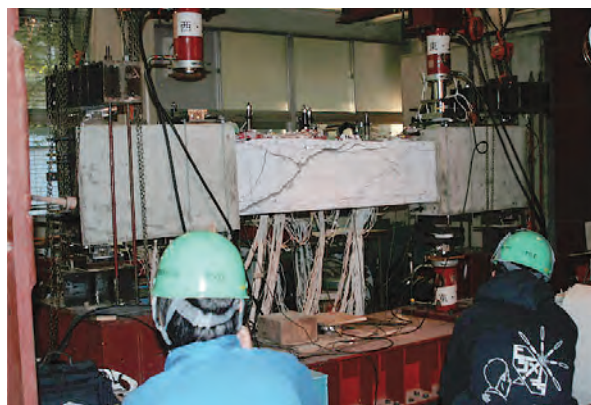
区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー		
	基礎教育科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)	
	教養教育・副専攻科目	均等履修、集中履修、自由履修		
専門教育科目	専門基礎科目	履修セミナー 線形代数Ⅰ 微分積分Ⅰ 力学と微分方程式 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅱ 確率統計 数学演習 ものづくり基礎工学 日本の工学と技術 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ	履修セミナー 応用数学 物理学Ⅱ 応用電磁気学 学際実験・実習Ⅰ 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ	履修セミナー 学際実験・実習Ⅱ インターンシップ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロンランナー
	専門科目	情報工学概論 離散数学Ⅰ メディア情報学実践 離散数学Ⅱ プログラミングⅠ	プログラミングⅡ 形式言語とオートマトン 論理回路 情報理論 フーリエ解析 電気回路 情報工学実験Ⅰ データ構造とアルゴリズム コンピュータアーキテクチャ オペレーティングシステムⅠ プログラミングⅢ 多変量解析 電子デバイス基礎	情報工学実験Ⅱ コンピュータネットワーク ソフトウェア工学 オペレーティングシステムⅡ データベース コンパイラ 信号処理 電子回路 制御工学 情報工学実験Ⅲ 情報技術英語 計算論とアルゴリズム設計 プログラミングⅣ コンピュータグラフィックス 情報伝送システム 画像処理 数値解析 集積回路工学 情報工学実験Ⅳ
	卒業論文			卒業論文

建築建設工学科

実践的な研究をベースに 総合技術を身につけた 人材を育てる

建築学と土木工学の特徴を活かしながら両者を有機的に結びつけ、人文・社会的な知恵も含めて、環境を総合的に捉えることが建築建設工学科のテーマです。

これまで、建築学は住宅・店舗・オフィスビル・学校・劇場などの建築物を対象にし、土木工学は道路・鉄道・橋梁・堤防・港湾・ダムなど公共構造物を主な対象としていたため、両者はそれぞれ独自の発展を遂げてきました。しかし近年、生活や社会が多様化・高度化・国際化していく中で、地球規模での環境問題が表面化するようになり、環境に対する人々の意



鉄筋コンクリート梁の載荷実験

識や要求も高まっています。

建築建設工学科では、人間の生活環境を再構成するための総合技術として「建築建設工学」を見つめ、これまでの工学技術の枠を超えた「社会の多方面で貢献できる、総合的で実践的な研究者・技術者の育成」を目指しています。豊かな生活と環境共生社会の構築は、文化的、社会的、国際的な観点から広く環境を捉える「建築建設工学」があつてこそ実現します。

多彩な科目で身につける高度な建築学と建設工学

2つのコースは、教育プログラムの審査を行うJABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けています。

学生の個性に対応しながら少人数教育を実現するため、緩やかなコース制を採用しています。最初の1年半で総合的な問題意識と基礎学力を習得。その後の2年半は「建築学コース」「建設工学コース」に分かれ、それぞれの目標に応じて、より専門的な授業を行います。建築学と土木工学の両専門分野の蓄積を基礎に置き、二つを融合・総合化させることで、「社会環境・自然環境の中での生活空間の本質」を新しい視野で理解します。

■建築学コース

生活空間構築に関わる建築学と、関連分野（構造、材料・施工、環境・設備、計画・設計、歴史・意匠）の専門知識を備えた上で、計画・設計・施工・維持・管理などに応用できる能力を身につけます。



福井城跡天守台階段照明

■建設工学コース

生活空間構築に関わる土木工学と関連分野（構造工学、水理学、地盤工学、土木計画学、材料学、環境工学）の専門知識を備えた上で、計画・設計・施工・維持管理などに応用できる能力を身につけます。



卒業設計展

建築建設工学科 カリキュラム

区分		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー			
	基礎教育科目	第1外国語科目（英語） 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目（英語）		
	教養教育・副専攻科目	均等履修、集中履修、自由履修			
専門教育科目	専門基礎科目	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 物理学Ⅰ 物理学Ⅲ 物理学実験 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 確率・統計 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・実習Ⅰ	学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
	専門基礎 共通科目	構造系	材料学 建築建設技術者倫理 構造力学第二及び演習		
	専門科目	構造系	構造力学第三及び演習 地盤工学第一 水理学第一	骨組力学 建築耐震工学 建築基礎工学 建築施工 鉄筋コンクリート構造及び演習 鋼構造及び演習 構造材料実験 構造設計演習 地盤工学 地盤工学第二及び演習 建設施工法 水理学実験 水理学第二	マトリックス構造解析 連続体力学 水文学
			近代建築史 建築設計演習第一 造形演習第一 建築計画各論第一 建築環境工学第一 地域計画 都市計画設計演習	建築設計演習第二 建築設計演習第三 造形演習第二 建築計画各論第二 建築計画各論第三 建築意匠論 建築環境工学第二 建築法規 建築設備 計画数理 都市計画設計 建設工学設計演習 都市デザイン 交通計画	庭園学 国際開発及び援助論 測量学第二及び演習
	卒業論文又は卒業計画				
					卒業論文又は卒業計画

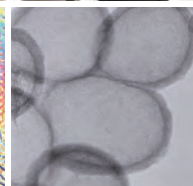
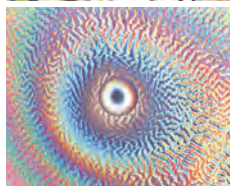
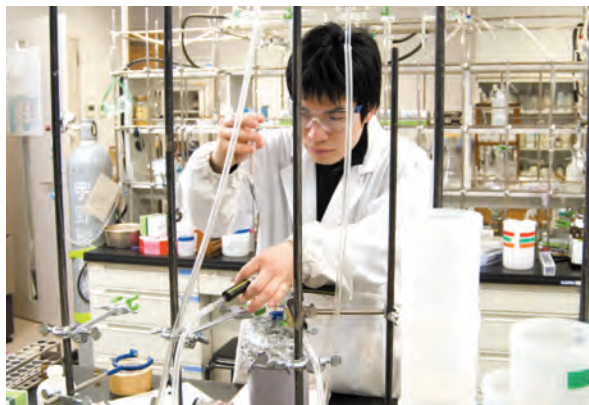
緑字…建築学コース 青字…建設工学コース

材料開発工学科

枠にとらわれない知的好奇心で、 夢あふれる新素材を開発する

「材料」が関わる革新的技術は、ナノテクノロジー、バイオ、情報通信技術、エレクトロニクス、エネルギー工学、土木・建築技術、機械工学、ロボット工学などあらゆる工学分野にわたります。「材料」はこれらの新技術と、人や地球環境との調和を実現するキーテクノロジーでもあります。

材料開発技術は、化学を中心に物理・数学・生物など幅広い基礎学問を土台としています。一方で、学問の枠組みにとらわれない柔軟な発想、エネルギー的な知的好奇心も必要とされ、夢のある新素材を作り出す分野でもあります。材料



[左] 高分子超薄膜結晶
[右] ナノ中空体粒子

開発技術を通じて豊かな社会に貢献する技術者・研究者を育成します。

少人数による密度の高い教育システムを実施

産業と社会を支える材料開発技術者を育成するために、3つの講座が連携して、材料開発に求められる分子設計、合成、物性、加工、プロセス開発などの基礎的能力を育成します。

■エネルギー・物質変換化学講座

新しい機能を持つ無機、有機、高分子材料の開発、環境科学に関連した物質の分析や分離についての研究を行います。



本学科で開発したリチウムイオン電池を用いた電車運転実験

■インテリジェント材料講座

刺激応答性を有した能動的機能材料の探索および材料の構造と物性の制御、機能評価に関する研究を行います。



学生実験の授業で、学生自身が考案した「どこまでも伸びるスライム」

■生産加工プロセス講座

材料の生産と加工に必要な装置や機器の基本原則の解明と設計、新たな生産加工プロセスの開発に関する研究を行います。

「学生一人ひとりが理解する喜びを実感できる教育」がモットー。数学と物理を重視しながら、化学と工学の基礎的能力が総合的に身につくように構成しています。重要科目では、小クラス編成で演習をふんだんに取り入れています。また、学生が主体的に創造力と実現力を育む教育に力を入れています。

材料開発工学科 カリキュラム

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー		
	基礎教育科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)	
	教養教育・副専攻科目	均等履修、集中履修、自由履修		
専門教育科目	専門基礎科目	初等化学 初等物理 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 力学 物理学Ⅱ 熱力学Ⅰ 熱力学Ⅱ 分析化学 有機化学Ⅰ 無機化学Ⅰ 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 応用数学Ⅲ 確率・統計 材料力学 波動・光学 有機化学Ⅱ 無機化学Ⅱ 基礎科学実験 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・実習Ⅰ	学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ
	専門科目	情報処理演習	環境と材料開発の科学 社会と技術者 環境化学 材料化学実験 材料物理実験 無機材料化学 応用電気化学 電子セラミックス 有機合成化学 高分子合成 機能性高分子 高分子物性 レオロジー 固体物理学 固体力学 複合材料 シミュレーション工学 材料加工工学 化学工学 テキスタイル工学 繊維科学概論 材料開発工学特別講義及び演習	ベンチャービジネス概論 技術英語演習 科学技術英語特別講義
		溶液科学Ⅰ 溶液科学Ⅱ 化学結合論 反応速度論 高分子化学 高分子物理 流体力学 移動現象論 機器分析化学 有機反応 高分子固体構造		
	卒業論文			卒業論文

生物応用化学科

持続可能な暮らしを見据え、 応用化学を発展させる人材を育成

これまでの化学は、自然現象を分子レベルで解明し、それをもとに多くの新しい化合物を作り出し発展してきました。しかし、環境汚染や資源荒廃などが社会問題となる中で、環境に優しい化学品や製造方法が求められ、「応用化学」が必要とされるようになりました。

一方で、DNAの二重らせん構造と自己複製機構が提唱されて以来、生命現象を分子の機能として理解する生命科学、さらにバイオテクノロジーも急速に進展してきました。生命科学は遺伝子工学、蛋白工学、細胞工学などの新しい技術(物質生産、医薬、診断といった分野に応用)を生み出し、また、

環境保護、エネルギー生産、資源の有効利用などへの応用研究も進められています。

生物応用化学科は、「応用化学」分野、ついで「生物化学」分野を充実させてきた長い歴史を持ちます。生物化学と応用化学の融合を図ることによって、新時代に向けた科学教育と研究体制を整えています。21世紀を生きる私たちが目指すのは、自然と共生し、持続的に成長できる社会を実現すること。社会発展のために創造的な研究に取り組むことが本学科の大きな特長です。



〔上〕NMR(核磁気共鳴分光装置) 超伝導磁石に入れた試料に電波を当てて原子核を検出。分子構造が測定可能な装置 〔下〕微生物・動物細胞の培養は、雑菌の混入を避けるため、クリーンベンチにて無菌操作します



個性的な2つの講座で学際的領域を開拓

化学とバイオテクノロジーを融合させ、豊かな社会の実現を目指しています。

■応用化学講座

生物有機化学：生理活性物質の合成、生体関連分子の捕捉、環境低負荷有機合成

高分子化学：高分子反応および精密重合による高機能性ポリマーの合成と応用

生物物理化学：分光法による分子構造と相互作用の解析を通じた自然現象の解明

応用物理化学：繊維・高分子に関わる加工技術の開発とその物理化学現象の解明

〔上〕LBトラフ 細胞膜と類似の構造を持つ超薄膜の作製と高機能化を行っています

〔下〕四分子解析装置 顕微鏡を用いて酵母の母細胞と娘細胞を分離。遺伝情報がどのように伝わるかを解析しています

■生物化学工学講座

生物化学：遺伝子工学的手法を用い、分子レベルでの機能解析から応用までを行う

分子生物物理：生物物理学や細胞工学によるタンパク質機能解明や再生医療の研究

生物プロセス工学：さまざまな生体関連物質の工業的利用を目指した生物化学工学的な研究

生命機能工学：遺伝子レベルでのタンパク質の設計と生体分子反応システムの構築

環境分析化学：物質を分離および定量する方法の理論と応用に関する研究

生物応用化学科 カリキュラム

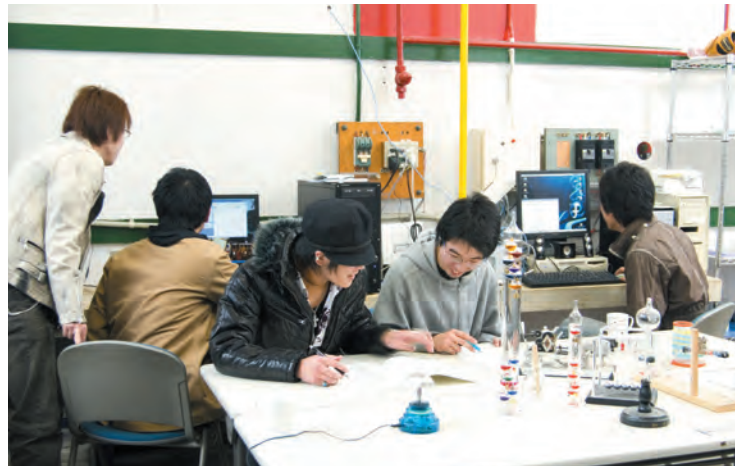
区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー		
	基礎教育科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)	
	教養教育・副専攻科目	均等履修、集中履修、自由履修		
専門教育科目	専門基礎科目	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学実験 化学Ⅰ 化学Ⅱ 生化学入門 基礎化学実験 生物科学 科学演習 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	物理学Ⅲ 応用数学Ⅰ 化学熱力学 物理化学Ⅰ 応用数学Ⅱ 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・実習Ⅰ	学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ
	専門科目		物理化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 生物化学Ⅳ 高分子化学Ⅱ 化学工学Ⅰ 化学工学Ⅱ 応用微生物学 生物情報科学 基礎量子化学 ナノ材料化学 機能分子化学 生物有機化学 高分子合成 酵素工学 微生物工学 細胞工学 蛋白質機能論 遺伝子工学 社会と技術者 創成型化学演習 繊維加工学概論 テキスタイル工学 生物応用化学実験Ⅲ 生物応用化学実験Ⅳ 生物応用化学実験Ⅴ 生物応用化学実験Ⅵ 科学基礎英語演習	ベンチャービジネス概論 情報処理演習 科学技術英語演習 科学技術英語特別講義
	卒業論文			卒業論文

物理工学科

物理学を工学へ応用し、 先端技術の架け橋となる

物理工学科では、物理学、数学、化学といった自然科学の基礎を学び、これらを用いて物質のミクロな構造や極限状態に迫ることが目標です。物理学の基礎科目をじっくり学ぶ点では理学部の物理学科と同じですが、工学への応用を重視した内容という点で理学部とは大きく違い、講義・実験とも基礎的なものが多くあります。

研究グループは大きく3つの講座に分かれ、物理学を中心に工学の基礎から応用までを幅広く扱っています。グループは数学、理論物理、物性実験、分子科学などの広範囲な自然科学分野の20余名のスタッフで組織されています。卒業論文では、物理学の理論・実験以外に、計算機シミュレーション



学生の自主的な活動の場として、「物理博物館」が創られました。学年の枠を超えた交流ができます

ンや環境、原子力、遠赤外光に関する問題に取り組むこともできます。

現代社会を支え、私たちにさまざまな恩恵をもたらしてくれる最先端テクノロジーの多くは、20世紀前半に始まった物理学の革命に源を発しています。テクノロジーを理解するには、物理の基礎をしっかりと学ぶことが必要です。科学的に見て面白いことこそが、革新的な技術につながるのです。

独自の研究グループで技術革新に応える技術者を育成

3つの講座を設置。幅広い研究分野の教員で構成した研究グループで学びます。

■物性・電磁物理講座

物質の光学的・電磁的性質や、放射線、粒子線、量子エレクトロニクスに関する実験分野の教育と研究を行っています。また、本講座は遠赤外領域開発研究センターとも密接に連携しています。

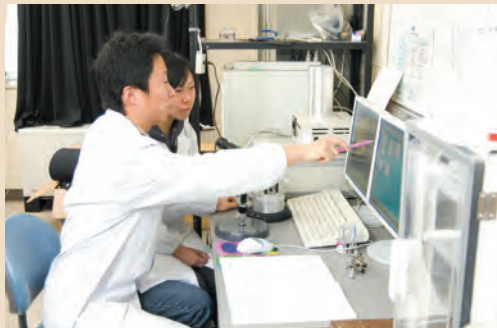
■数理・量子科学講座

素粒子、原子核、宇宙線、相対論、超伝導、磁性、量子情報などの理論物理学や、その基礎となる数学に関する教育と研究を行っています。

■分子科学講座

計算機シミュレーションや実験的手法を用いて、高分子、ガラス、生体分子など複雑な構造をもつ物質の研究を行っています。

量子力学的な効果によるトンネル電流を利用した、走査型トンネル顕微鏡 (STM) を使って、並んだ原子を映像化しています



物理工学科 カリキュラム

区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー 基礎教育科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目 (英語)		
教養教育・副専攻科目	均等履修、集中履修、自由履修			
専門教育科目	専門基礎科目 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 基礎実験 線形代数演習Ⅰ 線形代数演習Ⅱ 微分積分演習Ⅰ 微分積分演習Ⅱ ベクトル解析 物理学基礎力学Ⅰ 力学演習 電子計算機 電子計算機演習 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術ものづくり基礎工学	応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 熱力学 分子科学 電磁気学Ⅰ 電磁気学演習 創造システムデザイン 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・実習Ⅰ	学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
専門科目	力学Ⅱ 力学講究 物理学計測	数理解析 電磁気学Ⅱ 電磁気学講究 物理化学Ⅰ 統計力学Ⅰ 統計力学演習 電気電子回路Ⅰ 量子力学Ⅰ 量子力学Ⅱ 量子力学演習Ⅰ 量子力学演習Ⅱ 解析力学 物理学実験Ⅰ	物理化学Ⅱ 群論入門 物理数学 物理数学講究 物性物理学Ⅰ 量子力学Ⅲ 流体力学 統計力学Ⅱ 物理光学 物性物理学Ⅱ 電気電子回路Ⅱ 分子シミュレーション 外書購読 工業と技術者 現代物理学概論 応用電磁波物理学 物理工学実験Ⅱ 物理工学実験Ⅲ	
卒業論文				卒業論文

知能システム工学科

柔軟で総合的な思考を持った 知識基盤社会を支える人材を育成

21世紀は共生の時代。「いかにヒトと共生できるか」を追求した新しいモノづくりが求められています。その要求に応えるためには、マルチメディアやメカトロニクス、さらにはヒトそのものや自然についても知らなくてはなりません。知能システムの探求・開発は、文学・芸術作品をつくるような、知的で創造的な作業です。

福井大学の知能システム工学科は、日本で最初の知能システムを専門とする学科です。知能システムで世界をリードする人材を育てることを目指し、新しい科学技術の基礎と応



最新のヒューマノイドロボットに触れることができるロボット工房は24時間オープン

用を教育する先進的で革新的な学科です。

カリキュラムは計算機ソフトウェア、知識情報、メカトロニクス、ロボット、計測、制御システム、人間情報、生体システム、ヒューマンインターフェース、医療福祉システム、複雑系科学などの分野によって組まれています。21世紀の中心となる科学技術を担う、柔軟で総合的な思考のできる人材を育みます。

基礎から応用領域まで4年間を通じた一貫教育

3つの講座を設置。人や生物から学んだ知能システムを作るため、必要な技術を、基礎から応用まで一貫して指導します。

■ 知能基礎講座

生体の知能と行動生成メカニズムから、非線形科学・制御システム・生体システムを学びます。

■ 知能処理講座

知識情報処理・知能センシング・マルチメディア処理を追究します。

■ 支援システム講座

自然言語理解・ロボット工学・ヒューマンインターフェースを通して、人間を支援するシステムを開発します。

● 柔軟な思考を育む基礎教育

基礎教育は、コンピュータサイエンス・メカトロニクス・自然科学と、バランスのとれたカリキュラムで構成。

● モノづくりのできる人材を育成

豊富なコンピュータ演習とメカトロニクス実験が多様な講義と並行。知能システムは社会に役立つ実学です。

● 問題発見能力を養成

4年次の卒業研究では、独自のテーマで研究に励み、実践的な研究開発能力を養います。

● 20人の研究者が学生の個性を伸ばす

講座は情報工学・機械工学・電子工学・自然科学の最先端の研究者たち20人が協力して構成しています。



サッカーロボットの実験や調整が行われる進化ロボット研究室



充実した環境でコンピュータの仕組みから情報処理、知能の生成について学びます

知能システム工学科 カリキュラム

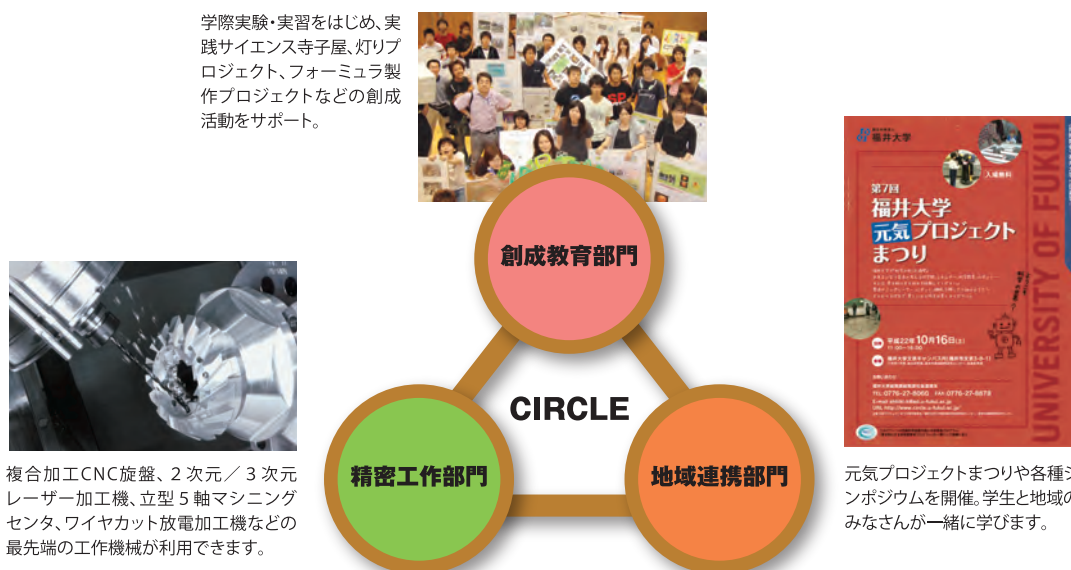
区分	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー		
	基礎教育科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)	
	教養教育・副専攻科目	均等履修、集中履修、自由履修		
専門教育科目	専門基礎科目	知能システム工学基礎科目 線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 力学演習Ⅰ 力学演習Ⅱ 電磁気学演習Ⅰ 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学Ⅰ 応用基礎数学 確率・統計 電磁気学演習Ⅱ 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・実習Ⅰ	学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロンランナー インターンシップ
	知能システム工学共通科目	知能システム工学入門セミナー 生命科学入門 計測工学 回路理論 エレクトロニクス 知能科学 離散数学基礎 計算機演習 計算機システム 計算機言語 計算機言語演習 オートマトン入門	自然科学概論 神経科学 医用福祉工学 基礎メカトロニクス 制御工学基礎 制御システム応用 メカトロニクス論 製図・CAD演習 ディジタル回路 信号解析 グラフィックス演習 データ構造とアルゴリズム演習Ⅰ データ構造とアルゴリズム演習Ⅱ 人工知能基礎論 知能システム工学実験Ⅰ 知能システム工学実験Ⅱ	科学英語基礎 数値解析演習 画像処理演習 知能システム工学実験Ⅲ 知能システム工学実験Ⅳ
	人間・複雑系			ベンチャービジネス概論
	ロボティクス系			
	インフォマティクス系			
	卒業論文			卒業論文

先端科学技術育成センター

地域社会を巻き込んで、創造力の育成をサポート

新しい工学教育プログラムの実施、最先端工学技術の利用と継承、学内外の人々との連携を行う施設です。先端科学技術育成センター（Center for Innovative Research and Creative Leading Education）の頭文字を取った「創成CIRCLE」の名前で親しまれています。この施設を利用して、「創造力」をキーワードに集まった学生たちが活動します。やる気のある学生を結びつけるサークルとなり、その輪を地域社会へとひろげることが創成CIRCLEの目標です。

■ 創成CIRCLEは創成教育部門、精密工作部門、地域連携部門の3部門からなります。



創成教育部門 (Creative Education)

創造力を育む新しいタイプの工学教育を開発・実践・普及させる核となる部門です。工学部共通科目「学際実験・実習Ⅰ」、「学際実験・実習Ⅱ」の運営の他、学生や教職員の提案に基づいた各種の「創成教育活動」を支援します。

精密工作部門 (Machining Technology)

ものづくりを通じた創造力育成をハード面からサポートする部門です。マシン創造ラボにある各種工作機械の活用を通じてものづくり技術を支援します。また、地域からの技術相談にもお答えしています。

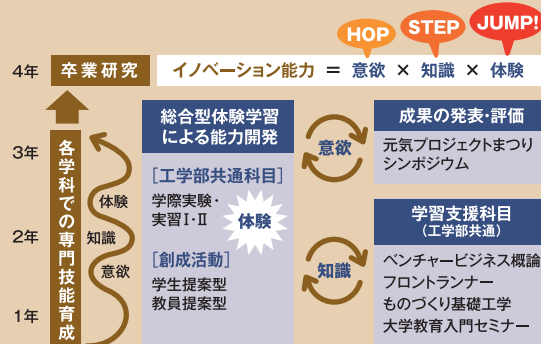
地域連携部門 (Regional Partnership)

学内外のやる気ある人たちを結びつけるCIRCLE形成を担当する部門です。市民公開型のイベント「元氣プロジェクトまつり」や各種シンポジウム・講習会を開催するとともに、広報誌（CIRCLE News）やホームページ等を通じて、地域との科学技術コミュニケーションを促進します。

教育GP2008-2010に採択「夢を形にする技術者育成プログラム」

創成CIRCLEが進める「夢を形にする技術者育成プログラム」は、平成20年度～22年度教育GPに採択されました。教育GPは、「質の高い大学教育推進プログラム」の略称で、文部科学省が日本全国の大学から公募して特に優れたものを選定し、重点的な財政支援を行うという事業です。工学部全体で取り組む創成CIRCLEの活動は高く評価されています。

「夢を形にする技術者育成プログラム」では、学生主体の統合型体験学習を通じた創造力と実現力の育成に取り組めます。統合型体験学習としては、工学部共通科目「学際実験・実習」（選択1単位）と課外教育活動である「創成活動」、活動を知識面でサポートする学習支援科目、活動の意欲を高める発表会として「元氣プロジェクトまつり」などを用意。意欲と知識と体験のホップ、ステップ、ジャンプでフットワークの良い技術者を育成していくプログラムです。



大学院 工学研究科

科学技術の創造を通して、 人類の幸福に寄与する世界水準の研究を行う

博士前期課程では工学部の8学科に対応した8つの専攻と、独立した2つの専攻の計10専攻を設置しています。博士後期課程は2つの独立した専攻を含む4専攻。工学部の専門教育を支えるのは約180人の教員。その全てが大学院工学研究科に所属し、世界水準の研究を行っています。

博士前期

■ 機械工学専攻

材料設計加工技術、熱・流体システム技術、計測制御技術の教育・研究

■ 電気・電子工学専攻

先端材料とデバイス、電気エネルギー、情報通信システム分野の研究

■ 情報・メディア工学専攻

コンピュータシステム、情報処理システム、ネットワークなど総合的に研究

■ 建築建設工学専攻

生活空間の企画、設計、デザインの理論と実践

■ 材料開発工学専攻

無機、有機、高分子などの新材料創成技術に関する教育と研究

■ 生物応用化学専攻

バイオテクノロジーによる地球環境にやさしい化学工業の研究開発

■ 物理工学専攻

物理学の基礎から応用にいたる学際的な教育と研究

■ 知能システム工学専攻

環境や人間にやさしいロボットなど、知能的人工システムの開発

博士後期

■ 物質工学専攻

物質の科学とその工学的利用に関する総合的な教育と研究

■ システム設計工学専攻

合理的なシステムの設計、構築、運用に関する教育と研究

博士前・後期 独立専攻

■ ファイバー・アメニティ工学専攻

「ファイバー」を基盤材料として、高度情報技術による快適な人間社会をデザインし、維持と発展に取り組めます。ファイバーを取り巻く学際的総合的研究開発能力を育み、確かな技術と倫理観をもった研究者を育てます。新規繊維素材の開発と高機能化、光情報工学、さらには「アメニティ（人間の総合感覚としての快適の状態）」創出に目を向けた総合的な研究と教育を開発、展開します。

■ 原子力・エネルギー安全工学専攻

緊急な解決を必要とする問題として、地球を取り巻く環境とエネルギーの問題があります。これらの問題を解決する有望なエネルギー源として、原子力エネルギーの見直しが進められています。「安全と共生」をキーワードに、原子力に関連するさまざまな分野（高速炉開発工学、プラント安全工学、量子ビーム応用光学、地域共生工学、加速器応用工学）の教育と研究を多くの研究機関、企業、公共団体などと協働しながら進めています。



ファイバー・アメニティ工学専攻では国際シンポジウムを毎年開催しています



学生に原子力への理解を深めてもらうために『敦賀「原子力」夏の大学』を毎年開催



ヒューマノイドロボットの開発は人間を知ることから始まる

前田陽一郎 教授／知能システム工学専攻

優れた適応能力をもつ知能ロボットの研究開発を行っています。ソフトコンピューティングという手法で、知能化したシステムをロボットに取り込み、人間に近い情報処理ができるロボットを開発しています。生物のような動きや人間が親しみを覚える動作を作るために、さまざまな要素を取り入れます。例えば、人間の脳内にある“ゆらぎ”を川の流れや空気の対流を数式化したカオス理論で実現したり、人間が優れていると言われている“あいまいさ”の処理能力をファジィ理論でロボットに取り入れるなどの試みです。また、ロボット開発の成果を実感する場として、世界最大のサッカーロボット競技会であるロボカップにも参戦しています。最先端のロボットチームがサッカーで競い合う大会に、学生のモチベーションも上がり、とても大きな刺激になっています。

人間と一緒に対戦したり、人間の気持ちや心を理解するロボット。情動を感じ取り、推測し、人間を癒してくれるロボットなど、ロボットの可能性は際限なく広がります。ロボットを扱うにはソフトウェアやハードウェアの分野をはじめとする幅広い知識が必要になりますが、工学の知識だけではとても間に合いません。人間に近いロボットを作るのですから、なにより人間を知ることが重要です。これからのロボット開発には、機械・電子・情報などの工学系の知識だけではだめで、心理学、動物行動学、倫理学などの人文系の知識も必要とされます。工学だけではなく人間を学ぶということ、そして幅広い知識を身につけることは社会に出てからも必ず大きな武器になるでしょう。

興味のあることに本気で取り組み活躍できる場所を見つけてほしい

玉川洋一 教授／原子力・エネルギー安全工学専攻

ニュートリノの質量を調べる実験をはじめ、放射能漏れを発見するコンプトンガンマスコープの開発、高速増殖原型炉もんじゅの炉雑音解析について研究しています。学部で担当しているのは、力学や放射線計測学、放射線安全工学などの講義。学生が具体的にイメージできるよう心がけています。

学生との年齢が離れると、わからないことも多くなりますが、いろいろな学生を見てきて、本気で付き合わないとその人の本質は見えてこないと感じています。もう卒業した学生ですが、1年次から単位を落とし続けてなんとか4年次に進み、卒業研究で私の研究室に入ってきました。心配しましたが、当時、私が温めていた研究に取り組んでもらったところ、毎日夜遅くまで研究を続け、大学院修了時には学会から表彰されるほどの成果を上げたのです。自由に考える実験の場を得て、伸びることができた学生だったのでしょう。自分で考えて伸びる学生がいる一方で、自由に考えることが苦手な学生もいます。活躍の場は人それぞれ違う。それぞれの学生にふさわしい場所を見つけてあげるのも教員の仕事だと思います。

大学に入ったら、ソツなく何でもこなす良い学生でいる必要はないので、やりたいことを見つけて本気で取り組んでほしい。そして、広い視野で考え、国際的に活躍できる人を目指してください。



在学生メッセージ



尊敬できる先生
魅力的な先生に
囲まれて
研究に打ち込みたい

坂野真智子さん

生物応用化学科

高校の時から化学の実験が好きで、実験や研究ができて高分子化学の勉強ができる生物応用化学科を選び、入学しました。福井大学には魅力的な先生が多く、授業がとても楽しいです。今でも研究を頑張りたいという気持ちが強く、これまで勉強を頑張ってきました。4年次から憧れの研究室に所属することが決まり、尊敬する高分子化学の先生のもとで学べるので本当に嬉しいです。早く研究テーマを見つけて、研究に打ち込みたいと思っています。

大学入学と同時に一人暮らしを始めましたが、福井は、自然が多く街の規模が出身の山形県と似ていて、すぐになじむことができました。豊かさ指数の高い福井での生活は過ごしやすく、勉強に打ち込める環境が整っています。

また、私は、学生広報スタッフとしても活動しています。企画や編集に興味があったので友達と一緒に参加しました。学生や先生方の研究を取材する際には、私の専門分野の勉強が大いに役に立っています。取材前には綿密にスケジュールを立て、限られた時間で作らなければならなかったのが、社会人になった時にこの経験を活かせたらと思います。



学びたいと思う
学生にとって
可能性が
たくさんある大学

加藤優一さん

大学院工学研究科情報・メディア工学専攻

大学では、できるだけ多くの講義を取るようにしました。学べるものは全て学びたいと思ったからです。コンピュータをハード面とソフト面の両方から考えるきっかけとなったり、全く違う講義の内容がある部分でつながっているのを発見したりと受講したことで気づいたことがたくさんあります。なにより、大学で研究したいと思っていたコンピュータの世界の全体像がわかったように思います。

卒業論文では計算複雑性理論の研究に取り組みました。もともと興味があったのは全く別の研究。大学院に進むと決めていたので学部でならいいかなと思い、この研究に挑戦しました。計画を持って勉強することは大切ですが、固執してしまえば得られるものも得られなくなります。自分の置かれた環境を柔軟に取り入れると、自分の知らない世界に出会えます。結果のわからないことをやるのが大学。出会ったことがチャンスだと思って取り組むことが大切です。

大学院では、やりたいことがたくさんあります。興味の幅をさらに広げ、さまざまな知識を身につけて、将来は物事を広い視野で考えることができる技術者になりたいと思っています。

卒業生メッセージ

街づくりに参加した経験が、 プランナーの仕事に導いてくれた

竹原育美さん

建築建設工学科 2005年卒業
株式会社地域計画連合

4年次に入った研究室で都市計画という考えに触れたことが、私の人生を大きく変えました。それまでは建築学科を出たら建築士という考えしかありませんでしたが、街づくりというマクロな視点から住環境を考える面白さを知り、在学中にさまざまな活動を行いました。その一つが「雑木林を楽しむ会」です。大学近くの雑木林を市街地の貴重な緑地と捉え、ろうそくイルミネーションなどのイベントを開催。近隣の田原町商店街とのコラボレーションでは、商店街のお祭りに合わせて焼きいも大会を実施し、街に人を呼び、活気を生む手応えを実感しました。それ以降も地域住民で街づくりを考える「田原町デザイン会議」に参加させていただき、街に出て体験することの大切さ、人とのつき合い方を身をもって学びました。雑木林を楽しむ会は第一回大学生環境活動コンテストでグランプリをいただくという嬉しい結果に。



自信にもつながりました。

現在は東京で、街づくりプランナーとして働いています。住民会議に参加し、街づくりのお手伝いをする仕事で、学生時代の経験が大いに活かされています。福井大学は私の原点。雑木林や田原町界隈の活動には、今も帰省時に参加しており、現職で得たスキルでお役に立ちたいと思っています。

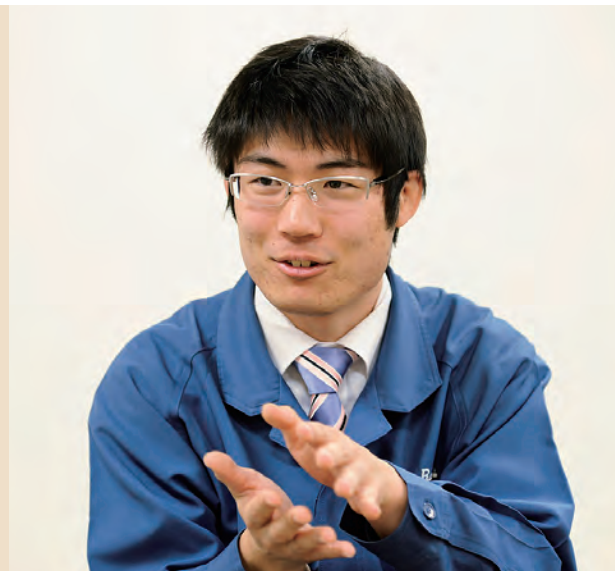
世界で活躍する夢のために トップレベルの技術を身につけたい

斎藤浩之さん

材料開発工学科 2008年卒業
株式会社福井村田製作所

商品をより作りやすくするための加工条件や工程管理、不良を出さない工程を考えることが主な仕事です。商品の性能を改善したり、コストを削減することもあります。仕事は1人ではできません。人の間に立って仕事を進めるには、コミュニケーション力が必要です。福井大学には地域と連携したカリキュラムが多く、学生の中から子どもやその保護者など、年齢の離れた人たちと話す機会がありました。大学で身につけたことが、今役に立っていると思います。また、大学ではその分野の第一人者といわれる先生方から指導をいただく機会にも恵まれ、良い刺激を受けました。教員のレベルが高いことも福井大学の魅力だと思います。

環境や地域格差の問題に以前から興味があり、将来は海外で技術支援の仕事がしたいと考えています。世界で活躍す



るためには、その道の技術を極めなければなりません。村田製作所の技術は、世界でもトップレベル。ここで多くのことを学びたいと思っています。技術はもちろん、仕事の考え方や進め方など、まだまだ教えてもらうことばかりですが、いずれは「これは斎藤に聞けばわかる」と周りの人たちにいつもらえるよう、得意な分野を持って、信頼される社員になりたいと思っています。

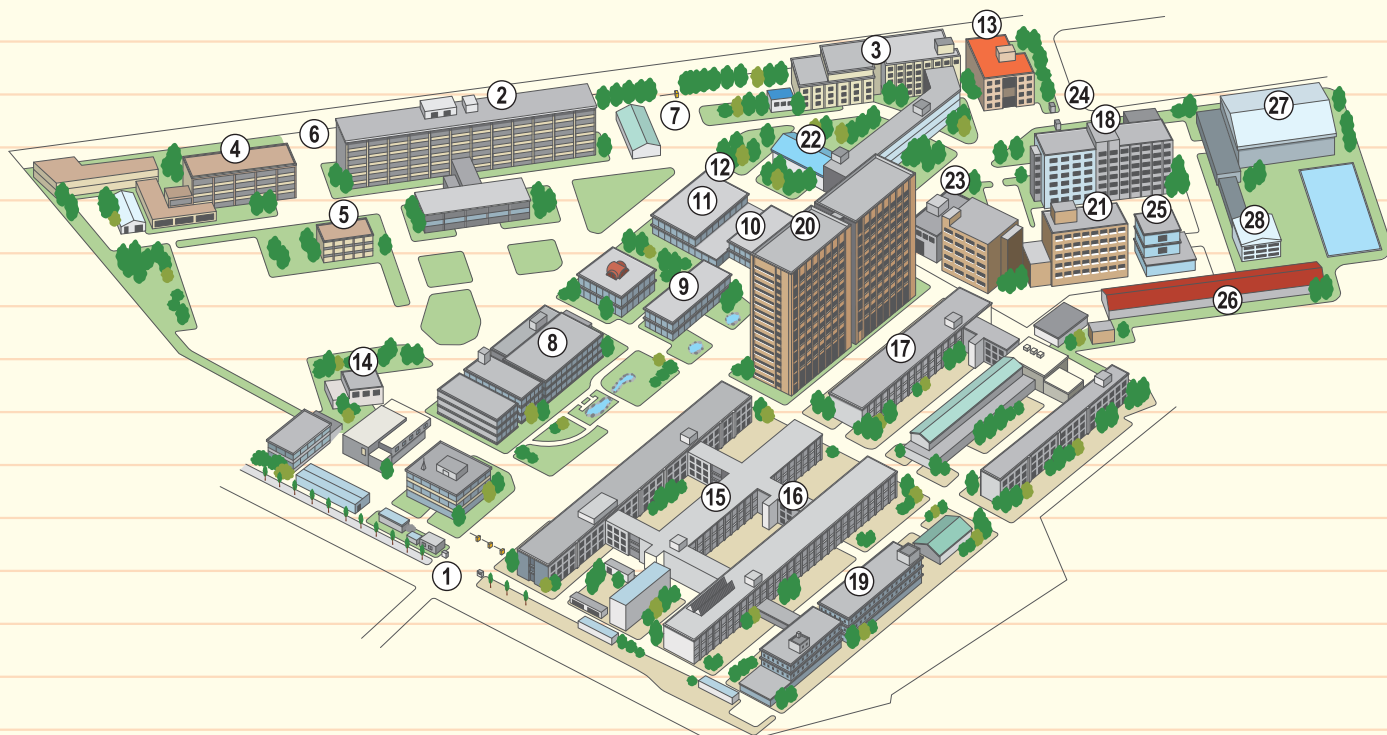
※所属等は取材時のものです。

CAMPUS LIFE

キャンパスライフ

文京キャンパスマップ

教育地域科学部と工学部があり、福井市中心部に位置します。



- | | | | |
|------------------|---------------|--------------------------|----------------------------|
| 1 正門 | 8 総合図書館 | 15 総合研究棟Ⅲ(工学系1号館) | 22 アドミッションセンター／留学生センター／入試課 |
| 2 総合研究棟Ⅴ(教育系1号館) | 9 大学会館／就職支援室 | 16 工学部売店 | 23 産学官連携本部 |
| 3 共用講義棟 | 10 学生食堂／売店／書店 | 17 総合研究棟Ⅳ(工学系2号館) | 24 東門 |
| 4 総合研究棟Ⅵ(教育系3号館) | 11 学生支援センター | 18 総合研究棟Ⅶ(工学系3号館) | 25 超低温物性実験施設 |
| 5 教育実践総合センター | 12 掲示板 | 19 総合研究棟Ⅷ(工学系4号館) | 26 先端科学技術育成センター |
| 6 北門 | 13 課外活動共用棟 | 20 総合研究棟Ⅰ | 27 第1体育館／プール |
| 7 通用門 | 14 保健管理センター | 21 総合研究棟Ⅱ(遠赤外線域開発研究センター) | 28 第2体育館 |



① 正門

入ると右手が工学部、左手が教育地域科学部。



② 総合研究棟Ⅴ(教育系1号館)

2009年にリニューアルしたばかり。教育地域科学部がメインとして使う新しい講義棟。



⑫ 掲示板

授業や課外活動についての大事な連絡が掲示されます。見落とさないよう1日1回は確認。



⑬ 課外活動共用棟

部・サークルの活動拠点。学生たちの自由で楽しい活動がここから生まれています。



⑮ 総合研究棟Ⅲ(工学系1号館)

工学部がメインとする講義棟。広い敷地に1号館から4号館まであります。



⑳ 総合研究棟Ⅰ

文京キャンパスのシンボルの建物。文理融合による、学部を越えた教育研究の場です。

⑩ 学生食堂 「味菜Ajisai」

豊富なメニューと低価格がうれしい、540席ある大食堂。昼食や休憩時のコミュニケーションスペースとして学生たちに賑わいます。営業時間が長いので夕食にも利用可能。

営業時間 月～金曜 8:00～19:30

土曜 11:00～13:30

定休日 日曜・祝日



体育会系男子も
満足のボリューム
540円

チキン竜田和風240円、
ほうれん草胡麻和え70円、
揚げだし豆腐マーボー90円、
味噌汁30円、ライスM110円

栄養バランス 赤1.1点 緑0.3点 黄10.3点 946kcal



野菜たっぷりの
四国風うどん
「しっぽく風うどん」
300円

全国各地の郷土料理や
食材を使った企画メニューも好評(不定期)

栄養バランス 赤0.5点 緑0.4点 黄3.9点 382kcal



⑩ 売店 「Shop Manten」

営業時間 月～金曜 8:15～19:30

土曜 11:00～14:30

定休日 日曜・祝日



ストラップ(525円)

ファイル(75円)
ボールペン(84円)
シャープペン(84円)



福井大学
グッズ

営業時間が長いのが
特徴。学生さんの憩い
の場となれるよう居心
地の良い空間作りを心
がけています。

生協スタッフ
森岡さん



土産菓子「五月ヶ瀬」(1,050円)



⑩ 工学部売店 「Satellite Shop Comet」

営業時間 月～金曜 11:30～14:00

定休日 土曜・日曜・祝日・休講期間



工学部1号館の中で弁当、スナック類を販売しています。

⑩ 書店「Book Cafe Asuwaブックカフェ明日輪」

営業時間 月～金曜 9:30～17:30

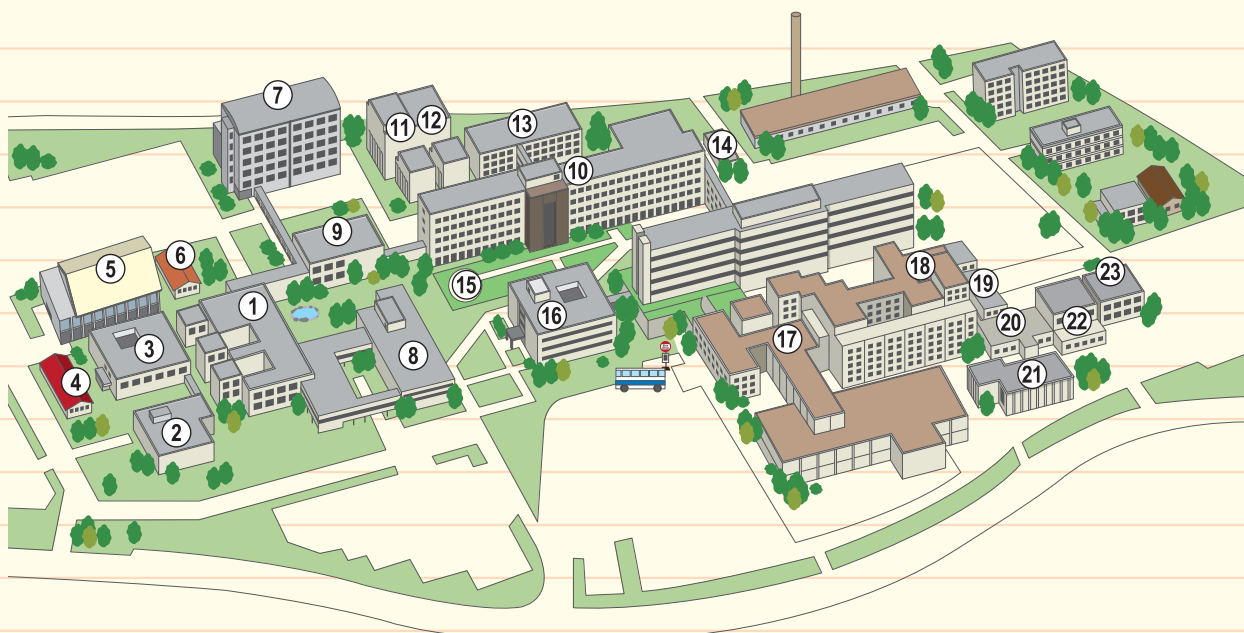
定休日 土曜・日曜・祝日



雑誌から小説、専門書まで取り揃えています。

松岡キャンパスマップ

医学部があり、附属病院と隣接しています。



- | | | | |
|--------------|-----------|------------------|--------------------|
| 1 講義棟 | 7 看護学科棟 | 13 院生研究棟 | 19 MRI 棟 |
| 2 福利棟／学生食堂 | 8 医学図書館 | 14 病理解剖棟 | 20 高エネルギー治療棟 |
| 3 福利施設／売店・書店 | 9 基礎実習棟 | 15 プラザ | 21 医学部附属臨床教育研修センター |
| 4 武道場 | 10 研究棟 | 16 保健センター／学務室 | 22 医用サイクロترون棟 |
| 5 体育館 | 11 生物資源棟 | 17 医学部附属病院／売店・書店 | 23 高エネルギー医学研究センター |
| 6 弓道場 | 12 RI実験施設 | 18 RI 治療棟 | |



① 講義棟

医学科がメインとして使っている講義棟です。講義や演習などが行われます。



⑦ 看護学科棟

看護学科の講義や演習が行われます。



⑩ 研究棟

附属病院に隣接し、各診療科の医局をはじめ、最先端の医学を研究する施設があります。



⑮ プラザ

講義の合間や昼休みに学生たちが憩う広場。春や秋には木陰でランチを楽しむ学生も。



⑯ 保健センター

心身ともに健康な大学生活が送れるように、健康相談はもちろん心のケアも行っています。



国際交流会館

主に留学生や外国人研究者が利用する寮。単身用と夫婦、家族で暮らせる部屋が16室。

② 学生食堂「PLUM CAFE」

おいしさはもちろん栄養面も考慮したメニューを低価格で提供しています。忙しい医学生、看護学生を栄養バランスの良い食事でバックアップします。200席。

営業時間 月～金曜 11:00～13:30
定休日 土曜・日曜・祝日



時間がない時も
さっと食べられる
栄養満点のランチ
460円



粗挽きハンバーグ240円、
かぼちゃ煮80円、味噌汁30円、
ライスM110円

栄養バランス 赤2.0点 緑1.2点 黄8.7点 963kcal

学生に一番人気の
醤油ラーメン
300円



栄養バランス 赤0.4点 緑0.1点 緑6.0点 527kcal

カリキュラムが過密で
多忙な医学部の学生
さんを栄養面でサポ
ートしています。心のこ
もった料理が自慢。

生協スタッフ
桑原さん



③ 売店・書店

雑誌、書籍、文具が揃っています。

営業時間 開講の時間帯に合わせて
定休日 休講期間



3群点数法で栄養バランスをチェック

学生食堂では、バランスの良い食事により多くの栄養が摂取できるように3群点数法を利用。学生の食生活をサポートする取り組みです。3群点数法は、食品を栄養の働き別に3つのグループ（赤、緑、黄）に分け、点数配分に沿って各グループから食事を摂ることで必要な栄養素を満たすことができる食事法です。文京キャンパス、松岡キャンパスの学生食堂の全てのメニューに点数をつけ、レシートには合計点数を表示。学生が自分で栄養バランスをチェックできます。

1食あたりの目標

赤	緑	黄
たんぱく資源	ビタミンミネラル源	エネルギー源
2点	2点	男子7点 女子4点
魚介類／肉類 大豆製品／牛乳 乳製品／卵	野菜120g 芋類／果物 きのこ／海藻	穀物（メイン） 油脂／砂糖

総合図書館（文京キャンパス）

居心地の良い空間で、新しい学びのスタイルを提案。

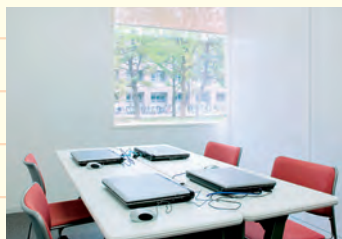


主に教育地域科学部と工学部の学生が利用する総合図書館は、2009年6月にリニューアルしました。社会や自然、工学分野を中心に、人文系から理工系まで幅広い分野の図書を48万冊所蔵しています。グループで学習するためのスペースや講習会が行える研修室、飲食できるスペースなど設備も充実しています。



閲覧室・書庫

48万冊の蔵書の他にも、過去の新聞や雑誌のバックナンバー、視聴覚資料などが揃う。県内大学や全国図書館からの取り寄せもできます。



グループ学習室

少人数で話し合いながらの学習に適しています。



ラウンジ

庭園を眺めながらくつろげる飲食スペース。新聞、自動販売機、テレビもあり、勉強の合間のひと息つきたい時に便利。



マルチメディアコーナー

地上、BSデジタルの視聴及びブルーレイ対応のパソコン、海外衛星を視聴できるブースを設置。グループで使える大型テレビもあります。

図書館ナビ



居心地が良くてずっといたくなる

塚本琴絵さん
教育地域科学部学校教育課程

明るくて開放的な雰囲気が人気です。1階のラウンジは飲食もOK。待ち合わせに使ったり、軽食をとりながら勉強したりと居心地が良いのでつい長居したくなります。3階には専門書が揃い、ノートパソコンも借りられます。グループ学習室はとっても便利で、課題も友達と協力しながら効率良く進められます。あと、蔵書に貴重な本が多いのも魅力ですね。一般公開もしています。勉強だけでなく、何かと使いやすい図書館です。

医学図書館 (松岡キャンパス)

287の座席数と充実した医学情報で、学習環境をサポート。



医学部の学生が利用する医学図書館は、自然分野を中心とした12万冊を所蔵しています。医学や看護に特化した学習図書館として、電子ジャーナルの閲覧や学術文献データベースの検索サービスなども充実。自動入退館装置と自動貸出・返却装置によって24時間利用が可能です。2010年4月にリニューアルしました。



閲覧室

座席数は287席。国家試験前の混雑時にも対応したゆとりのスペース。最適な学習環境で学生をサポートします。



ブラウジングコーナー

利用者がリラックスしてくつろげるようにと作られた空間。一般教養雑誌や心と体に関係した本が閲覧できます。



メディアルームと福井県医学資料室

ノートパソコンが利用できます。図書館主催の研修会や講習会なども開催。福井県内の医学関連資料を揃えた福井県医学資料室に隣接します。



休憩コーナー

2階の閲覧室を仕切って設けた休憩コーナーからは、遠くの山々が望めます。勉強の合間の息抜きにぴったりです。

イベントカレンダー

4月

入学式
新入生オリエンテーション
定期健康診断(教育地域科学部、工学部)
前期授業開始
新入生合宿研修(教育地域科学部の一部、工学部)
留学生オリエンテーション
就職ガイダンス開始

6月

小学校、中学校教育実習
(教育地域科学部学校教育課程4年次)

8月

夏季休業
オープンキャンパス
小学校、中学校教育実習
(教育地域科学部学校教育課程3年次、～9月)
基礎実習(医学部看護学科1年次)
インターンシップ

4

5

6

7

8

9

5月

大学祭(文京キャンパス)
新入生合宿研修(医学部)
定期健康診断(医学部)
御遺骨返還式(医学部)
臨床実習(医学部医学科5年次、～翌年3月)
臨床実習(医学部看護学科4年次、～6月)

7月

北陸地区国立大学体育大会
西日本医科学生総合体育大会(～8月)
前期試験
キャンパスイルミネーション(松岡)

大会の雰囲気
に飲み込まれてしまっ
たけれど、
仲間の応援に
助けられました。



入学式

「福大生になった!」と
実感する日です。



北陸地区国立大学体育大会

サークルや気の合う
仲間たちでイベントを企画。
地域の人たちに
喜んでもらえるのがうれしい。

大学祭はみんなを巻き込んで
盛り上げられるから楽しい。



大学祭(文京キャンパス)



医学部晩祭(松岡キャンパス)

福井大学だからこそ経験できるたくさんのイベントがあります。

10月

開学記念日
福井大学 きて みて フェア 2011
後期授業開始
医学部晩祭(松岡キャンパス)
北陸三県大学学生交歓芸術祭(～11月)
合同慰霊祭(医学部)
留学生オリエンテーション

1月

大学入試センター試験

3月

一般選抜個別学力検査(後期日程)
学位記ならびに修了証書授与式
卒業記念前夜祭

10

11

12

1

2

3

9月

サークルリーダーシップトレーニング
特別支援学校・幼稚園教育実習
(教育地域科学部学校教育課程3、4年次)
臨床実習(医学部看護学科3年次、～翌年2月)
卒業試験(医学部医学科6年次、～11月末)

12月

キャンパスイルミネーション(文京)
冬季休業

2月

後期試験
春季休業
一般選抜個別学力検査(前期日程)
医師国家試験
看護師・保健師・助産師国家試験

医学部では
模型を使って
医療を体験します。
模型がリアル!



オープンキャンパス(松岡キャンパス)

模擬講義で
大学生気分を味わいました。
高校とは全く違う雰囲気、
大学生活が
ますます楽しみに。



オープンキャンパス(文京キャンパス)

新しい一歩を踏み出します。



学位記ならびに修了証書授与式

キャンパス内が
幻想的に彩られ
とてもロマンチック



キャンパスイルミネーション

部・サークル紹介

最高の仲間が
できたよ!



松岡

女子バスケットボール部

チームプレーが重要。協調性や先を読む能力が身につきます。少人数で部員同士の団結は強く、みんな仲良し。チームでがんばった達成感は大いです。

鈴木 英さん
医学部医学科

文京

弓道部

北陸地区国立大学の大会に男女とも出場。仲が良いで、試合でもお互いにカバーし合って良い流れを作っています。

西 泰枝さん
教育地域科学部
学校教育課程



松岡

軽音楽部

部員は約40名。スタジオ付きペンションで合宿をしたり、部室や食堂などでライブをしたり、全国大会に出場したりと精力的に活動しています。

橋本優佑さん
医学部医学科



松岡

茶道部

年に数回あるお茶会に向けて、週1回のお稽古に励んでいます。高度なお手前も教えてもらえます。おいしいお菓子とお抹茶でまったり茶道を楽しみませんか。

野田佳奈子さん
医学部医学科



文京

フィルハーモニー 管弦楽団

楽団全体でひとつの音楽を作ります。みんなで演奏すると楽しい。自分の可能性が広がります。

朝日真奈甫さん
工学部生物応用化学科



文京

ソフトテニスサークルもあ

活動は週1回。意気込まず、気軽に参加できます。テニスを中心にキャンプやバーベキューなどイベントも充実。

新郷正人さん
工学部電気・電子工学科



松岡

柔道部

部員の半分は初心者。でも、中には全国レベルの人もいます。ゆるい雰囲気、柔道のイメージとはかけ離れていますが、個性派揃いで楽しい部です。

片桐 忍さん
医学部医学科



文京キャンパス(体育系)

合気道部
アメリカンフットボール部
歩こう会
エクストリームサークル
オーストリアスキークラブ
カヌー部
弓道部
競技スキー部
極真空手同好会
空手道部 天成道
剣道部
硬式卓球部
硬式庭球部
硬式野球部
航空部
サッカー同好会

サッカー部
さる部
シーズンスポーツクラブ
自動車部
柔道部
準硬式野球部
女子ソフトボール部
女子バスケットボール部
ハンドボール部
少林寺拳法
水泳部
ソフトテニス部
ソフトテニスサークルもあ
男子バスケットボール部
男子ハンドボール部
男女バレーボール部
テニス愛好会
テニス同好会

軟式野球サークル
バスケットボール愛好会
バスケットボール同好会
バドミントン部
バレーボール同好会
福井大学ソフトボール部
よっしゃこい
福大ストリートダンスCrew
フォーミュラ製作プロジェクト(FRC)
フットサル愛好会
ポーリッシュカ・ボレー
ラグビー部
陸上競技部
ワンダーフォーゲル部
Achiever(アチーバー)
Cycle+(サイクルプラス)
Ex+(エグブラ)
アウトドア

車イスバスケットボール
〜コア〜C.O.A
E.V.C(Exchange Enjoy Volleyball Circle)
F.E.E
nofis
Seven Stars
βov"(ボブ)
TCスタシオン
スポーツコミュニケーションPocation
男子ソフトボール部

文京キャンパス(文化系)

囲碁部
映画部
演劇部
ボランチ
暁
からくり工房I, Sys

個性あふれる先輩達が、新しい仲間を待っています。



文京

アメリカンフットボール部

投げる、受ける、走るなどいろいろな要素を含むスポーツだから、得意なことを磨けばそれがチームの力に。チームプレイの難しさと充実感が楽しめます。

江川 寛さん
教育地域科学部学校教育課程



文京

福大ストリートダンスCrew

ブレイクダンスやロックダンス、アニメーションなど、好きなジャンルを自由に楽しんでいます。ダンス好き集まれ!

木船翔太さん
工学部情報・メディア工学科

文京

映画部

2〜3つのグループに分かれて、脚本も演出も、俳優から監督まで、いろいろな役割をこなします。学生時代にしか経験できない楽しさです。

河井充樹さん
工学部
電気・電子工学科



初心者も
大歓迎!!



松岡

管弦楽団

5月の定期演奏会や北陸の3大学で行う交歓芸術祭、入学式などで演奏します。半分くらいが初心者。未経験者でも楽しく始められますよ。

佐竹良子さん
医学部看護学科



松岡

スキー部

大回転などの競技スキーですが、コーチや先輩から教えてもらえるので初心者でも大丈夫。スキー場が近いし、やらなきゃもったいない!

若松侑加さん
医学部医学科

松岡

ゴルフ部

大学で初めてゴルフをやったという人がほとんど。先輩が教えてくれますし、個人競技なので練習も自由。

堀口淳矢さん
医学部医学科



口笛音楽サークル ハッピーバード
グリーンエコー合唱団
児童文化研究会
写真部
社会思想研究会
書道部
将棋部
吹奏楽部
茶道部
電子工学研究会
フィルハーモニー管弦楽団
福大コンピュータ部
漫画研究会 (Fukui Comic Studio)
邦楽部
ポピュラーミュージック研究所
ボランティアサークルTogether
麻雀サークルMFC
ロック研究所
BBS (Big Brothers and Sisters movement)

Bible Study Club
Cat's Time Club 猫の時間クラブ
放送部
E.S.S (English Speaking Society)
Free Music Club (FMC)
Music Life
Peace Creators Club
SF研&ゲーマーズクラブ
IFC (International Friendship Club)
松岡キャンパス (体育系)
鹿島神流武道部
空手道部
弓道部
剣道部
硬式庭球部
ゴルフ部
サイクリングサークル
サッカー部

柔道部
準硬式野球部
水泳部
スキー部
ソフトテニス部
バスケットボール部
バドミントン部
バレーボール部
ハンドボール部
フルコンタクト空手部
卓球部
ヨット部
ラグビー部
陸上競技部
ワンダーフォーゲル部
TTC (テニスサークル)
松岡キャンパス (文化系)
囲碁部

華道部
管弦楽団
グルメ部
軽音楽部
献血推進サークル
考古学 in フクイ
合唱団 Vocal Society
写真部
精神医学研究会
茶道部
熱帯医学研究会
美術部
福井ACLS部
ぶちぶら
文藝・漫画研究会
野ばら会
FEAL
Juggling Jam (ジャグリング)

福大生たちの活躍

さまざまな分野で活躍する福大生を紹介します。

FILE. 1

灯りプロジェクト 「TOKIWAファンタジア'10」 優秀オブジェ賞受賞

山口県宇部市のときわ公園まつり実行委員会等が主催する「TOKIWAファンタジア'10」で、大学院工学研究科建築建設工学科・専攻の灯りプロジェクトメンバーの作品が、全44作品の中から、優秀オブジェ賞を受賞しました。今回は、和紙のオブジェを製作し、自然の炎のゆらぎを表現したり、雪の結晶をモチーフにしたりするなど冬の雰囲気を出した作品にしました。灯りプロジェクトメンバーは夏・冬の学内イルミネーションも行い、光だけでなく、暗さも活かして影も楽しむことができる福井らしい灯りづくりを目指しています。



FILE. 2

医学生スキルを活かす福井ACLS部

ACLS(Advanced Cardiovascular Life Support)とは、人工呼吸や心臓マッサージなどの心肺蘇生、電気的除細動(AED)などから蘇生後の急性期における全身管理を行うもので高度な医療資材を用いるため医療従事者のみがチームを組んで行います。医学部の福井ACLS部の部員たちも全国の医学生とともにワークショップを開催し、ACLSの実習を重ね、いざという時のために備えています。



FILE. 4

学生の視点でまちづくりを提案 「学生発信! 駅前プロデュース in FUKUI」開催

教育地域科学部地域科学課程の学生有志が集まり、福井駅前の活性化について全国の学生と考えるイベント「学生発信! 駅前プロデュース in FUKUI」を2日間にわたり開催しました。グループごとに福井駅前を散策して、街づくりのヒントや魅力を発掘し、学生目線の新しい街づくりについて、福井市や駅前商店街の皆さんへ提案を行いました。



FILE. 3

ふくいソフトウェアコンペティション2010で 優秀賞を受賞

工学部知能システム工学科 山口龍太郎さん

授業を円滑に進めるための支援ソフトを開発し優秀賞を受賞しました。支援ソフトでは、リアルタイムで講義内容の閲覧や質問、双方向の書き込みなどができます。同コンペティションでは、福井県ソフトウェア奨励賞を2名が受賞し、福井県IT産業団体連合会賞を1名が受賞しました。



FILE. 5

第9回世界カヌーボロ選手権大会に 男子U21日本代表選手として出場

工学部電気・電子工学科 糸山 諒さん

国際カヌー連盟(ICF)主催のカヌーボロ大会の中で最も権威の高い大会として位置付けられる「第9回世界カヌーボロ選手権大会」に男子U21日本代表選手として出場しました。結果は16位中13位。力を出し切る熱い試合となりました。



学生生活サポート

学生生活の悩みごとをサポートします。

学生支援センター(文京キャンパス)

学務室(松岡キャンパス)

あらゆる悩みごと、相談ごとに応えます

履修の相談や単位・成績の照合、各種証明書の発行、授業料免除や奨学金の相談を受けています。留学情報も提供しています。

頼りになる4つのサポート

■なんでも相談窓口(文京) ■M☆Station (松岡相談ステーション)

学業のこと、経済面のこと、人間関係の悩みなど、さまざまな相談を受け付けています。



スタッフが豊富な知識で悩みごとを解決します

■オフィスアワー

全ての教員が学生の相談に応じるための時間(オフィスアワー)を設定しています。たとえば、授業の内容について質問したい時、質問したい先生のオフィスアワーを確認して研究室を訪ねることができます。

■学年主任・助言教員制度

キャンパスライフ全般の学生のさまざまな悩みを、教員が相談相手となり指導し、助言します。

■ほやほや夢ポスト

誰にも知られたくない相談ごとにはもってこい。メールで相談ができるので安心です。



学生支援センター(文京キャンパス)



学務室(松岡キャンパス)

保健管理センター(文京キャンパス)

保健センター(松岡キャンパス)

ところとからだの悩みをサポートします

健康相談やけがの応急処置、健康診断やカウンセリングなど、身体と心の健康を支援します。静養室、検査室、カウンセリング室があり、リラクゼーション、ヒーリング設備も揃っています。



静養室にはリラクゼーションやヒーリング器具が設置



リラックスできる環境でカウンセラーが悩みごとを聞きます

スタッフ

文京キャンパス

医師(1名)
学校医(非常勤2名)
カウンセラー(非常勤を含め3名)
看護師(1名)、保健師(1名)

松岡キャンパス

学校医(非常勤6名)
カウンセラー(1名)
看護師(1名)

主なサービス

定期(不定期)健康診断
健康相談
精神衛生相談
伝染病の予防

万一の 事故や ケガに 備える保険

学生教育研究災害傷害保険「学研災」

大学における学生の教育研究活動中(正課、学校行事、課外活動、通学)の災害に対する災害補償制度で、急激かつ偶然な外来の事故による身体の傷害に対して保険金が支払われます。※入学時に学生全員が加入することを原則としています(保険料は修業年限分一括納入)

学研災付帯賠償責任保険(文京キャンパスのみ)

学生が、正課中、学校行事中又は課外活動(インターンシップ、介護体験活動、教育実習、ボランティア活動等)中及びその活動を行うための往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償します。※加入には、「学研災」に加入していることが条件となります

奨学金制度 学びたい学生を経済面でサポート

大学・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀かつ健康であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては、独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体、公益法人等の奨学金制度があります。また、学資支援や研究者・医療人育成のための大学独自奨学金制度もあります。

■独立行政法人日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構奨学金は、貸与型の奨学金です。この奨学金は、大学卒業又は退学後、必ず返還しなければなりません。また、この奨学金は大学の在籍状況等で申込要件を満たすことができないとき、申請できない場合がありますので、詳しくは大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

種類及び貸与月額

<学部>

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	自宅通学者 45,000円 自宅外通学者 51,000円 又は、30,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 30,000円、50,000円、80,000円、 100,000円、120,000円	有利子（在学期間中は無利子）利率は固定型、又は見直し型より選択

<大学院>

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	修士・博士前期課程 88,000円 又は、50,000円の何れかを選択 博士後期課程 122,000円 又は、80,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 50,000円、80,000円、100,000円、 130,000円、150,000円	有利子（在学期間中は無利子）利率は固定型、又は見直し型より選択

日本学生支援機構が定める基準を満たす場合には、「第一種奨学金」と「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。ただし、返還総額が多額になりますので、特に第二種奨学金の月額については、卒業後返還する場合のことを考えて慎重に選択してください。

■地方公共団体、公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板で案内しますので、申請を希望する学生は、大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

■福井大学生協奨学金

福井大学生協生活協同組合からの寄附による奨学金制度です。学部学生の授業料免除申請者のうち、全額免除の基準を満たしていたが審査の結果半額免除となった者の中から、選考により一時学資支援金として、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

■福井大学大学院医学系研究科基礎医学振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科博士課程における基礎医学系分野の研究者育成を図ることを目的とした奨学制度です。医学部医学科を卒業後、基礎医学系分野に入学し、将来基礎医学系研究者を目指す学生を対象とし、選考により入学料及び授業料相当額が給付され、返還の必要はありません。（入学料及び授業料の支払いを確認後給付されます。）

■福井大学大学院医学系研究科振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科の高度専門医療人育成を図ることを目的とした奨学制度です。将来医学領域又は看護領域における優れた研究・実践力を有する医療人を目指す社会人大学院生（医師は除き、4月入学生に限る。）を対象とし、選考により入学料及び授業料相当額が給付され、返還の必要はありません。（入学料及び授業料の支払いを確認後給付されます。）

■福井大学大学院医学系研究科画像医学振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科博士課程における画像診断分野の高度専門医療人育成を目的とした奨学制度です。博士課程医科学専攻医科学コース機能画像医学部門に入学した学生（医師は除く。）を対象とし、選考により入学料及び授業料相当額が給付され、返還の必要はありません。（入学料及び授業料の支払いを確認後に給付されます。）ただし、奨学金の給付を中止された場合の奨学金の返還の要否については、別に定められています。

■福井大学大学院医学系研究科私費外国人留学生振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科博士課程における私費外国人留学生の経済支援を目的とした奨学制度です。博士課程に入学した私費外国人留学生を対象とし、選考により入学料及び授業料半額相当額が給付され、原則返還の必要はありません。（入学料及び授業料の支払いを確認後給付されます。）ただし、奨学金の給付を中止された場合の奨学金の返還の要否については、別に定められています。

大学の奨学金窓口（問い合わせ先）

文京キャンパス 学生サービス課（奨学担当） TEL 0776-27-8716
松岡キャンパス 松岡キャンパス学務室学生係 TEL 0776-61-8266

学費 国立大学ならではの初年度納付金の安さ

福井大学の初年度納付金額(入学金と授業料の合計額)は3学部とも817,800円。国立大学の学費は、私立大学の平均と比べ、文系で約35万円、理系で最大約400万円以上の開きがあります。

初年度納付金 **817,800**円
(入学金 282,000円、授業料 535,800円)

■免除・猶予制度

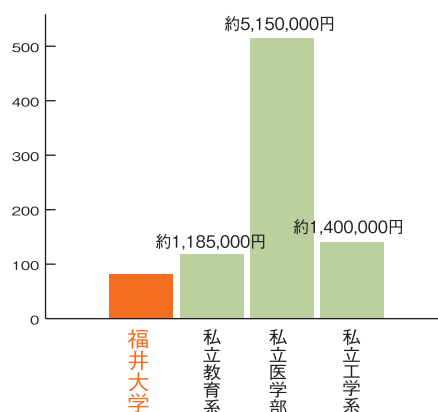
学費の納付が困難かつ学業優秀と認められる学生について、本学では以下の制度を設けています。※免除・猶予には、学生本人の申請と審査機関での選考が必要です。

入学金免除制度 入学金の全額もしくは半額を免除します

入学金徴収猶予制度 入学金の徴収を一定期間猶予します(免除ではありませんので納付が必須)

授業料免除制度 授業料の全額もしくは半額を免除します

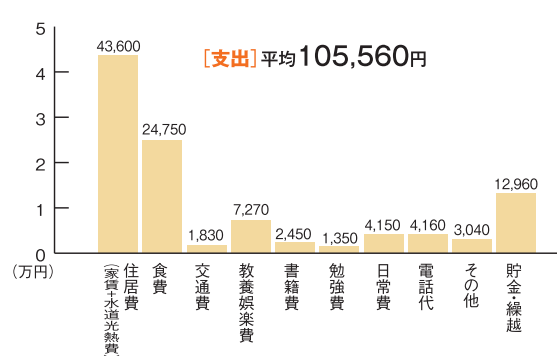
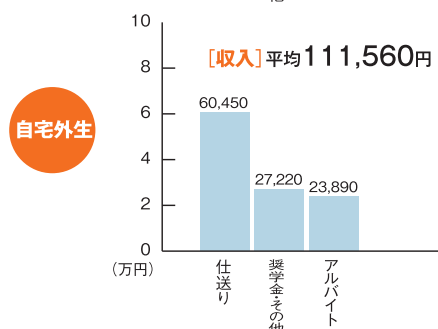
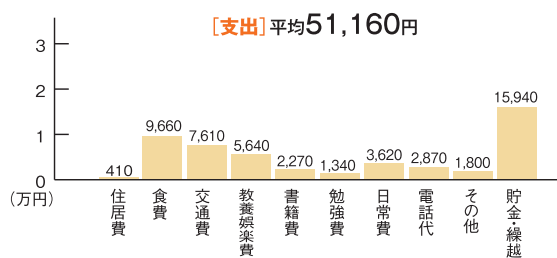
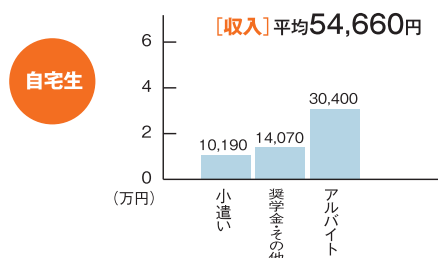
私立大学(初年度納付金の平均)との比較



(文部科学省「平成21年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)」より作成)

生活費 福大生の1ヶ月の収入と支出(平均)

入学金や授業料以外にかかる「生活費」。自宅から通う学生と、一人暮らしをする学生とではかかる金額も違います。1ヶ月にかかる平均的な生活費をチェック!



(福井大学生生活協同組合「第46回学生生活実態調査」より作成)

住まい アパート、下宿のサービスは地元企業と連携

一人暮らしを始める学生のために、アパートや下宿などの住まい探しをお手伝いします。福井で始めて暮らす学生も安心のサポート体制。

■アパート・マンション・下宿

アパートやマンションの入居、下宿を希望する学生のために、大学周辺のアパートや下宿のオーナー、不動産会社の協力のもと、住まいの紹介サービスを行っています。

福井大学生生活協同組合(電話0776-21-2956)にご相談ください。

■福井大学国際交流学生宿舎

学生の勉学及び生活のための良好な環境を整備するとともに、日本人学生と外国人留学生との相互理解を深め、国際交流を促進することを目的とした国際交流学生宿舎があります。宿舎生活は入居学生で組織する自治会が支えています。

入居費用 寄宿料4,700円/月額、共益費1,000円/月額、光熱水料等約10,000円/月額、自治会費(入会費500円、会費1,000円/年間)、共用施設費(シャワー100円/1回、ランドリー100円/1回)

居室設備 机、椅子、ベッド、吊り棚、ワードローブ、ミニキッチン、ユニットトイレ、冷蔵庫、空調機、時計、カーテン

詳細は、学生サービス課学生企画係(電話0776-27-8403)にお問い合わせください。

就職サポート

一人ひとりの夢の実現をサポートします。

大学に入って何を学ぶのかはもちろん、
卒業してから何ができるようになるのかを入学前に知っておきたい。

複数学部を有する国立大学で 就職率No.1 福井大学の4つの理由

「サンデー毎日」(2010年7月25日号)の「全国230大学就職率ランキング」において、就職率が94.3%で複数学部を有する国立大学1位となった福井大学。就職率No.1には理由があります。

学部別進路決定率の実績(2009年度卒業生)

教育地域科学部 **97.6%**

医学部 **96.4%**

工学部 **98.0%**

1 徹底した就職活動のサポート

E-mailや情報掲示板を活用した情報支援をはじめ、「求人票閲覧システム」では大学に対する全求人票(約2,900社)をパソコンや携帯メールで検索、閲覧できる環境が整備されています。3年次、4年次の学生には「就活メルマガ」を配信。さらに就職未定者に対しては、個別に希望業種の求人情報や激励メールを送るなど、就職支援室と就職担当委員とが連携し一人ひとりに対応し手厚くサポートしています。

2 充実した就職支援講座

「業界・企業研究講座」「マナー講座」「女子学生のための就活メイクアップ講座」「エントリーシート作成講座」「面接対策講座」「卒業生と就職を語る会」など、就活生の不安に対して力強くサポートする講座を用意しています。

3 学内で開催される企業説明会

学生には、より多くの企業と出会ってほしいとの思いから、教育地域科学部で文系企業60社、工学部で理系企業280社、産学官連携本部で県内企業を中心に70社を招き、学内で企業説明会を開いています。また、採用実績のある企業を1社ずつ招いた個別企業説明会を通年で開催しています。

4 企業等への情報発信

本学の学生が何を学んでいるのかを企業に知ってもらうために、大学紹介の冊子を作成しています。企業や関係機関に送付するほか、採用実績のある企業先を訪問して説明します。また、合同企業説明会の開催に合わせて、各学科、専攻の研究を紹介するパネル展示も開催しています。

就職支援室

企業や団体からの求人情報や各種資料、セミナー・講座等の情報、就職支援情報誌、就職活動のポイントをまとめたDVDの閲覧、SPI2対策の問題集なども揃っています。就職に関する悩み事はなんでも相談できます。



ウェブサイト「福大求人票閲覧システム(学生専用)」で求人情報を閲覧できます



学生の希望に合わせた資料とセミナー・講座等の情報を提供します

■インターンシップ

県内経営者協会の協力のもと、夏休みを利用した就業体験を実施しています。企業団体の実態や地域活動への理解、職業観の確立を目指します。

■就職ガイダンス

就職支援の専門家や先輩学生による講演会をはじめ、企業トップによるセミナーなどを実施。企業に就職を希望する学生だけでなく、教職希望者や公務員希望者向けのガイダンスも行っています。企業の現場の話や先輩の経験を聞ける貴重な機会です。

■キャリア相談

経験豊かなキャリアカウンセラーや就職担当委員に就職活動の悩みについて個別に相談できます。キャリアカウンセラーの相談は毎日10:00～11:00で随時行っています。更に別枠で水曜日13:00～16:00、木曜日13:00～17:00でも行っています。



学内合同企業説明会



卒業生と就職を語る会

■試験対策支援

[教員採用試験受験者]

教員採用試験対策セミナー／教員採用試験模擬面接／
教員採用試験論文勉強会

[公務員志望者]

学内での公務員講座の実施

[医師国家試験、看護師国家試験等受験者]

進路懇談会／医学図書館の24時間利用／自習室の確保

■学内合同企業説明会

本学OB・OGが在籍する企業や、本学の学生を採用予定の企業人事担当者を招いて開催。福井県内だけでなく、全国の企業に参加します。学生が企業情報を直接収集して、希望職種や応募企業を絞り込み、就職活動の具体像を描くことを支援します。

■模擬面接

就職を希望する学生にはキャリアカウンセラーによる模擬面接を行っています。教員を目指す学生には学内の就職担当委員による模擬面接を実施します。ここでは面接時のマナーや態度、発言内容に対する指導や助言を行っています。

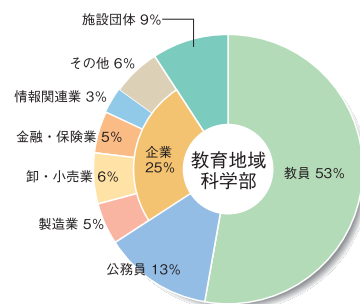
就職サポート

スケジュール (2010年度実績)

4月	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアカウンセラー等による就職相談及び模擬面接 ※2010年度毎週月・水・木開催 ●就職ガイダンスー面接講座(医) ●就職ガイダンスー就活再スタート講座(教・工の4年次) ●就職ガイダンスースーツ着こなし・メイクアップ講座(医) ●福井県教員採用試験説明会(教) 	
5月	<ul style="list-style-type: none"> ●福井県インターンシップ制度事前説明会(教・工) ●教員採用試験対策模擬試験(教) ●東海北陸地区臨床研修病院合同セミナー(医) 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ●就職ガイダンスースタートアップ講座前編(教・工) ●就職ガイダンスーキャリアデザイン入門(教・工の1・2年次) ●就職ガイダンスー業界・企業研究講座(教・工) ●進路指導懇談会(医) 	学内公務員講座
7月	<ul style="list-style-type: none"> ●福井県インターンシップ参加申込者の事前研修会(教・工) ●就職ガイダンスー自己分析講座(教・工) ●就職ガイダンスー情報収集講座(教・工) ●教員採用試験対策論文勉強会(教) ●臨床医のための臨床研修病院合同セミナー(医) ●卒後臨床研修説明会(医) ●医学生のための臨床研修病院合同セミナー(医) 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ●教員採用試験対策場面指導勉強会(教) ●福井県臨床研修病院合同説明会(医) 学生のが活・大学のが活支援リーフレットを保護者へ郵送 ●企業訪問(教・工) 	インターンシップ
9月		
10月	<ul style="list-style-type: none"> ●就職ガイダンスーインターネット活用講座(教・工) ●就職ガイダンスーエントリーシート作成講座(教・工) ●就職ガイダンスーマナー講座(教・工) ●就職ガイダンスースタートアップ講座後編(教・工) 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ●産業・就職産業セミナー(教・工) ●教員採用試験対策講座(教) ●国家試験受験説明会(医) ●就職ガイダンスー卒業生と就職を語る会(教・工) ●就職ガイダンスー面接対策講座(教・工) 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ●就職ガイダンスー卒業生OGと就職を語る会(教・工) ●就職ガイダンスー面接対策講座(教・工) ●産学官連携本部合同企業説明会(教・工) 	
1月	●就職ガイダンスー就職活動体験報告会(教・工)	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ●企業説明会・懇談会(教) ●学内合同企業説明会(教・工) ●教員採用試験対策模擬面接(教) ●免許申請説明会(医) 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ●福井県臨床研修病院合同説明会(医) ●医学生のための北陸地区臨床研修病院合同セミナー(医) 	

※スケジュールは変更となる場合があります

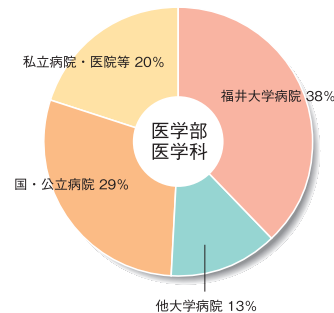
学部別の就職状況 (2009年度卒業生)



主な就職先 (順不同)

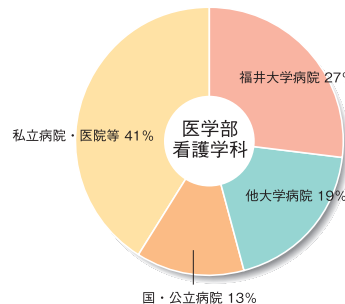
■教育地域科学部

福井県内教員、県外公立学校教諭、日本興亜損保、福邦銀行、JAたんなん、JA福井市、JAレック伊吹、アクサ損保、オリオン電機、カズマ、勝山税理士事務所、かんば生命保険、JRサービスネット金沢、SHINDO、伸和エンジニアリング、敦賀海陸運輸、東洋染工、日本通運、春江病院、福井システムズ、福井テレビジョン放送、福井村田製作所、べにしだの家、福井工業高等専門学校、幼稚園事務、金沢国税局、福井県庁、福井市役所、福井県警、福井県警事務



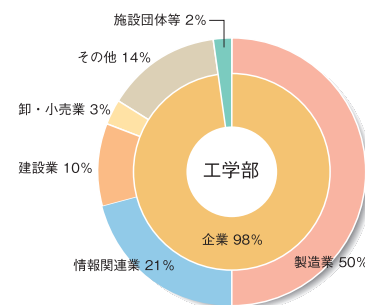
■医学部医学部

福井大学医学部附属病院、東京医科歯科大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、名古屋大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院、国立病院機構東京医療センター、福井県立病院、岐阜県総合医療センター、福井県済生会病院、安城更生病院、城北病院、福井赤十字病院



■医学部看護学科

福井大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院、金沢大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、近畿大学医学部附属病院、富山大学医学部附属病院、名古屋大学医学部附属病院、福井県立病院、愛知県がんセンター中央病院、福井県済生会病院、福井赤十字病院、福井循環器病院、金沢赤十字病院



■工学部

トヨタテクニカルディベロップメント、トヨタ紡織、日本電産、サカイオーベックス、福井鉄螺株式会社、JR西日本、アイシン・エイ・ダブリュ、オリオン電機、キャノンマシナリー、東洋染工、豊田合成、天晴データネット、柿本商会、アートテクノロジー、大林組、金沢大学、豊郷病院、航空自衛隊、中部管区警察、福井県警、愛知県警、福井市役所、愛知県庁、岐阜県庁、神戸市役所、坂井市役所、長浜市役所

主な進学先 (順不同)

福井大学大学院(進学者の約90%)、信州大学大学院、京都市立芸術大学大学院、秋田大学大学院、金沢大学大学院、三重大学大学院、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、京都大学大学院

国際交流

世界に広がる学びのフィールド

福井大学では世界18カ国、61の大学や研究機関と連携し、学術・文化交流を行っています。また、本国に帰国した外国人留学生を中心とした「留学生同窓会」が、海外に11支部設立されています。毎年3月に本学学生が上海に留学するスプリングプログラムでは、「留学生同窓会」が全面的にバックアップしています。



EUROPE

■ロシア
ロシア科学アカデミー応用物理学研究所
D.Y.Efremov電気物理研究所精密工学センター
ロシア科学アカデミーシベリア地区物理学研究所

■ドイツ
カールスルーエ研究センター パルス出力・マイクロ波研究所
シュトゥットガルト大学プラズマ研究所
ハンブルク大学人文科学部アジア・アフリカ研究所

■フランス
リヨン繊維・化学技術院
メン大学
ジョセフフーリエ大学

■ブルガリア
ブルガリア科学アカデミー電子工学研究所

■ポーランド
ワルシャワ工科大学化学プロセス工学部

AFRICA

■ウガンダ
マケレレ大学医学部

ASIA

■中国
西安外国語大学
西安理工大学
浙江大学
北京信息科技大学
浙江理工大学
南昌航空大学
江南大学
北京化工大学
蘇州大学
東華大学
瀋陽師範大学
天津科技大学
武漢科技大学
中国電子科技大学プラズマ研究所
上海師範大学
天津工業大学
内蒙古工業大学
東南大学動力工程系
中国科学院南京土壤研究所
上海理工大学動力工程学院
蘭州交通大学機械電子工学院
華東理工大学機械・動力工学院

■韓国
東義学校
釜山大学校師範大学
延世大学工科大学
東亜大学校工科大学
釜慶大学校工科大学
嶺南大学校工科大学
成均館大学校工科大学

■モンゴル
モンゴル科学技術大学

■台湾
國立雲林科技大學
國立臺灣科技大學工程學院
國立清華大學工學院

■インド
インド工科大学カラプール校
アンナマライ大学工学部

■インドネシア
インドネシア大学
ジャカルタ大学
ハルオレオ大学 数理・自然科学部

■タイ
キングモンクト工科大学

■バングラデシュ
イーストウエスト大学
クルナ科学技術大学

■アラブ首長国連邦
イティハッド大学

AMERICA

■アメリカ合衆国
ラトガース大学
クレムソン大学
テキサス大学 M. D. Anderson がんセンター
フィンドレー大学
ワシントン大学医学部
マリノット放射線医学研究所

■カナダ
オタワ大学医学部

OCEANIA

■オーストラリア
シドニー大学 School of Physics

大学間交流協定 28校
部局間交流協定 33校

(2011年2月現在)



Nilna Amelia (ニルナ・アメリア)さん

大学院工学研究科 博士前期課程 生物応用化学専攻

昨年1月に福井に来て1年ほど経ちますが、住みやすく居心地の良い土地です。福井で初めて雪を見た時には、感動のあまり、写真をたくさん撮って家族に送りました。また、食べ物は何れも新鮮で、魚は味も良くておいしいです。大学は小さいけれど、みんなが親切で楽しい留学生活を送っています。

インドネシアの大学では生物やエコロジーについて

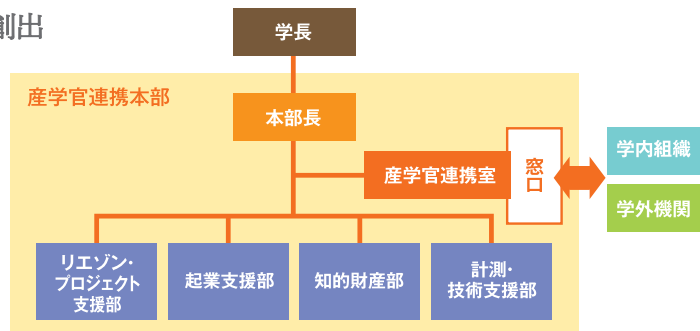
学びました。私の国では工業によって自然が汚染されています。以前のようなきれいな土や水を取り戻したいと思い、バイオテクノロジーの研究を行っている福井大学で学ぶことを決めました。日本の技術をたくさん勉強し、インドネシアの土や水に含まれる危険な物質を分解する技術を身につけて、将来役立てたいと思っています。

留学生

産学官連携本部

大学と産業界が協力してより高度な技術を創出

「知の融合」「人の交流」を基本に、産(産業界)・学(大学)・官(公的機関)が協力して研究・開発を進める産学官連携活動を的確かつ迅速に遂行する全学組織。産業界のノウハウを研究に反映させ、より実践的な研究を行っています。



【活動の目的】

- ・研究教育現場の活性化
- ・知的創造サイクルの加速及び拡大
- ・得られた識見やノウハウを実践的手法として教育現場での活用
- ・イノベーション資質及び実践的感覚を持った人材育成の支援

【活動内容】

- ・大学の研究を企業などに積極的に公開
- ・大学の持つ知的財産の適切な管理・運用
- ・民間企業や公的な試験・研究機関との開発・研究を支援し研究プロジェクトを創出
- ・教員・学生の起業マインドの育成や研究の支援
- ・研究をベースにした試作開発やそのマーケティングなどを通じた教育活動
- ・大学の持つ計測・分析機器などを学内外に提供
- ・学内外からの技術相談への対応

産学官連携本部・工学研究科と産業界が協力して進める実践教育プログラム

創業型実践大学院工学教育プログラム (工学研究科大学院博士前期課程副専攻)

実践的スキルを有する視野の広い人材の育成を目的とした教育プログラムで、技術経営に関する講義と、ビジネスプラン作成やものづくり、インターンシップなどの実習からなり、規定単位取得により「技術経営カリキュラム修了証」を学長名で授与します。

産業現場に即応する実践道場

(工学研究科大学院博士後期課程、ポスドク、社会人対象)

産業界の幅広い分野のエキスパートのご協力をいただき、自らの技術優位性を維持し、企業現場に柔軟に対応し、問題発見・課題解決能力を持ち、次世代産業を支えていく「自律型産業人材」の育成を目指しています。

附属施設

総合情報基盤センター

最新のICT技術を駆使し
学内の情報システムを担う

学内の情報ネットワーク及び情報システムを管理運用し、本学における教育、研究、医療、学術情報サービス及びその他の業務の利用を支援しています。松岡キャンパスでは、教育研究施設のみではなく、病院のための高度なセキュリティ対策を実施しています。



高エネルギー医学研究センター

放射線のもつ可能性を追求し
世界最先端の研究を進める

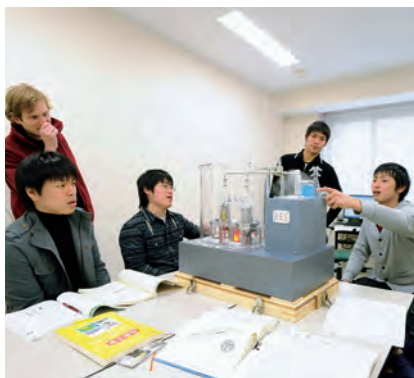
ガンなどの診断に威力を発揮するポジトロンCT (PET) 装置や、導入例の少ない高精度の装置を設置。生体の機能や病状を画像化し、疾患の診断と予防の基礎的、臨床的な研究を実施するなど世界最先端の画像医学研究を進めています。



附属国際原子力工学研究所

世界トップレベルの原子力研究開発

福井県の原子力関連機関や他の大学と連携し、高速炉研究を中心とした特色ある原子力研究開発や国際的な原子力人材育成を行っています。環境と調和した持続的なエネルギー社会の構築、原子力を平和利用する研究の推進を目指します。



遠赤外領域開発研究センター

高出力遠赤外光源の開発と 広範な分野に応用する 先端的研究を実施

独自に開発した高出力遠赤外光源「ジャイロトロン」の高性能化と画期的な新技術に応用する研究、新着想のテラヘルツ波発生技術と分光法を組み合わせたテラヘルツ波科学の研究を国内外研究機関と共同で行っています。



地域環境研究教育センター

産学官の連携で地域の環境をサポート

地域に密着した環境問題を調査し、地域の環境を保全、改善するための研究を行っています。環境に対する一般の方々の理解を促進するための活動も重要視。紀要「日本海地域の自然と環境」を発行し、環境や関連分野の情報発信を行っています。



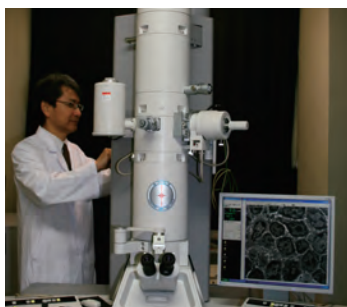
ライフサイエンスイノベーション推進機構

生命科学およびその関連分野の活動を世界トップレベルで維持、推進する機構で3つのセンターで構成されています。

ライフサイエンス 支援センター

3つの専門部門から構成 先端技術をバックアップ

バイオ実験機器部門、生物資源部門、放射性同位元素実験部門からなり、生命科学複合研究教育センターとトランスレーショナルリサーチ推進センターを支援するとともに、設備・機器等の共同利用や研究及び教育の発展に寄与します。



生命科学複合研究 教育センター

先端的生命 科学研究と人材育成

先端的生命科学研究を高水準で推進するセンターです。生命科学を複合的な観点から捉え直し、異なる専門の教員が参加し研究を展開しています。同時に高度な専門教育を行い、生命科学の将来を担う人材の育成にも取り組んでいます。



トランスレーショナル リサーチ推進センター

健康増進につながる 幅広い分野での実用化を目指す

生命科学及び関連分野の活動において、臨床応用に向けた橋渡し研究の拠点としての役割を果たすとともに、将来の先端医療、QOL (Quality of Life) の向上及び健康増進に繋がる幅広い分野での実用化を目指した応用的研究を行っています。



入試情報

平成23年度 福井大学入学試験実施状況

学部	学科・課程・コース等	一般入試(前期)					一般入試(後期)					特別入試(推薦・AO)					特別入試(帰国・私外他)					計				
		募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学
教育学部	言語教育コース	10	29	26	11	11	6	34	12	6	5	4	11	11	4	4	若干名	1	0	0	0	20	75	49	21	20
	理数教育コース	14	43	37	16	16	-	-	-	-	-	6	20	19	6	5	若干名	0	0	0	0	20	63	56	22	21
	芸術・音楽教育サブコース	3	5	4	4	4	-	-	-	-	-	2	8	8	2	2	若干名	0	0	0	0	5	13	12	6	6
	芸術・保健体育美術教育サブコース	3	4	4	3	3	-	-	-	-	-	2	7	7	3	3	若干名	0	0	0	0	5	11	11	6	6
	教育コース 保健体育サブコース	3	8	7	4	4	-	-	-	-	-	2	6	6	2	2	若干名	0	0	0	0	5	14	13	6	6
	生活科学教育コース	4	10	9	6	5	2	16	6	3	3	4	3	3	3	3	若干名	0	0	0	0	10	29	18	12	11
	社会系教育コース	5	13	11	6	6	3	12	3	3	3	2	3	3	2	2	若干名	0	0	0	0	10	28	17	11	11
	教育実践科学コース	3	12	9	4	4	2	22	11	2	2	2	3	3	2	2	若干名	0	0	0	0	7	37	23	8	8
	臨床教育科学コース	4	8	8	4	4	2	19	13	3	3	2	9	6	2	2	若干名	0	0	0	0	8	36	27	9	9
	障害児教育コース	4	14	14	5	5	3	29	20	3	3	3	12	9	3	3	若干名	0	0	0	0	10	55	43	11	11
	小計	53	146	129	63	62	18	132	65	20	19	29	82	75	29	28	若干名	1	0	0	0	100	361	269	112	109
地域科学部	地域科学課程	35	88	80	38	36	15	103	51	17	15	10	18	18	10	10	若干名	3	3	1	1	60	212	152	66	62
	学 部 計	88	234	209	101	98	33	235	116	37	34	39	100	93	39	38	若干名	4	3	1	1	160	573	421	178	171
医学部	医学科	55	373	307	55	55	25	442	108	25	25	30	104	90	30	30	-	-	-	-	-	110	919	505	110	110
	看護学科	30	64	63	30	30	10	61	25	10	10	20	38	37	20	20	-	-	-	-	-	60	163	125	60	60
	学 部 計	85	437	370	85	85	35	503	133	35	35	50	142	127	50	50	-	-	-	-	-	170	1082	630	170	170
工学部	機械工学科	35	89	85	37	35	20	124	47	28	25	20	48	40	19	19	若干名	1	1	1	1	75	262	173	85	80
	電気・電子工学科	30	81	78	30	28	22	184	76	29	25	12	27	20	12	12	若干名	10	8	7	5	64	302	182	78	70
	情報・メディア工学科	30	88	79	33	33	20	167	76	21	20	15	33	33	17	17	若干名	3	3	1	0	65	291	191	72	70
	建築建設工学科	30	79	78	34	31	25	109	49	30	27	10	38	32	11	11	若干名	7	5	3	3	65	233	164	78	72
	材料開発工学科	45	133	119	59	56	20	95	28	21	19	10	17	17	10	10	若干名	2	1	1	0	75	247	165	91	85
	生物応用化学科	40	122	118	47	46	15	133	66	19	16	10	29	14	8	8	若干名	4	3	1	1	65	288	201	75	71
	物理工学科	20	65	61	25	24	31	240	104	39	32	若干名	5	5	1	1	若干名	0	0	0	0	51	310	170	65	57
	知能システム工学科	30	66	64	34	33	23	144	64	26	24	12	16	13	12	12	若干名	0	0	0	0	65	226	141	72	69
	学 部 計	260	723	682	299	286	176	1196	510	213	188	89	213	174	90	90	若干名	27	21	14	10	525	2159	1387	616	574
合 計		433	1394	1261	485	469	244	1934	759	285	257	178	455	394	179	178	若干名	31	24	15	11	855	3814	2438	964	915

医学科一般入試受験者分は2段階選抜後の受験者数を加算。AO入試及び医学科推薦入試受験者分は最終選考の受験者数を加算。工学部にはマレーシア政府派遣留学生を含む

地区別志願者・入学者

全体	志願者	入学者
教育	573	171
医(医)	919	110
医(看)	163	60
工	2,159	574
合計	3814	915

九州・沖縄地区	48	0
教育	6	0
医(医)	30	0
医(看)	2	0
工	10	0

中国・四国地区	80	11
教育	7	0
医(医)	52	6
医(看)	2	2
工	19	3

外国等	43	12
教育	5	1
医(医)	6	1
医(看)	0	0
工	32	10

信越地区	127	26
教育	5	1
医(医)	39	8
医(看)	2	1
工	81	16

石川県	261	62
教育	16	5
医(医)	49	4
医(看)	18	6
工	178	47

富山県	91	22
教育	15	5
医(医)	5	2
医(看)	4	3
工	67	12

福井県	1492	413
教育	450	139
医(医)	171	30
医(看)	118	44
工	753	200

北海道・東北地区	43	1
教育	4	1
医(医)	31	0
医(看)	0	0
工	8	0

関東地区	194	22
教育	6	0
医(医)	147	13
医(看)	0	0
工	41	9

東海地区	887	216
教育	25	8
医(医)	161	13
医(看)	11	3
工	690	192

岐阜県	183	39
教育	4	1
医(医)	38	2
医(看)	5	1
工	136	35

静岡県	69	12
教育	4	2
医(医)	19	0
医(看)	0	0
工	46	10

愛知県	528	145
教育	12	4
医(医)	93	9
医(看)	5	2
工	418	130

三重県	107	20
教育	5	1
医(医)	11	2
医(看)	1	0
工	90	17

滋賀県	110	30
教育	10	3
医(医)	13	4
医(看)	3	0
工	84	23

京都府	153	36
教育	7	2
医(医)	68	5
医(看)	1	0
工	77	29

大阪府	144	27
教育	7	2
医(医)	76	11
医(看)	1	0
工	60	14

関西地区	548	130
教育	34	11
医(医)	228	33
医(看)	6	1
工	280	85

兵庫県	79	22
教育	7	2
医(医)	39	9
医(看)	0	0
工	33	11

奈良県	43	10
教育	2	1
医(医)	24	3
医(看)	0	0
工	17	6

和歌山県	19	5
教育	1	1
医(医)	8	1
医(看)	1	1
工	9	2

一般入試（前期日程・後期日程）

大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書を総合して選抜します。詳細は、「一般入試学生募集要項」（10月発表予定）でご確認ください。工学部の前期日程では、名古屋会場で受験することもできます。

推薦入試

出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除。面接、小論文、実技及び調査書を総合して選抜します。大学入試センター試験を課さない選抜（推薦Ⅰ）と課す選抜（推薦Ⅱ）があります。詳細は「推薦入試学生募集要項」（9月発表予定）でご確認ください。なお、医学部医学科では、地域枠（福井県）や福井健康推進枠による募集も行います。

AO入試

専門分野の探求に強い意欲を持つ志願者が対象です。能力、意欲、目的意識等を総合的に評価して選抜します。書類審査と時間をかけた丁寧な面接や口述試験、実技や小論文、模擬講義とその小テスト、プレゼンテーションやグループ討論等を行います。大学入試センター試験を課さない選抜（AOⅠ）と課す選抜（AOⅡ）があり、工学部では、出身学科を分けて選抜を行っています。詳細は「AO入試学生募集要項」（6月発表予定）でご確認ください。

※各入試の概要や総合的な案内は、「入学者選抜要項」（7月発表予定）でお知らせします。

※学生募集の概要は、本学ホームページ「入試情報」もご覧ください。様々な入試情報をタイムリーに確認することができます。

平成24年度 募集人員

学部	学科・課程・コース等		入学 定員	募 集 人 員								
				一般入試		推薦入試	推薦入試	AO入試Ⅰ		AO入試Ⅱ		
				前期	後期	Ⅰ	Ⅱ	①	②	①	②	
教育地域科学部	学校教育課程	言語教育コース	100	10	6		4					
		理数教育コース		14			6					
		芸術・保健体育教育コース		音楽教育サブコース	3		2					
				美術教育サブコース	3				2			
		生活科学教育コース		保健体育サブコース	3		2					
				技術科教育サブコース	4	2	2		2			
		家庭科教育サブコース										
		社会系教育コース		5	3		2					
		教育実践科学コース		3	2		2					
		臨床教育科学コース		3	2			3				
		障害児教育コース		3	3			4				
		計		51	18	6	16	9				
	地域科学課程	60	35	15		10						
学 部 計	160	86	33	6	26	9						
医学部	医学科	110	55	25		30						
	看護学科	60	30	10	20							
	学 部 計	170	85	35	20	30						
工学部	機械工学科	75	35	20			12		5	3		
	電気・電子工学科	64	29	22				3	10			
	情報・メディア工学科	65	30	20					10	5		
	建築建設工学科	65	30	25			5	5				
	材料開発工学科	75	45	20					8	2		
	生物応用化学科	65	40	15			8	2				
	物理工学科	51	20	31					若干名	若干名		
	知能システム工学科	65	30	23			7	5				
	学 部 計	525	259	176			32	15	33	10		
合 計			855	430	244	26	56	56	43			

※上記のほか、私費外国人入試を教育地域科学部及び工学部で行います。（募集人員は各コース、各学科とも若干名）

※工学部のAO入試Ⅰ及びAO入試Ⅱにおける①、②の区分は出願要件の違いによります。

※上記の募集人員は予定ですので、7月発表予定の「入学者選抜要項」及び各募集要項で確認して下さい。

募集要項等の発表時期

入試種別	募集要項	発表時期
入学者選抜要項（入試概要）		7月上旬
一般入試	前期日程	10月中旬
	後期日程	
推薦入試	推薦入試Ⅰ	教育地域科学部
		医学部看護学科
	推薦入試Ⅱ	教育地域科学部
		医学部医学科（地域枠・全国枠）（福井健康推進枠）
アドミッション・オフィス入試	AO入試Ⅰ	教育地域科学部 工学部
	AO入試Ⅱ	工学部

・発表時期は変更する場合があります。
・帰国子女、私費外国人の募集要項希望者は、入試課に照会してください。

各募集要項等は、福井大学ホームページの「入試情報」にアクセスして、テレメールで請求することができます。また、入試課窓口（平日8:30～17:00）でも請求することができます。

入試情報は
こちらから



平成24年度 入試日程（一般入試）

■7月～12月

7月 「入学者選抜要項」公表
8月8日（月） オープンキャンパス（松岡）
8月9日（火） オープンキャンパス（文京）
9月～ 「大学入試センター受験案内」請求
10月～ 大学入試センター試験出願、「学生募集要項」請求

■1月

1月14日（土）、15日（日） 大学入試センター試験

■2月

1月23日（月）～2月1日（水） 一般入試出願期間
2月25日（土） 前期日程個別学力検査
※26日（日）（個別学力検査第2日）※医学部のみ

■3月

3月6日（火） 前期日程合格発表
3月12日（月） 後期日程個別学力検査
3月20日（火） 後期日程合格発表

編入学、大学院入試について

編入学（3年次：医学部看護学科、工学部）、学士編入学（2年次後期：医学部医学科）及び大学院（修士課程、博士課程、博士（前期・後期）課程、教職大学院）の詳細については、個々の学生募集要項及び福井大学ホームページで確認してください。

入試に関する照会先

学務部入試課（教・工） 電話 0776-27-9927
学務部松岡キャンパス学務室 入試試験係（医学部）
電話 0776-61-8246

※照会はできるかぎり、志願者本人が行ってください。
また、必要に応じてメモをとってください。

福井大学をもっと知りたい方へ

ホームページへアクセス

何でも調べてみよう



<http://www.u-fukui.ac.jp/>

オープンキャンパスに行こう

体験しよう、確かめよう

教育地域科学部、
工学部(文京キャンパス)
平成23年8月9日(火)

医学部(松岡キャンパス)
平成23年8月8日(月)



進学相談会に行ってみよう

○国立12大学入試広報

東海地区及び北陸地区の12大学(信州大学を含む)が合同して、名古屋など各地で説明会を行います。また、11月下旬に願書の配布(会場は名古屋駅近くを予定)も行います。

○民間業者等主催の進学相談会

民間の進学情報を提供する会社や新聞社等が主催する進学相談会に、アドミッションセンターや入試担当職員が出向き説明します。

高校訪問説明会を行っています

○教員や学生、職員が説明

アドミッションセンターや学部教員が北陸・東海・関西地区等の高校を個別訪問し、教育研究内容、入試情報・就職情報等のほか本学の優れた取り組みなどを高校教員に説明しています。また、福井県内(近県の一部を含む)の高校には6月～7月に教育地域科学部及び医学部看護学科の教員、入試担当職員及び学生が訪問し、教育研究内容、学生生活や入試情報・就職情報等の説明を行っています。

進学相談、説明等は 専任スタッフがサポート (アドミッションセンター)

入試や大学生活に関する質問にお応えします。AO入試合格者への入学前教育も行っています。



他には何かありますか

○大学ではいろんなイベントをやっています

大学祭 文京キャンパス：大学祭

松岡キャンパス：医学部晩祭

体験入学(工学部) 県内高校を対象に行っています

外科手術体験キッズセミナー(医学部)

教育交流会・講座(生命科学複合研究教育センター)など

○保護者等の大学訪問にも応じています
入試課までお問い合わせください

お問い合わせ 学務部入試課 0776-27-9927

福井ってどんなところ？

福井の名物やおすすめスポットを紹介します。



足羽川桜並木

福井市の中心を流れる足羽川の堤防は、「桜の名所100選」にも選ばれた桜並木があります。桜の木が約500本、距離にすると約2kmもある並木道は、日本一のスケールといわれる。満開時には、大きな桜のトンネルをぐって楽しめます。

三国花火大会

毎年8月上旬に、三国サンセットビーチで行われます。北陸最大規模の花火大会で、最大2尺の打ち上げ花火をはじめ、仕掛け花火、スターメインなど、7000発の花火が真夏の夜空を美しく染めます。中でも、北陸の夏の風物詩ともいわれる三国花火の名物、水中花火は必見。



東尋坊

奇勝として名高い東尋坊。間近にみる断崖は迫力満点。東尋坊の魅力は、古くから名勝として称えられてきた断崖絶壁。水面から25mもの高さ(ビルの8～9階に相当)から見下ろす景色はまさに絶景。東尋坊先端に浮かぶ雄島とともに、日本の天然記念物に指定されています。



ソースカツ丼

テレビ、雑誌などで有名な福井のソースカツ丼。秘伝のソースと、サクッと食感のカツ、そして福井産のお米の組み合わせが絶妙。福井でしか食べられないカツ丼です。



おろしそば

すりおろした大根とたっぷりのつゆ、さっと茹で上げた麺が人気の福井名物、越前そば。そばに含まれる良質のタンパク質と豊富なビタミン、そして消化を助ける働きのある大根おろしと一緒に食べることで栄養的にも高く評価されています。福井県内には、そば打ち体験ができる施設やお店もたくさんあります。



一乗谷朝倉氏遺跡

戦国時代、朝倉氏が103年間にわたって越前の国を治めた城下町跡。福井市から南東に約10kmのところにあります。武家屋敷、寺院、町屋、職人屋敷や道路に至るまで町並がほぼ完全な姿で復元され、国の特別史跡・特別名勝に指定されています。



福井県立恐竜博物館

国内最大級の恐竜と古生物・地学専門の博物館。30体以上の恐竜全身骨格をはじめとする数百点もの標本、大型復元ジオラマや迫力満点のダイノシアター(200インチの対面スクリーン)など子供から大人まで楽しめます。



えちぜん鉄道

福井市から勝山市、坂井市を結ぶえちぜん鉄道は、永平寺や三国港、あらわ温泉など、近郊の観光地に行くことができます。日中の時間帯ではアテンダント(接客乗務員)が乗務しており、きっぷの販売なども行っています。

ACCESS



名古屋	(電車で約1時間40分又は、バスで約2時間50分)	福井
大阪	(電車で約1時間50分又は、バスで約3時間30分)	
東京	(電車で約3時間30分)	



文京キャンパス (教育地域科学部・工学部)

- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅—(約10分)—福大前西福井駅
[JR福井駅東口から出て三国芦原線に乗り]
※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- バス** JR福井駅—(約10分)—福井大学前停留所
[JR福井駅西口から出て市内バス乗り場10番より乗車]
- タクシー** JR福井駅—(約10分)—福井大学文京キャンパス
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 自家用車** 北陸自動車道 福井北I.Cから国道416号線で西へ約7km
または福井I.Cから国道158号線で西へ約8km

松岡キャンパス (医学部・附属病院)

- バス** JR福井駅—(約35分)—福井大学病院
[JR福井駅西口から出て市内バス乗り場11番より乗車]
- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅—(約20分)—松岡駅—(バス約5分)—福井大学病院
※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー** JR福井駅—(約30分)—福井大学松岡キャンパス
[必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 自家用車** 北陸自動車道 福井北I.Cから北へ約4km、
または丸岡I.Cから南へ約5km

※標識やバス停の一部に見られる「福井医大」「福井大学病院」も福井大学医学部を指します

※掲載の地図は略図のため、省略している道路等があります。



福井大学広報センター

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号
TEL.0776-27-9733 FAX.0776-27-8518

文京キャンパス(教育地域科学部・工学部)
〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号

松岡キャンパス(医学部・附属病院)
〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地

<http://www.u-fukui.ac.jp>
E-mail : koho@ad.u-fukui.ac.jp



本学の許可なく、掲載の記事や写真等を複製・転写することを禁じます